

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区

目 次

A-01	特記仕様書-1		A-21	矩計図-5	1/30	B-01	木造特記仕様書-1	-	C-01	外構配置図	1/100
A-02	特記仕様書-2		A-22	準耐火リ スト ・ 詳細図	1/10	B-02	木造特記仕様書-2	-	C-02	外構【 宅内】詳細図	1/30
A-03	特記仕様書-3		A-23	平面詳細図	1/30	B-03	木造特記仕様書-3	-	C-03	外構【 付帯】詳細図	1/20
A-04	特記仕様書-4		A-24	展開図-1	1/30	B-04	木造特記仕様書-4	-	C-04	外構解体図	1/150
A-05	特記仕様書-5		A-25	展開図-2	1/30	B-05	木造特記仕様書-5	-			
A-06	特記仕様書-6		A-26	天井伏図・ 小屋裏換気計算	1/50	B-06	木造特記仕様書-6	-			
A-07	特記仕様書-7		A-27	建具表-1	1/50	B-07	木造特記仕様書-7	-			
A-08	特記仕様書-8		A-28	建具表-2	1/50	B-08	木造特記仕様書-8	-			
A-09	付近見取・ 敷地求積・ 工区全体配置図		A-29	家具図	1/10	B-09	基礎伏図	1/50			
A-10	(C-1) 計画概要・ 建物面積表・ 配置図		A-30	キッチン詳細図	1/20	B-10	土台伏図・ 桁伏図	1/50			
A-11	仕上表	-	A-31	物干場詳細図	1/30	B-11	小屋伏図	1/50			
A-12	性能評価項目表	-	A-32	部分詳細図	1/5	B-12	軸組図-1	1/50			
A-13	平面図	1/50	A-33	LVSチェック 図		B-13	軸組図-2	1/50			
A-14	立面図-1	1/50	A-34			B-14	壁量計算表	-			
A-15	立面図-2	1/50	A-35								
A-16	屋根伏図	1/50	A-36								
A-17	矩計図-1	1/30	A-37								
A-18	矩計図-2	1/30	A-36								
A-19	矩計図-3	1/30									
A-20	矩計図-4	1/30									
					図 面 リ ス ト		SCALE -		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		
					SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所			DATE . . .	DATE R4. 03. 24
							SUBM ITED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			CHECKED BY	DRAWN BY
										SHEET NO. A - 00	

3 鋼杭地業

寸法、継手、性能等（種別：種類、性能） ※図示（4.4.3）
杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
工 法
・特定埋込杭工法（4.4.4）
杭の根入れ深さ ※図示
杭の精度（4.3.5）（4.4.4）
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ）
杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ）
杭継手工法（4.3.6）（4.4.5）
・溶接継手
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工 法 ※審査（評定又は大臣認定）を受けた工法 ・（ ）
検査 ※審査（評定又は大臣認定）により定められた項目 ・（ ）
施工 ※審査（評定又は大臣認定）された施工管理基準による ・（ ）
杭頭の処理 ・処理しない ・処理する（4.3.8）（4.4.6）
処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・（ ） ・図示
杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・（ ）

4 場所打ちコンクリート杭地業

工 法（4.5.1）
・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法
鉄筋の種類、加工及び組立（帯筋、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手工法） ※図示（4.5.4）
コンクリート
セメントの種類 ・高炉セメントB種 **G** ・（ ）
設計基準強度（ ）N/mm² スランブ ・18cm ・（ ）cm
鋼管の材料 ・（ ） ・図示
杭の支持層への根入れ深さ ※図示（4.5.5）（4.5.6）
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ）
杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ）
孔壁測定 ・行う（内容： ） ・行わない

⑤砂利及び砂地業

材 料（4.6.2）
砂利 ※再生クラッシャラン **G** ①切込砂利又は切込砕石
砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂
厚 さ ・60mm ①（100）mm
適用箇所
・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ①図示

⑥捨コンクリート

捨コンクリートの厚さ（4.6.4）
①50mm ・（ ）mm
適用箇所（6.14.1）
・基礎梁下、土に接するスラブ下
①図示（ ）
コンクリートの種類（6.14.1）
・普通コンクリート ・（ ）
設計基準強度（6.14.1）
①18N/mm² ・（ ）N/mm²
スランブ（6.14.1）
①15cm ・18cm ・（ ）cm

⑦床下防湿層

施工範囲（4.6.5）
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・図示
防湿工法（4.6.2）
①ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

④鉄筋の定着長さ

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

⑥各部配筋

7 圧接完了後の試験

①構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による
・図示（5.3.4）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）（5.3.5）
①構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による
・図示
・（ ）
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
①無し
・有り 適用箇所（ ）
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・（ ）
軽量コンクリートで土に接する部分
①無し
・有り 適用箇所（ ）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ（ ）mm
・（ ）
耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
①無し
・有り 適用箇所（ ）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ（ ）mm
・（ ）
鉄筋相互のあき（機械式継手・溶接継手を除く）（5.3.5）（図5.3.6）
①構造関係共通図（配筋標準図）4.1による
・図示
・（ ）
各部配筋（5.3.7）
・構造関係共通図（配筋標準図）による
①図示
・（ ）
外観試験（5.4.10）
※行う（全数）
抜取試験
※超音波探傷試験
試験の箇所数等
・標準仕様書 5.4.10、5.4.11による ・（ ）
・引張試験
試験片の採取数は、1ロットに対して（※3本・ ）とする
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする
試験片を採取した箇所の処置：ガス圧接

①コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度（6.2.1～4）（表6.2.2）
設計基準強度（N/mm²） スランブ 適用箇所
①21 ①18 図示
・ ① ①
・ ① ①

軽量コンクリートの設計基準強度（6.2.1～4）（6.10.1～2）（表6.2.2）
設計基準強度（N/mm²） スランブ 適用箇所
・ ① ①
・ ① ①

類 別（6.2.1）（表6.2.1）
※Ⅰ類 ・Ⅱ類
種 類（6.3.1）（6.13.2）（表6.3.1）
・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位（ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。
・高炉セメントB種 **G** 使用部位（ ）
・フライアッシュセメントB種 **G** 使用部位（ ）
・
アルカリシリカ反応性による区分（6.3.1）
※A ・B ・再生骨材H
本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
①混和剤（6.3.1）（6.3.2）
混和剤の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・（ ）
・混和材
混和材の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・（ ）

⑤混和材料

6 軽量コンクリート

7 無筋コンクリート

8 ひび割れ誘発目地、打継目地

⑨コンクリートの仕上り

10 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⑪型枠

13 コンクリートの単位水量測定

種 別（6.10.2）（表6.10.1）
・1種 使用部位（ ） ・2種 使用部位（ ）
適用箇所（6.10.2）
・（ ） ・図示
適用箇所（6.14.1）
・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所
・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所
・（ ） ・図示
設計基準強度（6.14.1）
・18（N/mm）² ・（ ）
スランブ（6.14.1）
・15cm ・18cm ・（ ）
目地寸法（6.6.4）（9.7.3）
・標準仕様書 9.7.3による ・（ ）
間隔・位置・形状（6.8.1）
・（ ） ・図示
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ（6.2.5）（6.6.6）（6.8.3）（表6.2.4）
種 別 適用箇所
①A種 スロ-ﾌﾞ立ち上がり
①B種 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ・柱廻り（外周）
・C種
コンクリートの仕上りの平たんさ（表6.2.5）
・a種 ・b種 ・c種
・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）（6.8.1）
・20mm ・（ ）
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm ・20mm ・（ ）
せき板の材料 **G** 及び厚さ（6.8.2）
・合板 ①12mm ・15mm
・（ ）
断熱材の兼用（6.8.2）
・行わない ・行う
M C R 工法用シート（6.8.2）
・用いる
打増し厚さ
・20mm ・（ ）
打増し範囲
・（ ） ・図示
・用いない
スリーブの材質（6.8.2）（表6.8.1）
・標準仕様書 6.8.2(9)(i)及び標準仕様書表6.8.1による ・（ ）
実施要領
・構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による
・（ ）

⑨防水工事

1 アスファルト防水

アスファルトの種類 ※3種（9.2.2）
押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) 程度（9.2.2）
・（ ）
屋根保護防水（9.2.2～3）（9.2.5）（表9.2.3～6）
種 別 施工箇所 断熱材 **G** 絶縁用シート 立上り部の保護
・A－1
・A－2
・A－3
・B－1
・B－2
・B－3
・AⅠ－1
・AⅠ－2
・AⅠ－3
・BⅠ－1
・BⅠ－2
・BⅠ－3
厚さ ※25mm
・50mm
・
※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ
70g/㎡程度
・
断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。
平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上（9.2.5）
・（ ）
床タイル張り ※水下 60mm 以上
・（ ）

特記仕様書（建築工事編）A-02

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区

令和 4 年 4 月

令和 2 年 7 月改正

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会 社 上 田 建 築 事 務 所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

	乾式保護材 窯業系パネル：無石線の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化させたもの。	<table><tr><td colspan="4">分類・規格</td><td>・窯業系パネルⅠ類</td><td>・窯業系パネルⅡ類</td><td>・金属複合板</td></tr><tr><td rowspan="3">寸法（mm）</td><td>厚さ</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>幅</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>長さ</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>曲げ強さ</td><td>標準時</td><td>550 N・cm 以上</td><td>450 N・cm 以上</td><td>300 N・cm 以上</td></tr><tr><td>曲げモメント</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(λ^h>50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモメント)</td><td>凍結融解完了時 (試験サイクル数)</td><td>400 N・cm 以上</td><td>320 N・cm 以上</td><td>250 N・cm 以上</td></tr><tr><td>吸水率（％）</td><td></td><td>20 以下</td><td>20 以下</td><td>1 以下</td></tr><tr><td>吸水による長さ変化率（％）</td><td></td><td>0.07 以下</td><td>0.07 以下</td><td>0.01 以下</td></tr><tr><td>防火性能</td><td></td><td>不燃</td><td>不燃</td><td>表面材は不燃</td></tr><tr><td>剛性（E×I）（N・cm²）</td><td></td><td></td><td></td><td>80000 以上</td></tr><tr><td colspan="5">（スパン 40cm 幅 30cm の中央曲げ時に荷重 720N の時、たわみが 4mm 以下となる剛性）</td></tr><tr><td rowspan="3">耐衝撃性</td><td>おもり重量</td><td>1000g</td><td>500g</td><td>500g</td></tr><tr><td>残留変形量</td><td></td><td></td><td>1/100 以下</td></tr><tr><td>加圧時の最大変形量</td><td></td><td></td><td>4/100 以下</td></tr><tr><td colspan="5">高さ 1.0m から試験体の弱点部におもりを落としたとき、表面に達する穴があかないこと。</td></tr><tr><td>耐凍結融解性能</td><td colspan="4">上記試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td></tr><tr><td>出荷時の含水率</td><td colspan="4">10％ 以下</td></tr><tr><td>寸法の許容差</td><td colspan="4">厚さ：－5％ ～ ＋10％ 幅：±1％</td></tr></table>	分類・規格				・窯業系パネルⅠ類	・窯業系パネルⅡ類	・金属複合板	寸法（mm）	厚さ				幅				長さ				曲げ強さ	標準時	550 N・cm 以上	450 N・cm 以上	300 N・cm 以上	曲げモメント					(λ ^h >50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモメント)	凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400 N・cm 以上	320 N・cm 以上	250 N・cm 以上	吸水率（％）		20 以下	20 以下	1 以下	吸水による長さ変化率（％）		0.07 以下	0.07 以下	0.01 以下	防火性能		不燃	不燃	表面材は不燃	剛性（E×I）（N・cm ² ）				80000 以上	（スパン 40cm 幅 30cm の中央曲げ時に荷重 720N の時、たわみが 4mm 以下となる剛性）					耐衝撃性	おもり重量	1000g	500g	500g	残留変形量			1/100 以下	加圧時の最大変形量			4/100 以下	高さ 1.0m から試験体の弱点部におもりを落としたとき、表面に達する穴があかないこと。					耐凍結融解性能	上記試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと				出荷時の含水率	10％ 以下				寸法の許容差	厚さ：－5％ ～ ＋10％ 幅：±1％				3 合成高分子系 ルーフینگシート防水	<table><tr><td colspan="6">防水層の種類</td><td colspan="6">(9.4.2～3)(表9.4.1～3)</td></tr><tr><td>種 別</td><td>施工箇所</td><td>ルーフینگシートの厚さ（mm）</td><td>断熱材</td><td>G</td><td>仕上塗料</td><td>防湿層</td></tr><tr><td>・S－F1</td><td></td><td>※1.2</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>・カラー</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・S－F2</td><td></td><td>※2.0</td><td>・シルバー</td></tr><tr><td>・S－M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>・カラー</td></tr><tr><td>・S－M2</td><td></td><td>※1.5</td><td>・シルバー</td></tr><tr><td>・S－M3</td><td></td><td>※1.2</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td></td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・SⅠ－F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>種類</td><td>・カラー</td><td>・設ける</td></tr><tr><td>・SⅠ－F2</td><td></td><td>※2.0</td><td></td><td>・シルバー</td><td>・設けない</td></tr><tr><td>・SⅠ－M1</td><td></td><td>※1.5</td><td rowspan="2">厚さ</td><td>・カラー</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・SⅠ－M2</td><td></td><td>※1.5</td><td>・シルバー</td></tr><tr><td>・S－C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7">S－F1、SⅠ－F1の場合</td></tr><tr><td colspan="7">プレキャストコンクリート部材下地の目地処理</td></tr><tr><td colspan="7">プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り</td></tr><tr><td colspan="7">S－C1の保護層</td></tr><tr><td colspan="7">平場</td></tr><tr><td colspan="7">立上り部の保護モルタルの塗厚</td></tr></table>	防水層の種類						(9.4.2～3)(表9.4.1～3)						種 別	施工箇所	ルーフینگシートの厚さ（mm）	断熱材	G	仕上塗料	防湿層	・S－F1		※1.2			・カラー		・S－F2		※2.0	・シルバー	・S－M1		※1.5	・カラー	・S－M2		※1.5	・シルバー	・S－M3		※1.2					・SⅠ－F1		※1.2	種類	・カラー	・設ける	・SⅠ－F2		※2.0		・シルバー	・設けない	・SⅠ－M1		※1.5	厚さ	・カラー		・SⅠ－M2		※1.5	・シルバー	・S－C1		※1.0					S－F1、SⅠ－F1の場合							プレキャストコンクリート部材下地の目地処理							プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り							S－C1の保護層							平場							立上り部の保護モルタルの塗厚							① 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 ②タイル 3 セメントモルタルによるタイル張り 4 有機系接着剤によるタイル張り	<table><tr><td>位置</td><td>・（）</td><td>・図示</td><td colspan="4">(11.1.3)(表11.1.1)</td></tr><tr><td colspan="7">タイルの形状、寸法等</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>形状寸法</td><td>再生材の吸水率による区分</td><td>うわぐすり</td><td>役物</td><td>色</td><td>耐凍害性</td></tr><tr><td>玄関・手</td><td>200角</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>玄関</td><td>200角</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td colspan="7">役物使用箇所 ※各部の形状は図示による</td></tr><tr><td>内 装</td><td>出隅</td><td>天端</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>外 装</td><td>出隅、窓台、マグサ</td><td colspan="5">(標準一体成型品以外は接着成型品とする)</td></tr><tr><td colspan="7">見本焼き ※行う ・行わない</td></tr><tr><td colspan="7">試験張り ※行う ・行わない</td></tr><tr><td colspan="7">壁タイル張りの工法</td></tr><tr><td colspan="7">内装タイル ・改良積上げ張り</td></tr><tr><td colspan="7">外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り</td></tr><tr><td colspan="7">内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</td></tr><tr><td colspan="7">下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）</td></tr><tr><td colspan="7">壁タイル張りの工法</td></tr><tr><td colspan="7">内装タイル ・内装タイル接着剤張り</td></tr><tr><td colspan="7">外装タイル ・外装タイル接着剤張り</td></tr><tr><td colspan="7">内装タイル以外のユニットタイル ・外装タイル接着剤張り</td></tr><tr><td colspan="7">下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）</td></tr></table>	位置	・（）	・図示	(11.1.3)(表11.1.1)				タイルの形状、寸法等							施工箇所	形状寸法	再生材の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	玄関・手	200角	・	○	・	・	・	玄関	200角	・	○	・	・	・	役物使用箇所 ※各部の形状は図示による							内 装	出隅	天端					外 装	出隅、窓台、マグサ	(標準一体成型品以外は接着成型品とする)					見本焼き ※行う ・行わない							試験張り ※行う ・行わない							壁タイル張りの工法							内装タイル ・改良積上げ張り							外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り							内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り							下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）							壁タイル張りの工法							内装タイル ・内装タイル接着剤張り							外装タイル ・外装タイル接着剤張り							内装タイル以外のユニットタイル ・外装タイル接着剤張り							下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）						
			分類・規格				・窯業系パネルⅠ類	・窯業系パネルⅡ類	・金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			寸法（mm）	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				幅																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				長さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			曲げ強さ	標準時	550 N・cm 以上	450 N・cm 以上	300 N・cm 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			曲げモメント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			(λ ^h >50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモメント)	凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400 N・cm 以上	320 N・cm 以上	250 N・cm 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			吸水率（％）		20 以下	20 以下	1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			吸水による長さ変化率（％）		0.07 以下	0.07 以下	0.01 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
防火性能		不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
剛性（E×I）（N・cm ² ）				80000 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
（スパン 40cm 幅 30cm の中央曲げ時に荷重 720N の時、たわみが 4mm 以下となる剛性）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
耐衝撃性	おもり重量	1000g	500g	500g																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	残留変形量			1/100 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	加圧時の最大変形量			4/100 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
高さ 1.0m から試験体の弱点部におもりを落としたとき、表面に達する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
耐凍結融解性能	上記試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	10％ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
寸法の許容差	厚さ：－5％ ～ ＋10％ 幅：±1％																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
防水層の種類						(9.4.2～3)(表9.4.1～3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 別	施工箇所	ルーフینگシートの厚さ（mm）	断熱材	G	仕上塗料	防湿層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・S－F1		※1.2			・カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・S－F2		※2.0			・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・S－M1		※1.5			・カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・S－M2		※1.5			・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・S－M3		※1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・SⅠ－F1		※1.2			種類		・カラー	・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・SⅠ－F2		※2.0					・シルバー	・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・SⅠ－M1		※1.5			厚さ		・カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・SⅠ－M2		※1.5	・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・S－C1		※1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
S－F1、SⅠ－F1の場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
S－C1の保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
平場																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
立上り部の保護モルタルの塗厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
位置	・（）	・図示	(11.1.3)(表11.1.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タイルの形状、寸法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	形状寸法	再生材の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
玄関・手	200角	・	○	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
玄関	200角	・	○	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
役物使用箇所 ※各部の形状は図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
内 装	出隅	天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
外 装	出隅、窓台、マグサ	(標準一体成型品以外は接着成型品とする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
見本焼き ※行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
試験張り ※行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
壁タイル張りの工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
内装タイル ・改良積上げ張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
壁タイル張りの工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
内装タイル ・内装タイル接着剤張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
外装タイル ・外装タイル接着剤張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
内装タイル以外のユニットタイル ・外装タイル接着剤張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	4 塗膜防水 5 ケイ酸質系塗布防水 6 FRP防水 7 脱気装置 ⑧シーリング 9 防水保証期間	<table><tr><td colspan="4">防水層の種類</td><td colspan="4">(9.5.3)(表9.5.1～2)</td></tr><tr><td>種 別</td><td>施工箇所</td><td colspan="2">備 考</td></tr><tr><td>・X－1</td><td></td><td colspan="2">仕上げ塗料塗り</td></tr><tr><td>・X－2</td><td></td><td colspan="2">・カラー</td></tr><tr><td>・Y－1</td><td>※地下外壁防水</td><td colspan="2">・シルバー</td></tr><tr><td>・Y－2</td><td>※屋内防水</td><td colspan="2">Y－2の保護層</td></tr><tr><td colspan="4">防水層の種類</td><td colspan="4">(9.6.3)(表9.6.1～2)</td></tr><tr><td>種 別</td><td>施工箇所</td><td>種 別</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※C－U1</td><td></td><td>・C－UP</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">防水層の種類</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>種 別</td><td>施工箇所</td><td colspan="2">備 考</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="4">(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)</td></tr><tr><td>防水種別</td><td>種 類</td><td colspan="2">設置数量</td></tr><tr><td>D-1 D-2 D-3 D-4</td><td>※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による</td><td colspan="2">※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による</td></tr><tr><td>DI-1 DI-2 AS-T3</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>AS-T4 AS-J1 AS1-T1</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>AS1-J1 S-F1 S-F2</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>SI-F1 SI-F2</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>X-1</td><td>※主材料の製造所の仕様による</td><td colspan="2">※主材料の製造所の仕様による</td></tr><tr><td colspan="4">下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。</td></tr><tr><td colspan="2">施工箇所</td><td colspan="2">シーリング材の種類（記号）</td></tr><tr><td colspan="2">サイディング</td><td colspan="2">MS-2 10×10程度</td></tr><tr><td colspan="4">シーリング面への仕上塗材仕上げ等</td></tr><tr><td colspan="4">接着性試験</td></tr><tr><td colspan="4">期間は（）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。</td></tr></table>	防水層の種類				(9.5.3)(表9.5.1～2)				種 別	施工箇所	備 考		・X－1		仕上げ塗料塗り		・X－2		・カラー		・Y－1	※地下外壁防水	・シルバー		・Y－2	※屋内防水	Y－2の保護層		防水層の種類				(9.6.3)(表9.6.1～2)				種 別	施工箇所	種 別	施工箇所	※C－U1		・C－UP		防水層の種類								種 別	施工箇所	備 考						(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)				防水種別	種 類	設置数量		D-1 D-2 D-3 D-4	※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による	※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による		DI-1 DI-2 AS-T3				AS-T4 AS-J1 AS1-T1				AS1-J1 S-F1 S-F2				SI-F1 SI-F2				X-1	※主材料の製造所の仕様による	※主材料の製造所の仕様による		下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。				施工箇所		シーリング材の種類（記号）		サイディング		MS-2 10×10程度		シーリング面への仕上塗材仕上げ等				接着性試験				期間は（）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。				② ①表面仕上げ ②木 材 ③製 材	<table><tr><td>機械加工</td><td>・A種</td><td>※B種</td><td>・C種</td><td colspan="2">(12.1.4)(表12.1.1～2)</td></tr><tr><td>適用箇所（）</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>手加工</td><td>・H－A種</td><td>・H－B種</td><td>・H－C種</td><td colspan="2">適用箇所（）</td></tr><tr><td colspan="6">○ 本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。</td></tr><tr><td colspan="6">○ 設計書に「黒潮町産材」とあるものは原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。</td></tr><tr><td colspan="6">ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）は例外とする。</td></tr><tr><td colspan="6">その他これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。</td></tr><tr><td colspan="6">日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。</td></tr><tr><td colspan="6">・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所（）</td></tr><tr><td colspan="6">間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所）（12.2.1)(表12.2.1)</td></tr><tr><td colspan="6">木材の含水率 ※A種 ・B種 （以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）</td></tr><tr><td colspan="6">ホルムアルデヒド放散量</td></tr><tr><td colspan="6">※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。</td></tr><tr><td colspan="6">・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>樹 種</td><td>寸法(mm)</td><td>等 級</td><td>形 状</td><td>材面の品質</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="6">・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>樹 種</td><td>寸法(mm)</td><td>等 級</td><td></td></tr></table>	機械加工	・A種	※B種	・C種	(12.1.4)(表12.1.1～2)		適用箇所（）						手加工	・H－A種	・H－B種	・H－C種	適用箇所（）		○ 本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。						○ 設計書に「黒潮町産材」とあるものは原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。						ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）は例外とする。						その他これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。						日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。						・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所（）						間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所）（12.2.1)(表12.2.1)						木材の含水率 ※A種 ・B種 （以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）						ホルムアルデヒド放散量						※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。						・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材						施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	材面の品質																			・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材						施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級																																																																																																																					
			防水層の種類				(9.5.3)(表9.5.1～2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			種 別	施工箇所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・X－1		仕上げ塗料塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・X－2		・カラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・Y－1	※地下外壁防水	・シルバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・Y－2	※屋内防水	Y－2の保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			防水層の種類				(9.6.3)(表9.6.1～2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			種 別	施工箇所	種 別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			※C－U1		・C－UP																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防水層の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 別	施工箇所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防水種別	種 類	設置数量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
D-1 D-2 D-3 D-4	※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による	※アスファルトルーフینگ類（又は改質アスファルトシート、ルーフینگシート）の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
DI-1 DI-2 AS-T3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AS-T4 AS-J1 AS1-T1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
AS1-J1 S-F1 S-F2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
SI-F1 SI-F2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
X-1	※主材料の製造所の仕様による	※主材料の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所		シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
サイディング		MS-2 10×10程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
シーリング面への仕上塗材仕上げ等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
接着性試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
期間は（）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械加工	・A種	※B種	・C種	(12.1.4)(表12.1.1～2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
適用箇所（）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手加工	・H－A種	・H－B種	・H－C種	適用箇所（）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 設計書に「黒潮町産材」とあるものは原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）は例外とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
その他これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所（）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所）（12.2.1)(表12.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
木材の含水率 ※A種 ・B種 （以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ホルムアルデヒド放散量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

④造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	
				※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
						※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率	見付け材面の品質	
階段(蹴上・踏面)	桧	35・15	※15%以下		

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

5造作用単板積層材

G

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材(12.2.1)

施工箇所	表面の品質		防虫処理	寸法(mm)	備考
	・塗装加工・天然木加工・加工しない(・1等・2等・3等)		・する・しない		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材(12.2.1)

施工箇所	表面の品質		含水率	防虫処理	寸法(mm)	備考
	・塗装加工・天然木加工・加工しない(・1等・2等・3等)		※14%以下	・する・しない		

6CLT(直交集成板)

G

(12.2.1)

施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

⑦合板等

G

・「合板の日本農林規格」による普通合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	その他の処理
	※5.5	※1類		広葉樹・1等※2等	・する	・難燃処理
	・	・2類		針葉樹※C-D	・しない	・防炎処理

○「合板の日本農林規格」による構造用合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	有効断面係数比	強度等級
床	28.0	・特類	※1級		※C-D	・する		
		※1類	※2級		・	・しない		
壁	9.0							
屋根	15.0							

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	備考
		・特類・1類		・する	
				・しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.2	・1類	・なら	・する	・難燃処理
	・3.2	・2類	・しおじ	・しない	・防炎処理
	・6.0				・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.0	・1類	・F			・する	・難燃処理
	・	・2類	・F・W			・しない	・防炎処理
			・W				
			・S・W				

8接着剤

⑨防腐、防蟻処理

屋内に使用する接着剤のVOC対策は、「1(各章共通事項)・7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。(12.2.2)

防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材適用部位(12.3.1)

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
図示	・K2○K3※K4
	・K2・K3※K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
土台	薬剤処理
地盤面より1.0m迄の軸組み等	薬剤処理

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理適用部位(12.3.1)

合法的に伐採された木材である証明書を提出する。

10合法性証明書

1長尺金属板葺

(13.2.2~3)(表13.2.1)

施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式
・	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	※0.4	・立平葺
	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯(CGCCR-20-Z25)	・	・あり掛葺
			・心木なし瓦棒葺
			・横葺

下葺材料※アスファルトルーフィング940(13.2.2)(表13.2.2)

・改質アスファルトルーフィング下葺材(・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)

雪止め・設置する(施工箇所・図示・)(13.2.3)

2折板葺

(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板耐火性能
・	※重ね形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	※0.6	※図示	※有り
	・はぜ締め形	・めっき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	・0.8	・山高()	・なし
	・かん合形	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯(CGCCR-20-Z25)		・山比ツサ()	・なし

JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理(直接外気の影響を受けない屋内の場合)(表14.2.2)

・E種・F種

断熱材※有り(種別:厚さ(mm):防火性能:時間)

・無し

3粘土瓦葺

(13.4.2)(13.4.3)

施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類	産地
	※J型	※53A	・軒かわら・そでかわら・のしがわら・かんむりがわら	※高知県産
	・S形	・49A・49B	・半かわら・そでかわら・かんむりがわら	
	・F形	・40	・半かわら・そでかわら・かんむりがわら	

雪止め瓦※適用しない・適用する(13.4.2)

凍害試験・行う・行わない

棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法※図示

下葺材料※アスファルトルーフィング940(13.2.2)(表13.2.2)

・改質アスファルトルーフィング下葺材(・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)

桧木の留付け工法※図示(13.4.3)

棟の工法※7寸丸伏せ棟・F形用冠瓦伏せ棟・のし積み棟(13.4.3)

※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。

といの材種

・配管用銅管・表面処理銅板(13.5.2)(表13.5.1)

・硬質ポリ塩化ビニル管(※RF-VPG・VP)○銅板

防露材のホルムアルデヒド放散量(13.5.2)

※規制対象外・第三種

銅管製といの防露巻き(13.5.2~3)(表13.5.4)

※行う(施工箇所※標準仕様書表13.5.4による)

ルーフトロン

種別	材種	施工箇所
・ろく屋根用(・縦型・横型)		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

④とい

⑤ルーフト葺き

④金属工事

1ステンレスの表面仕上

(14.2.1)

種別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
※HL程度	
・鏡面仕上程度	
・No.2B程度	

2アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	色合い	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
・BB-1種	・標準色	
・BB-2種	・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種		

陽極酸化被膜の着色方法※二次電解着色・三次電解着色(14.2.2)

3鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋外・19形※25形(14.4.2)(表14.4.1)

屋内※19形・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等(14.4.3~4)

耐風圧性を考慮した補強※図示・()

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合補強箇所※図示・()

・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合補強箇所※図示・()

・天井のふところが3mを超える場合補強箇所※図示・()

・天井下地材における耐震性を考慮した補強補強箇所※図示・()

補強方法※図示・()

補強方法※図示・()

5軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類※標準仕様書表14.5.1による・図示(14.5.3)(表14.5.1)

スタッドの高さが5mを超える場合※図示・()

6金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

種別	製法	形状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理	
					種別	色合い
・アルミニウム	・押出し	スラット形			・BB-1種	・標準色
・	・ロール				・BB-2種	・特注色
	・プレス	ハネ形			・AC-1種	
					・AC-2種	

・

・

・

・

77mm×94mm製笠木

種類

・250形・300形・350形(14.7.2)(表14.7.1)

表面処理

種別()種

色合い・標準色・特注色

8手すり及びタラップ

手すり

・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度・No.2B程度)(14.8.2)

・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき()種・)

タラップ

・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし・)

・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきA種・)

特記仕様書(建築工事編) A-04

令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区

令和4年4月

一級建築士事務所 高知県知事登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

令和2年7月改正

平成31年度版

高知県土木部建築課

⑮

左官工事

1モルタル塗り

モルタル・現場調査材料・既調査材料（ ）（15.3.2）
既製目地材・使用する（施工箇所： ）形状：（ ）（15.3.2）
床の目地・設ける（工法 ※押し目地 ）（15.3.5）
目地割り ※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）・（ ）
下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う

②床コンクリート直均し仕上げ

下表以外は表6.2.5及び15.4.2による（表6.2.5）（15.4.2）

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
・フリーストップ（支柱調整式）範囲	・1mにつき10以下	・
・	・	・

3モルタルリング材塗り

・せっこう系（15.5.2）（表15.5.1）
・セメント系

④仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量（15.6.2）
※規制対象外・第三種
内壁ALCパネルの形状 ※V形目地付き・（ ）（15.6.4）
仕上塗材の種類（15.6.2）（表15.6.1）

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ○外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・砂壁状 ○ゆず肌状（○吹付け・ローラー塗り） ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性・適用する
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・吹放し・凸部処理・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし・かき落とし 吸放湿性・適用する 上塗材・適用する
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系・溶剤系・弱溶剤系 樹脂 アクリル系 外観 ※つやあり・つやなし ・メタリック
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・ ・	・砂壁状・平たん状

防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

5マシック塗材塗り

種別・A種・B種（15.7.2）

6ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種（15.12.2）
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種（15.12.2）
仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示・25・（ ）（15.12.3）

⑮

建具工事

1防火戸

・（ ）・図示（16.1.3）

2見本の製作等

建具見本の製作・行う（建具符号： ）（16.1.4）
建具見本の程度・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組・行う（建具符号： ）（16.1.4）

3防犯建物部品

・適用する（ ）（16.1.6）

④アルミ樹脂製建具

性能値等（16.2.2）（表16.2.1）
・外部に面する建具の性能等級○A種（S-4、A-3、W-4）（建具符号： ）
・B種（S-5、A-3、W-4）（建具符号： ）
・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ）
・屋内の建具の性能等級（ ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
枠の見込み寸法・（ ）・図示
表面処理（16.2.4）
外部に面する建具 ※BB-1種・BB-2種（・標準色・特注色）
屋内の建具 ※BC-1種・BC-2種（・標準色・特注色）
結露水の処理方法・（ ）・図示
水切り板、ぜん板・（ ）・図示（16.2.5）

⑤網戸等

（16.2.3）

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法 15mm

6樹脂製建具

性能値等（16.2.2）（16.3.2～5）（表16.3.1）
・外部に面する建具の性能等級・A種（S-4、A-4、W-4）（建具符号： ）
・B種（S-5、A-4、W-5）（建具符号： ）
・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ）
・屋内の建具の性能等級（ ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
外部に面する建具・T-A種・T-B種（16.3.2）（表16.3.3）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
外部に面する建具・H-A種・H-B種・H-C種（16.3.2）（表16.3.4）
枠の見込み寸法・（ ）・図示
ガラス ※複層ガラス・（ ）（16.3.3）
表面色 ※標準色・特注色（16.3.4）
水切り板、ぜん板・（ ）・図示（16.3.5）

7鋼製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）

8鋼製軽量建具

性能値等（16.2.2）（16.5.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
鋼板 ※亜鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板（16.5.3）
召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板・ステンレス・アルミニウム

9ステンレス製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）（16.6.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
表面仕上げ ※HL仕上げ・鏡面仕上げ・（ ）（16.6.4）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（16.6.5）

⑩木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※B種・（ ）（16.7.2）
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量（16.7.2）
※規制対象外・第三種
○フラッシュ戸
・かまち戸 かまち樹種（ ）鏡板樹種（ ）（16.7.2～4）
・ふすま 種別（・I型・II型）（16.7.2～4）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま（16.7.2～4）
・紙張り障子（16.7.2～4）
枠及びくづずりの材料・（ ）・図示（16.7.2）

⑪鍵

マスターキー・制作する・制作しない（16.8.4）
その他の鍵 ※各室3本1組・（ ）
鍵箱 ※有・無

12自動ドア開閉装置

自動ドア開閉装置の性能値等（16.9.2～3）（表16.9.1～4）

種類	防錆	検出装置の種類	凍結防止装置
・引き戸用駆動装置	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光电センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ
・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	・適用しない		・行う（適用箇所は建具表による） ・行わない

性能 ※標準仕様書表16.10.1による・（ ）（16.10.3）（表16.10.1）

シャッターの種類・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²（16.11.2）
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1）
管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けない（16.11.2）
スラット及びシャッターケース用鋼板（16.11.3）
鋼板の種類・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12・（ ）

13自閉式上吊り引戸装置

14重量シャッター

15軽量シャッター

16ガラス

開閉方式の種類 ※手動式・上部電動式（手動併用）（16.12.2）（表16.12.1）
耐風圧強度（ ）N/m²
スラット 形状・インターロッキング形・オーバーラッピング形（16.12.3～4）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※Z06又はF06・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※AZ90）
（16.13.2～3）
セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料
※スチールタイプ ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形
・パーチカル形
耐風圧性能による区分（・125・100・75・50）Pa
・合わせガラス（16.14.2）
品 種 構成種類 特性による種類
※フロート合わせガラス ※フロート板合わせガラス ・I類
・熱線吸収、フロート板合わせガラス
・納入磨き合わせガラス ・納入磨き、フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類
・納入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・III類
・強化ガラス（16.14.2）
品 種 種類 特性による種類
※フロートガラス ※フロート強化ガラス ・I類・III類
・熱線吸収強化ガラス
・型板ガラス ※型板強化ガラス
・熱線吸収板ガラス（16.14.2）
品 種 特性による種類 色 調
※熱線吸収フロート板ガラス ・1種・2種 ・ブルー・グレー・ブロンズ
・熱線吸収 納入磨き板ガラス
○複層ガラス（16.14.2）
品 種 断熱性 日射取得性、日射遮蔽性 乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス ・T1・T2・T3 ・G ・空気
○日射熱遮へい複層ガラス ・T4・T5・T6 ・S ・アルゴン
・熱線反射ガラス（16.14.2）
品 種 日射熱遮へい性 耐久性 ガラスの種類 色 調
※熱線反射ガラス ・1種 A種
・高性能熱線反射ガラス ・2種・A種・B種
・3種 B種
反射皮膜面 ※内面・外面
映像調整 ※行わない・行う（16.14.4）
・倍強度ガラス（16.14.2）
材料板ガラスによる種類の名称 色 調
※フロート倍強度ガラス
・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー・ブルー・ブロンズ
・ガラスの留め材及び溝の大きさ（16.14.2～3）（図16.14.1）（9.7.1）
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製 ※シーリング材
○ガスケット ※建具の製造所の仕様による
※グレイジングチャンネル形・
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材
・
ステンレス製 ※シーリング材
・
樹脂製 ・シーリング材
・ガスケット
・グレイジングチャンネル形
名 称 種類 張り面 性能値
※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り・外張り 飛散防止率 D1
・
品質 JIS A5759による

18ガラス用フィルム

19サッシ取合間仕切板

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に合わせ）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 めっきの付着量Z12又はF12）

特記仕様書（建築工事編）A-05

平成31年度版 高知県土木部建築課

令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区

令和4年4月

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史
令和2年7月改正

20 ガラスブロック	(1 6 . 1 4 . 5)										④ ビニル幅木	(1 9 . 2 . 2)										⑩ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	(1 9 . 7 . 2) (表 1 9 . 7 . 1)									
	表面 形状	呼び寸法	厚 さ	色 調		目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	防火 性能			種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等		種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等														
正方形	・ 125×125 ・ 160×160 ・ 200×200 ・ 320×320	80	・	・	※8～15	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以下 ・	※6m以下ごとに 幅10～25 ・ 図示 ・	※無し ・ 有り		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	※人体帯電圧 3kv以下 ・	・ ウィルトンカーペット ・ ダブレスカーペット ・ アズミンスターカーペット (標準品)	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)		・ HW ・ MW ・ NW ・ HF ・ NF	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ ・ 30															
		・ 95 ・ 125	・	・	・ 15～25																											
		・ 95	・	・																												
		・ 250×125	80	・	・																											
	長方形	・ 320×160	95	・	・									0.8 F K 1.0 F K	タイプ2 (無石綿) ・ 6 ・ 8																	
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。																																
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※図示 ・) 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸 法 ・ 図示 ・ () 形 状 ・ 図示 ・ ()																																
21 付属電気設備	電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、 機器附属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。																															
⑧ 塗装 工事	① 材 料	屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (1 8 . 1 . 3) ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：)										7 合成樹脂塗床	(1 9 . 4 . 2) (1 9 . 4 . 3) (表 1 9 . 4 . 4 ～ 8)																			
	② 素地ごしらえ	(1 8 . 2 . 2 ～ 7)																														
3 錆止め塗料塗り	下地面等										種 別																					
	木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A 種 ・ B 種 透明塗料塗りの場合 ・ A 種 ※ B 種										鉄鋼面	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種																			
4 塗装	亜鉛めっき鋼面										・ A 種 ・ B 種																					
	モルタル面及びプラスター面										・ A 種 ※ B 種																					
5 床用防じん塗料 塗り	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面										・ A 種 ※ B 種																					
	コンクリート面 (DP) 及びALCパネル面										・ A 種 ・ B 種																					
⑨ 内 装 工 事	せっこうボード面及びその他ボード面										継目処理工法の場合	※ A 種 ・ B 種																				
	継目処理工法以外										・ A 種 ※ B 種																					
⑩ 断熱材	塗料の種類 (1 8 . 3)																															
	鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※ A 種 鉛 ・ クロム7リ-錆止めペイント1種 EP-G ※ B 種 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※ B 種 EP-G ※ C 種																															
⑪ 壁紙張り	④ 塗装 (1 8 . 4) (1 8 . 5) (1 8 . 6) (1 8 . 7) (1 8 . 8) (1 8 . 9) (1 8 . 1 0) (1 8 . 1 1) (1 8 . 1 2) (1 8 . 1 3)																															
	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ・ クリアラッカー塗り (C L) ・ アクリル樹脂系非分散系塗料塗り (N A D) ・ 耐候性塗料塗り (D P) 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級 () 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 工種の種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (E P - G) ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (E P) ・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (E P - T) ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) ・ オイルステイン塗り (O S) (・ 水性 ・ 油性) ⊖ 木材保護塗料塗り (W P)																															
⑫ 断熱材	5 床用防じん塗料 塗り																															
	材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色 ・) 仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする																															
⑬ 断熱材	① 接着剤																															
	② ビニル床シート (1 9 . 2 . 2 ～ 3)																															
⑭ 断熱材	種類の記号										施工箇所																					
	※FS										色 柄																					
⑮ 断熱材	CF										洗面・トイレ																					
	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 (P F の場合を除く) 目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・ () 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ¹¹ ～ 1x10 ¹² Ω程度																															
⑯ 断熱材	3 ビニル床タイル (1 9 . 2 . 2)																															
	種類の記号										施工箇所																					
⑰ 断熱材	・ F T										・ 無地 ・ 柄物																					
	・ K T										・ 無地 ・ 柄物																					
⑱ 断熱材	・ F O A										・ 無地 ・ 柄物																					
	・										・ 無地 ・ 柄物																					
⑲ 断熱材	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ¹¹ ～ 1x10 ¹² Ω程度																															
	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による																															
⑳ 断熱材	種 別 ・ A 種 ⊖ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (畳床：) (1 9 . 6 . 2) (表 1 9 . 6 . 1) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン (1 9 . 6 . 2)) ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による																															
	畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3畳表の2等以上) ※適用する ・ 適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。																															
㉑ 断熱材	特記仕様書 (建築工事編) A-06										平成31年度版 高知県土木部建築課																					
	令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区																															
㉒ 断熱材	株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史										令和 2 年 7 月改正																					

20

ユニット及びその他の工事

1	フリーアクセスフロア	(20.2.2)							
		施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
			・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
		表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質・アルミニウム製・鋼製・() スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30パーセント・() 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上・図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※なし ・有り (※固定式・可変式)： 施工箇所(※図示・) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの、又は同等のものとする。 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下および損傷なし ローリングロード性能 ※適用する・適用しない ローリングロード試験 耐荷重性能 (3,000N)：積載荷重1,000Nの際、最大変形量1.5mm以下(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと) 耐荷重性能 (5,000N)：積載荷重1,000N以上の際、最大変形量1.0mm以下(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)							
		(20.2.3)							
		構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面材		遮音性	防火性能	
		・スクッド式 ・スクッドﾊﾞｰﾙ式 ・ﾊﾞｰﾙ式			※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※ﾌﾗﾐﾝｸﾞ樹脂焼付 又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り	・0・12 ・20・28 ・36	・不燃
		パネル内に取り付ける建具・あり(・図示・)・なし 仕上げるの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による							
3	移動間仕切	(20.2.4)							
		走行方向	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性	
		・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾗｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式		※鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上	
		仕上げるの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512 に準拠する							
4	トイレブース	(20.2.5)							
		パネル表面材の材質	脚部		ドアエッジ				
			形状	材質	形状	材質			
		・ﾌﾗﾐﾝｸﾞ樹脂系化粧板 ・ｶﾞﾗｽ樹脂系化粧板 ・ ・	※幅木 ・支柱 ・なし	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材			
5	視覚障害者用床タイル	(19.2.2)							
		施工箇所	種類	寸法(mm)		厚さ(mm)			
			・塩化ビニル製	※300×300		※7.0・			
		屋内	・磁器又はせつ器質タイル ・レジンコンクリート製	※300×300					
	屋外	・磁器又はせつ器質タイル ・レジンコンクリート製	・300×300		※30・				
ブロックパターンは JIS T 9251 による									
6	階段滑止め	(20.2.6)							
		材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド				
		・ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り ・	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	※有り(※ﾋﾞﾆﾙ製・ｽﾃﾝﾚｽ製) ・無し				
7	手すり	(19.2.2)							
		材種	表面仕上げ		直径(mm)	取付箇所			
		※集成材	※クリアラッカー		・60・45				
		・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・HL ・EPG						
8	黒板及びホワイトボード	(20.2.8)							
		区分	種類	寸法(mm)	色彩	形式			
		・黒板	※焼付け ・	・ほうろう ・鋼製	※緑・黒	※平面・曲面 ・スクリーン付き引分け			
		・ホワイトボード	・ほうろう ・	・ほうろう ・鋼製	白	※平面・曲面 ・スクリーン付き引分け			
9	鏡	(20.2.9)							
		取付箇所	()		()		()		
		寸法(mm)	・()		・図示				
		厚さ(mm)	※5・()						

10	表示	(20.2.10)						
		区分	材質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考	
		・衝突防止表示(・両面・片面)	・ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・		
		・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ・	※図示 ・	※5 ・	※図示 ・		
		・庁舎案内板 ・各階案内板 ・	※アクリル板 ・	※図示 ・	※5 ・	※図示 ・		
		案内用図記号は JIS Z 8210 による。 誘導標識、非常用進入口表示 ※消防法に適合する市販品						
11	煙突ライニング	(20.2.11)						
		煙突用成形ライニング材						
		適用安全使用温度	上限温度	・400℃ 下限温度	・()	・650℃ ()		
12	ブラインド	(20.2.12)						
		形式	操作方法	種類の	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所
		※横形	・電動 ・手動	※ｷﾞﾔｰ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ﾌﾙﾆｰﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
		・縦形	・電動 ・手動	・1本操作ｺｰﾄﾞ式 ※2本操作ｺｰﾄﾞ式	・ﾌﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ﾌﾙﾆｰﾑ合金製 ・	※図示 ・
13	ロールスクリーン	(20.2.13)						
		材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	
		※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	※図示		
14	カーテン	(20.2.14)						
		ひだの種類	形式	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	
		・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・ﾌﾞﾚｰﾝひだ・片ひだ ・ ・	・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き		※図示		
							(暗幕)	
15	カーテンレール	(20.2.14)						
		材種	※ﾌﾙﾐﾆｳﾑ又はﾌﾙﾆｰﾑ合金の押出し成型材		・ｽﾃﾝﾚｽ製・()		(20.2.14)	
		形式	・片引き ○引分け(暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)					
		形状	・角形 ・()					
16	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ 及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	(20.2.14)						
		溝幅×深さ(mm)	・90×150・120×80・120×150・150×80・図示					
		材質	・集成材(仕上げ：) ・鋼製(仕上げ：) ・アルミニウム製 表面処理 ※B0-1・B0-2(色合い・標準色・特注色)					
17	天井点検口	(20.2.14)						
		材種	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス
		※アルミニウム製 ・	○450×450 ・600×600	○一般形 ・密閉形	・屋内外用 ○屋内用	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	±0.5mm 以内 片側 2.0mm以内
		アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6) (外部についてはB種又は同等品以上) をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナースペース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、垂鉛めっき鋼板の類とする。						
18	床点検口	(20.2.14)						
		材種	寸法	形式	枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス		
		・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・	・450×450 ○600×600 ・	○一般形 ・密閉形	・屋内外用 ○屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	
		一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの 材料の品質及び性能 (表14.2.1)						
		使用部位	材料	屋内外用		屋内用		
		受枠材 蓋枠材	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種				
			ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度(目地ともの場合)				
			鋼材	－		鋼板又は電気垂鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はｸﾞﾗﾌﾞﾙ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの		

二重蓋の中蓋		铸铁	JIS G 5501 FC150, FC200		
目地材		黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B		
		ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304		
底板材	コーナース	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304		
底板補強材		アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)		
		鋼材	－ 鋼板又は電気垂鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はｸﾞﾗﾌﾞﾙ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの		
錠		亜鉛合金製(クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			
開閉方式	パッキン材	塩化ビニル系ゴム 軟質塩化ビニル クロロプレン ｽﾃﾝﾚｽ ﾔｸﾚﾝ	枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。		
アンカー材	取っ手	鋼材	電気垂鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの 黄銅鑄物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄物製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。		
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08% 以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。			
材種		受け枠	備考		
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・		・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・			
形式		材種	高さ(m)		
・テーパー式 ・同一断面式		・アルミニウム合金製 ・			
旗竿受金物 ※ステンレス鋼(SUS304)製・					
形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	備考
・上下式鎖内蔵式 (・標準品・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式) ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t=2.0 ・	・GL+700 ・	
フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス					
高さ・() ○図示					
種 類 ※コンクリートブロック製(市販品)・花こう石類(文字記号等入り) 設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きて建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのものを行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4 程度					

特記仕様書(建築工事編) A-07		平成31年度版		高知県土木部建築課	
令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区					
令和4年4月					
株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		令和2年7月改正			

24 耐震スリット

方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考
・垂直方向	※完全（全貫通型）	・耐火型	・有り	
・水平方向	・	・非耐火型	・無し	

目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1）による

目 地	内 壁	外 壁
目地材	シーリング材（見え掛かり部のみ）	シーリング材（見え掛かり部のみ）
目地寸法（mm）	※幅 20 × 深さ 10	※幅 20 × 深さ 10

25 止水板

形 式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ※図示

26 エキスパンション
ジョイント金物

材 質 ・アルミニウム ・ステンレス
クリアランス ・50 ・100 ・150
耐火性能 ・有り（ ） ・無し

㉓ ステンレス流し台

・BL製品（トラフ付） ㊦一般型（水封50mm以上のトラフ付）

28 吊り戸棚

・BL製品 ・一般型 ・公共住宅型

29 水切り棚

・一般型（材種はステンレス鋼又はアルミニウム合金製）

㉔ コンロ台

・BL製品 ㊦一般型 ・公共住宅型

㉕ ユニットバス

製造所（ ） 型 式（ ）

㉖ ケー用スリフ 蓋

プラスチック製（製造所： 型式： ）

33 プレキャストコンクリート

取付け方法 ・（ ） ・図示 （20.3.4）

34 間知石及びコンクリート
間知ブロック積み

材 種		種 類	質量区分	備 考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩			
・コンクリート間知ブロック			・A ・B	

積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・（ ） ・図示
伸縮調整目地 材種及び厚さ ・（ ） ・図示
(20.4.2～3)

22 舗装工事

㉑ ①路 床

路床の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による （22.2.2）
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ㊧ ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂
厚さは図示による
・フィルター層 ※砂 厚さは図示による
単位面積質量 60g/㎡ 以上
路床安定処理 ・行う （22.2.2～3）（表22.2.1）
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/㎡ （目標CBR ※3 以上 ・ ）
・ジオテキスタイル
単位面積質量 60g/㎡ 以上
厚さ（mm） 0.5～1.0
引張強さ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上
透水係数 1.5×10⁻¹cm/sec 以上
盛土に用いる材料 （22.2.3）（表3.2.1）
・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊧
試験 砂の粒度試験 ※行う ・行わない （22.2.5）
路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・行わない
路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない
現場CBR試験 ※行う ・行わない

厚 さ ・（ ） ・図示 （22.3.2～3）（表22.3.1）
材 料
・砕石（・クラッシャーラン ・粒度調整砕石）
※再生材 ㊧（・クラッシャーラン ・粒度調整砕石）
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ㊧
・粒度調整鉄鋼スラグ ㊧
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ㊧

㉒ ③アスファルト舗装

構成及び厚さ ・（ ） ㊦図示 （22.4.2～3）
材 料
アスファルト ・再生アスファルト ㊧（・60～80 ・80～100） ・ストレートアスファルト
骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 ㊧
加熱アスファルト混合物等の種類 （22.4.4）（表22.4.4）

区 分	※一般地域	・寒冷地域
表 層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	密粒度アスファルト混合物（13F）
基 層	粗粒度アスファルト混合物（20）	

シーコート用の乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 （22.4.3）
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない （22.4.6）

④コンクリート舗装

構成及び厚さ ・（ ） ㊦図示 （22.5.2）
寒冷地の縁部立下り寸法等 ・（ ） ・図示
早強ポルトランドセメント ・使用する （22.5.3）
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ

5 カラー舗装

構成及び厚さ ・（ ） ・図示 （22.6.2）
舗装の種類 区 分
※加熱系アスファルト混合物 ・車道及び駐車場
・石油樹脂系混合物 ・歩行者用通路
・常温系ニート工法 ・車路及び歩行者用通路
・常温系塗布工法 ・車路及び歩行者用通路
加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 （22.6.3）
配 合 （22.6.4）
加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 （ ）
ニート工法及び塗布工法の配合等 （ ）
加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない （22.6.6）

6 透水性
アスファルト舗装

構成及び厚さ ・（ ） ・図示 （22.7.2）
舗装材料 （22.7.3）
車道部 ※改質アスファルトⅠ型 ・（ ）
歩道部 ※ストレートアスファルト ・（ ）
開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない （22.7.6）

7 ブロック系舗装

舗 装	種 類	寸法（mm）	厚さ（mm）	備 考
・コンクリート 平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）		車道部 ※80・ 歩道部 ※60・	曲げ強度（N/mm ² ）車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工 ※標準品 ・
・舗石舗装	※小舗石（花崗岩） ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石		※80～100	施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ※コンクリート舗装（ ）mm ・アスファルト舗装（ ）mm

コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は、原則再生材料を用いた舗装用ブロック ㊧ とする。ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。

8 保水性歩行用
ブロック及び床タイル

製品の許容値

形 状	変 形	長辺寸法（mm）		短辺寸法（mm）		厚さ（mm）	曲げ強さ（N/cm ² ）
		300未満	300以上	150以下	300以下	500以下	
・ブロック形状	そり	1.5以内		±1.5	±2.0	—	±2.0
	ねじれ	1.5以内	—				500以上
・タイル形状	そり	1.2以内	1.5以内	±1.5	±1.5	±1.5	±1.5
	ねじれ	1.2以内	1.5以内				120以上

耐凍害性及び耐薬品性
JIS A 5209 の試験において、ひび割れ及びきじ又はうわぐすりにはがれ等の表面の異常の無いこと
耐摩耗性 施ゆう 0.1g 以下
無ゆう 0.5g 以下
保水性（吸水率） 体積比 15% 以上
製品の許容値
種 別 ・A種（施工範囲：・図示 ・通路 ・） （22.9.2）
・B種（施工範囲：・図示 ・建物周囲 ・）
・S-13（6号砕石）（施工範囲：㊦図示）
（JIS K 5665（路面表示用塗料）による）

9 砂利敷き

種 別 ・A種（施工範囲：・図示 ・通路 ・） （22.9.2）
・B種（施工範囲：・図示 ・建物周囲 ・）
・S-13（6号砕石）（施工範囲：㊦図示）
（JIS K 5665（路面表示用塗料）による）

10 路面表示用塗料

種 類	施 工	適 用	色	幅（mm）	塗布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 ㊧	常温	液状	※白 ・	・150	※1.0	塗料総質量に対して 5%以下
・2種 ㊧				・100	・	
※3種1号	熔融	碎体状				

㊧ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

特記仕様書（建築工事編）A-08

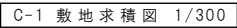
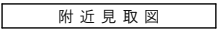
令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区

株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

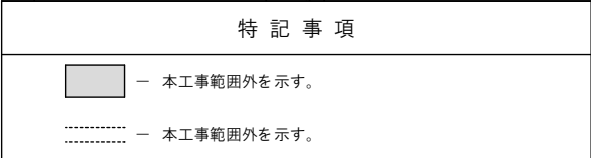
令和 2 年 7 月改正

平成31年度版

高知県土木部建築課



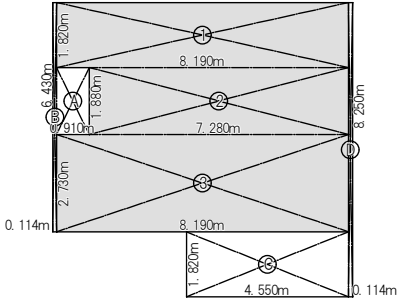
番 号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	14. 05	2. 52	35. 4060	17. 70300
2	17. 10	8. 27	141. 4170	70. 70850
3	14. 75	2. 63	38. 7925	19. 39625
4	13. 21	1. 06	14. 0026	7. 00130
5	14. 75	0. 74	10. 9150	5. 45750
6	17. 10	4. 31	73. 7010	36. 85050
7	5. 12	1. 99	10. 1888	5. 09440
8	6. 31	2. 20	13. 8820	6. 94100
合 計				169. 15245
敷 地 面 積				169. 15 m ²



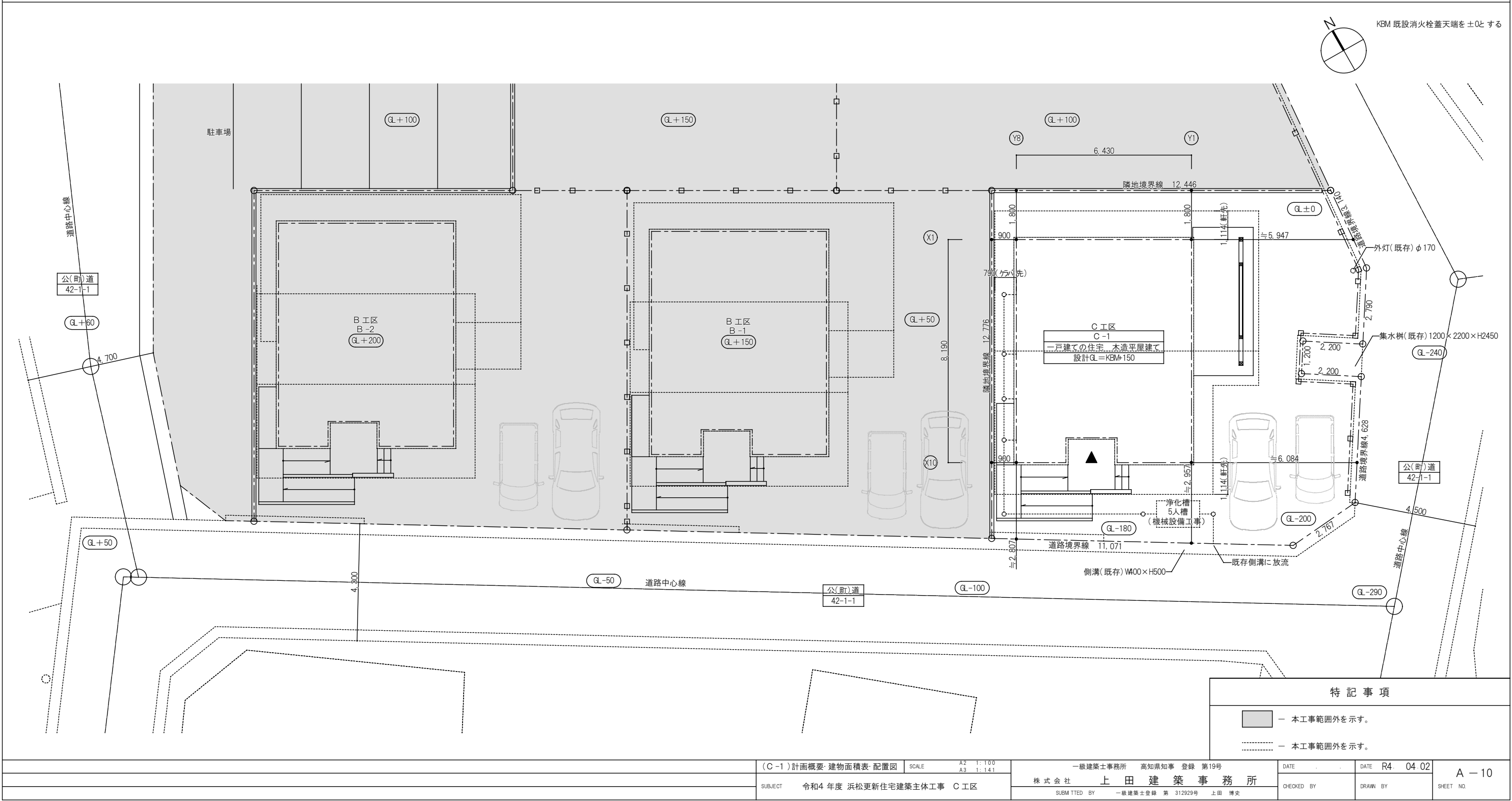
計画概要					面積表 1/150	
工事名称	令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区			建築概要	構造	木造在来軸組み工法
建物名称	C 工区 C-1	確認申請名称	(仮称)浜松改良住宅R4-1		階数	平屋建て
建築主	住所	高知県幡多郡黒潮町入野5893			最高の高さ	4.153m
	氏名	黒潮町長			軒高さ	2.915m
敷地概要	地名地番	高知県幡多郡黒潮町入野318番地				
	住居表示				建築面積	62.61㎡
	敷地面積	169.15㎡			1階床面積	50.95㎡
	都市計画区域	都市計画区域内			2階床面積	
	用途地域	指定なし			延床面積	50.95㎡
	防火地域	指定なし			容積対象床面積	50.95㎡
	指定建ぺい率	70%			建ぺい率	(62.61/169.15)×100=37.01%
	指定容積率	200%			容積率	(50.95/169.15)×100=30.12%
	高さ制限	なし				
	その他の指定	なし				
道路	道路幅員	4.3m 4.5m	接道長さ	29.996m		

延床面積		
記号	計算式	面積
1	1.820×8.190	14.9058
2	1.880×7.280	13.6864
3	2.730×8.190	22.3587
合計(㎡)	計1~3	50.9509
		延床面積 50.95㎡

建築面積		
記号	計算式	面積
A	1.880×0.910	1.7108
B	6.430×0.114	0.73302
C	1.820×4.550	8.281
D	8.250×0.114	0.9405
	計A~D	11.66532
	計1~3	50.9509
合計(㎡)	計A~D、1~3	62.61622
		建築面積 62.61㎡



配置図 1/100



(C-1)計画概要・建物面積表・配置図			SCALE	A2 1:100 A3 1:141	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE R4. 04 02	A - 10
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区			株式会社 上田建築事務所		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	

外 部 仕 上 表									
屋 根 (2. 5 寸 勾 配)	㊦	化粧スレート葺き (30 分 準 耐 火 仕 様)	通 気	㊸	小屋裏換気役物 (既 製 品) ※その他雨押え: カテガルバコム鋼板 t0. 4 (既 製 品)	物 干 場	㊹	床 モタル金鍍押え	
		アスファルトフリング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)		㊹	棟換気役物 (既 製 品) ※その他棟包み: カテガルバコム鋼板 t0. 35 (既 製 品)				
			桁 鼻	㊺	カテ Q.t0. 35 ~ 0. 4				
			破 風 板	㊻	杉 t35 巾 180 (防 腐 処 理 材) WP 塗				
軒 天	㊼	化粧野地板 杉 t15 厘 い 実 加 工、構造用合板 t15 捨 張	鏡 板	㊼	杉 t12 縦 羽 目 働 き 巾 W05 目 地 押 さ え t18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊽	窯業系サイディング 張り t16. 0 (45 分 準 耐 火 仕 様)	堅 目 地	㊽	杉 90*60 (防 腐 処 理 材) WP 塗 *底目地 カテ Q.t0. 35 ~ 0. 4	【 塗 装 色 : 参 考 品 番 】 外部 WP 塗 : 黒 (焼 杉 風) マネル 値 : 3. 6 RP 2. 3 / 0. 0 内部 WP 塗 : グレア マネル 値 :			
		通気胴縁 21*45@455、透湿防水シート 張り	根 廻 り	㊾	基礎エクゴト打ち 放 し (補 修 共)				
樋	㊿	カテガルバコム鋼板 半丸 120 程 度 ・ 堅 樋 φ 75	水 切	㊿	土 台 水 切 カテ Q.t0. 35 (既 製 品)				
小 庇 (D=240)	㊿	ガルバコム鋼板 t0. 35 ~ 0. 4 平 葺 き	ポ ー チ	㊿	床 磁 器 質 タイル 50 角 モタル下地				
		板庇 : 杉 (防 腐 処 理 材) t35 WP 塗	外 部 階 段 ・ スロ ー プ	㊿	床 モタル金鍍押え *外構図参照				

使 用 材 料 表		
認定 番 号	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	告示第1358号 第五第1号-ロ(1) NM-9567
	窯業系サディング 張り t16.0 (45分準耐火仕様)	QF045BE-9226
	GB-R(石膏ボード) t12.5 t15.0	NM-8619
	GB-S(シージング 石膏ボード) t9.5	NM-9639
	ビニルクロス	NM認 定 品

内 部 仕 上 表														
	室 名	床		巾 木		壁			廻 縁		天 井 仕 上		床高/天井高	備 考
1 階	玄 関	㊿	磁器質タイル50角	㊿	木製桧 H=65 WP 塗	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,220	・ 下足箱  ・ アンクル框: メタル調Lアングル L21*21程度 ・ 手掛兼用見切: 桧(小節)45*75R加工、H2,200 WP 塗
			下地: モタル 35程度				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	廊 下	㊿	桧フローリング t15(塗装品)	㊿	木製桧 H=45 WP 塗	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,200	
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	台 所	㊿	桧フローリング t15(塗装品)	㊿	木製桧 H=45 WP 塗	㊿	ビニルクロス張り	㊿	㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: ≒2,804	・ キッチン (流し 台L=1,800, コロ台L=700, レンジフード(プ-ス型)L=750, 水切棚)
			下地: 構造用合板t28			㊿	下地: GB-R t15.0	㊿				下地: GB-R t12.5		
	居 間	㊿	桧フローリング t15(塗装品)	㊿	木製桧 H=45 WP 塗	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り		・ カテレール(W) ・ クレタキャップ
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	和 室	㊿	スタロ量t55(B種)	㊿	畳寄せ 25*50	㊿	ビニルクロス張り		㊿	木製廻縁 10*25	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,300	・ 長押: 桧(小節)L=1,500WP 塗、木製フック計4組(丸喜金属: Jフック MHW-200同等 色ウレイト) ・ カテレール(W) ・ クレタキャップ
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	ト イ レ	㊿	CFシート t1.8張り	㊿	ビニル巾木 H=45	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,100	・ 洋便器(機械設備工事) ・ L型手摺(機械設備工事) ※下地補強は本工事 ・ タオル掛(機械設備工事) ・ 天井換気扇(機械設備工事)
			下地: ラン合板t12.0捨張、構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	洗 面・脱 衣 室	㊿	CFシート t1.8張り	㊿	ビニル巾木 H=45	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,100	・ 床下点検口600角 ・ 洗面化粧台W=750(機械設備工事) ・ 洗濯機パン(機械設備工事) ・ タオル掛け(機械設備工事)
			下地: ラン合板t12.0捨張、構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t12.5		
	浴 室		*1416規格 仕上・下地材共 難燃以上 (性能評価「 9. 高齢者等への配慮」対応型)			㊿	GB-R t15.0素地				㊿	GB-R t12.5素地	CH: 2,100	・ エコバシ1416タイプ(機械設備工事)
共 通	押 入	㊿	ラン合板t15.0	㊿	雑巾摺り 10*15	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,200	・ 中段D=750 ・ 枕棚D=450 ・ 天井点検口450角
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0					下地: GB-R t15.0		
	物 入 1	㊿	ラン合板t15.0	㊿	雑巾摺り 10*15	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,200	・ 可動棚 
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0				㊿	下地: 台所 GB-R t12.5		
	物 入 2	㊿	ラン合板t15.0	㊿	雑巾摺り 10*15	㊿	ビニルクロス張り		㊿	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊿	ビニルクロス張り	CH: 2,300	・ 中段D=750 ・ 枕棚D=450
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15.0				㊿	下地: GB-R t12.5		

2 . 火災時の安全 感知警報装置（設備工事）		
種 類	設 置 場 所	種 別
住宅用火災警報器	居間・和室	光電式煙感仕警器（無線式連動型）
住宅用火災警報器	台所	定温式煙感仕警器（無線式連動型）

3 . 劣化の軽減		
項 目		内 容
外壁の軸組等の防蟻処理	外壁の構造	外壁通気構造（通気厚巾21mm）
	柱の樹種・小径	松 120mm・105mm
	Qより1m以内の軸材・床構造用合板	薬剤処理（木材保存協会認定防蟻剤又は3071対策境界認定防蟻・防蟻剤を現場塗布・薬剤処理（木材保存協会認定防蟻剤又は3071対策境界認定防蟻・防蟻剤を現場塗布
土台の防蟻・防蟻		外壁下端の水切を設置（カ-Q通気水切り 有効換気面積83.83cm2/m） 松
地盤の防蟻		鉄筋エクリトベた基礎（t150）
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室エオ1416タイプ
	脱衣室	防水上有効な仕上（床：フロア 壁天井：ビ-コメロス）
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
床下防湿・換気	防湿方法 換気方法	エクリトスラブ t150、ポリエチレンフィルム40.15 基礎パ-ツェグ（有効換気面積101.76cm2/m 高さ20mm）
小屋裏換気	換気方法	

4 . 維持管理				
項 目		内 容		
専用配管	排水・給水・給湯・ガス管	エクリト内に埋め込まない		
地中埋設管	排水・給水・給湯・ガス管	地中埋設配管上にエクリトを打設しない		
専用配管の清掃処置	全体	清掃口・及び清掃可能なトラップを設置		
排水管の性状等	全体 たわみ・抜け	VP管を使用し内部は平滑とする 接着固定を行い、支持金物を設置		
配管点検口	主要接合部の点検措置	露出配管及び点検口の設置		
基礎貫通部の配管		さや管方式		
部 位	排水管の清掃措置	接合部の点検措置		
		排 水 管	給 湯 管	排 水 管
トイレ	排水マスに接続	露出	-	取り外し可能
システムキッチン	清掃可能なトラップ	キャビネット扉	キャビネット扉	キャビネット扉
洗面化粧台	清掃可能なトラップ	キャビネット扉	キャビネット扉	キャビネット扉
洗濯機用水栓・排水	清掃可能なトラップ	露出	露出	点検口
浴室	清掃可能なトラップ	点検口	点検口	点検口
給湯器	-	露出	露出	-

5 . 温熱環境	
項 目	内 容
地域の区分	6 地域
断熱工法の種別	充填断熱工法

断熱性能の確保	
項 目	内 容
断熱材の施工方法	隙間なく充填
外壁上下端部と天井・屋根の取合い部	気流止め枠材
間仕切り壁と天井・床の取合い部	気流止め枠材

開口部断熱性能		
項 目	内 容	熱 貫 流 率
窓	7は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.17
装飾窓	7は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.00
勝手口戸（台所）	7は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	2.43
玄関引戸	金属製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	3.22

6. 空気環境	
項 目	内 容
使用建材	製材等、特定建材、その他の建材
居室の内装の仕上げ材	全てF☆☆☆☆の建材を使用
天井裏の下地材等	全てF☆☆☆☆の建材を使用
換気方式	第3種 給気口+排気機
風量	換気階数 0.5回/h 以上の換気量
圧力	機外静圧≧必要静圧
居室出入口の通気措置	換気ルトとなるドアはアダ-カト（10mm以上） 引き戸・スライド戸・折れ戸

8. 音環境	
項 目	内 容
開口部遮音性能	居室の外壁に設ける開口部は全てT-1とする

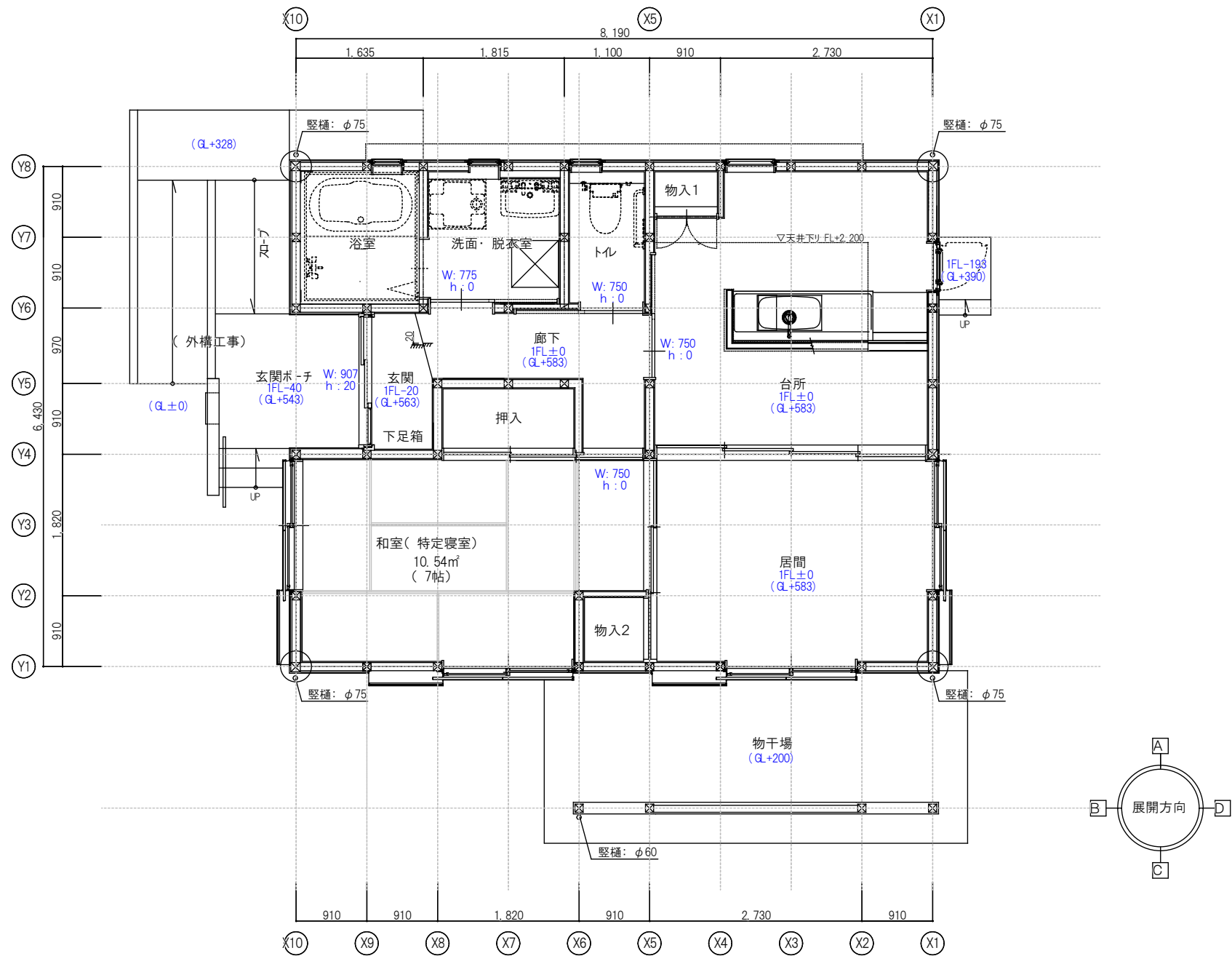
9. 高齢者等配慮			
項 目	内 容	項 目	内 容
特定寝室	特定寝室：1階和室（内法面積：10.54㎡）	手摺	便所手摺：有り
特定寝室と同一階の室	玄関・台所・居間・トイレ・洗面・脱衣室・浴室		浴室手摺：有り（浴室出入口・浴槽出入口）
段差	玄関出入口 くつずりと玄関外側：20mm		玄関手摺：有り
	玄関出入口 くつずりと玄関土間：0mm		脱衣室手摺：設置可能
	玄関上がりかまち：20mm		
	浴室出入口：20mm以下		

断熱材の種類と厚さ			
部 位	材 料	厚 さ	備 考
屋根	該当なし		
天井	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
壁	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
床（外気に接する部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
床（その他の部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
土間床等の外周部	該当なし ※UB床下部は、断熱構造化とする		

内部結露防止対策	
項 目	内 容
防湿層の設置	防湿フィルム JL SA6930 A種 厚0.15
通気層の設置	外壁通気構造
	天井小屋裏換気
	床下に換気口
防風層の設置	透湿防水シート JL SA6111 厚0.16

日射遮蔽	
項 目	内 容
開口部の日射侵入対策	LOWE複層ガラス（日射遮蔽型）
	日射取得率：

局所換気対策		
項 目	機 械 換 気	換 気 窓
台所	有	有
浴室	有	有
トイレ	有	有



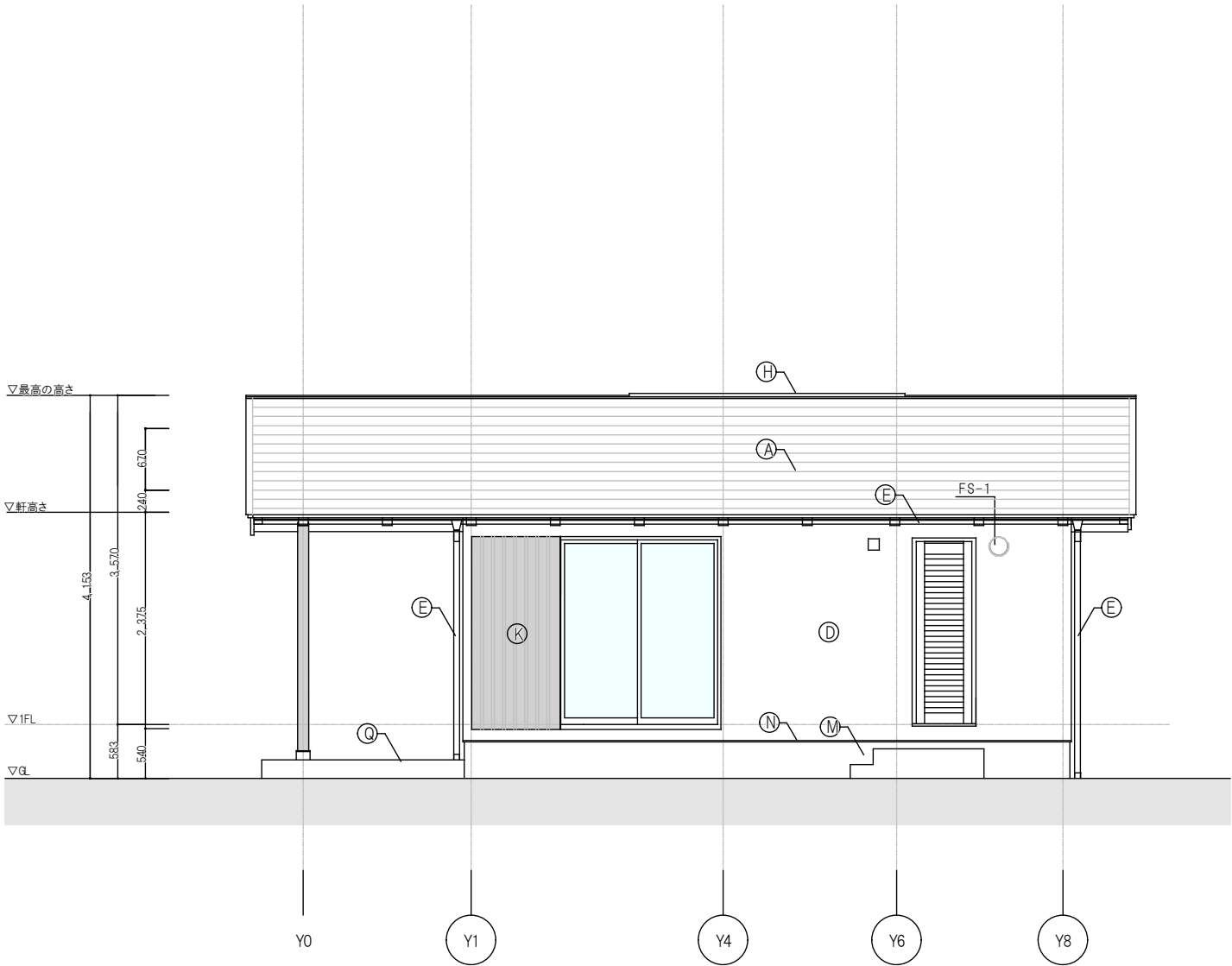
1階 平面図 S: 1/50

凡 例		面 積 表		
⊗ 通し 柱	120*120	⊗ 床下点検口	1階 床面積	50.950㎡
⊗ 管 柱	105*105	W: 000 出入口有効幅員 h: 0 出入口段差	延床面積	50.95㎡

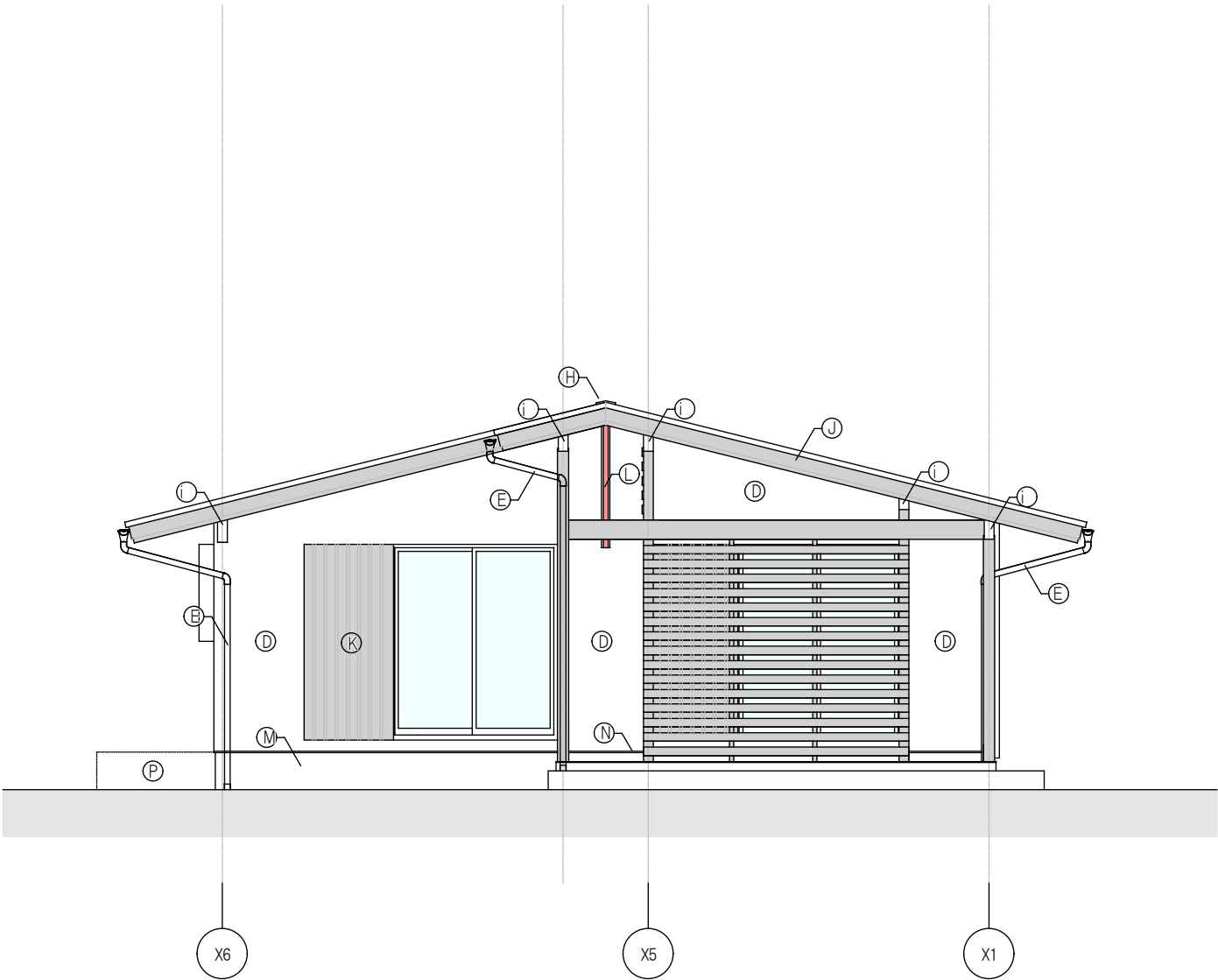
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ		平面図	SCALE A2 1: 50 A3 1: 71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03 24	A - 13
		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株式会社 上田 建築 事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	
				SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			SHEET NO.

外 部 仕 上 表									
屋 根 (2.5寸勾配)	Ⓐ	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様)	通 気	Ⓖ	小屋裏換気役物(既製品) ※その他雨押え: カ-ガルバ-コム鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	Ⓔ	床 モ-ル金鍍押え	
		アスファル-フ-ィ-ン-グ 940、構造用合板 t15*2重張り (N75@150以下)		Ⓕ	棟換気役物(既製品) ※その他棟包み: カ-ガルバ-コム鋼板t0.35(既製品)				
			桁 鼻	Ⓖ	カ-QLt0.35~0.4				
			破 風 板	Ⓖ	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	Ⓒ	化粧野地板 杉t15厘い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	Ⓖ	杉t12縦羽目 働き 巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	Ⓓ	窯業系サ-ディ-ン-グ 張り t16.0(45分準耐火仕様)	豎 目 地	Ⓖ	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-QLt0.35~0.4	【 塗装色:参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マ-セ-ル値: 3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: グ-ア- マ-セ-ル値:			
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	根 廻 り	Ⓖ	基礎コ-ン-クリ-ト打ち 放し (補修共)				
樋	Ⓔ	カ-ガルバ-コム鋼板 半丸120程度・ 樋樋φ75	水 切	Ⓖ	土台水切 カ-QLt0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	Ⓕ	ガルバ-コム鋼板t0.35~0.4平葺き	ポ ー チ	Ⓖ	床 磁器質タイル50角 モ-ル下地				
		板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	外 部 階 段: スロ-プ	Ⓖ	床 モ-ル金鍍押え *外構図参照				



(X1)-立面図 S: 1/50

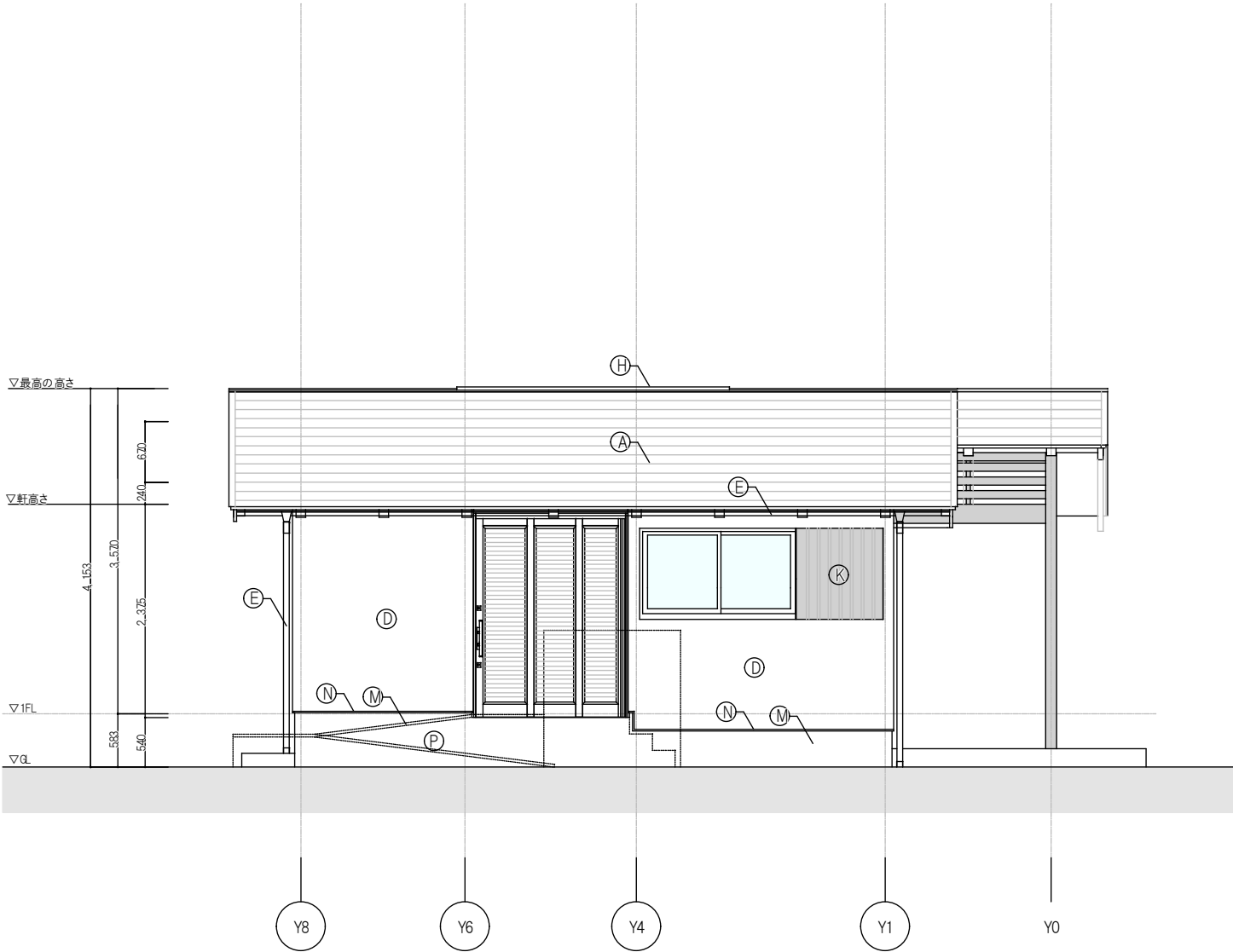


(Y1)-立面図 S: 1/50

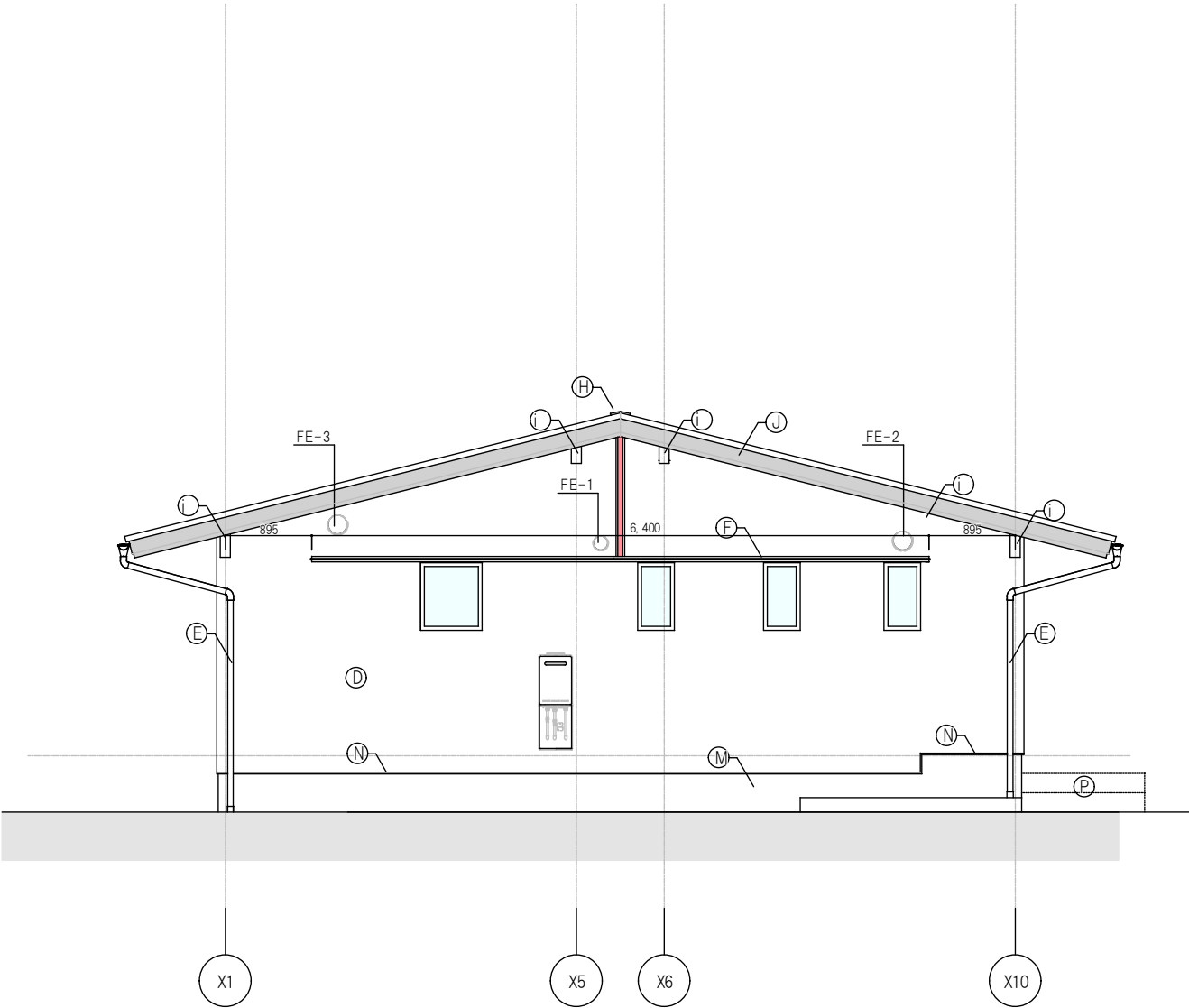
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ	立面図-1	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4 03 24	A-14
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田 建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

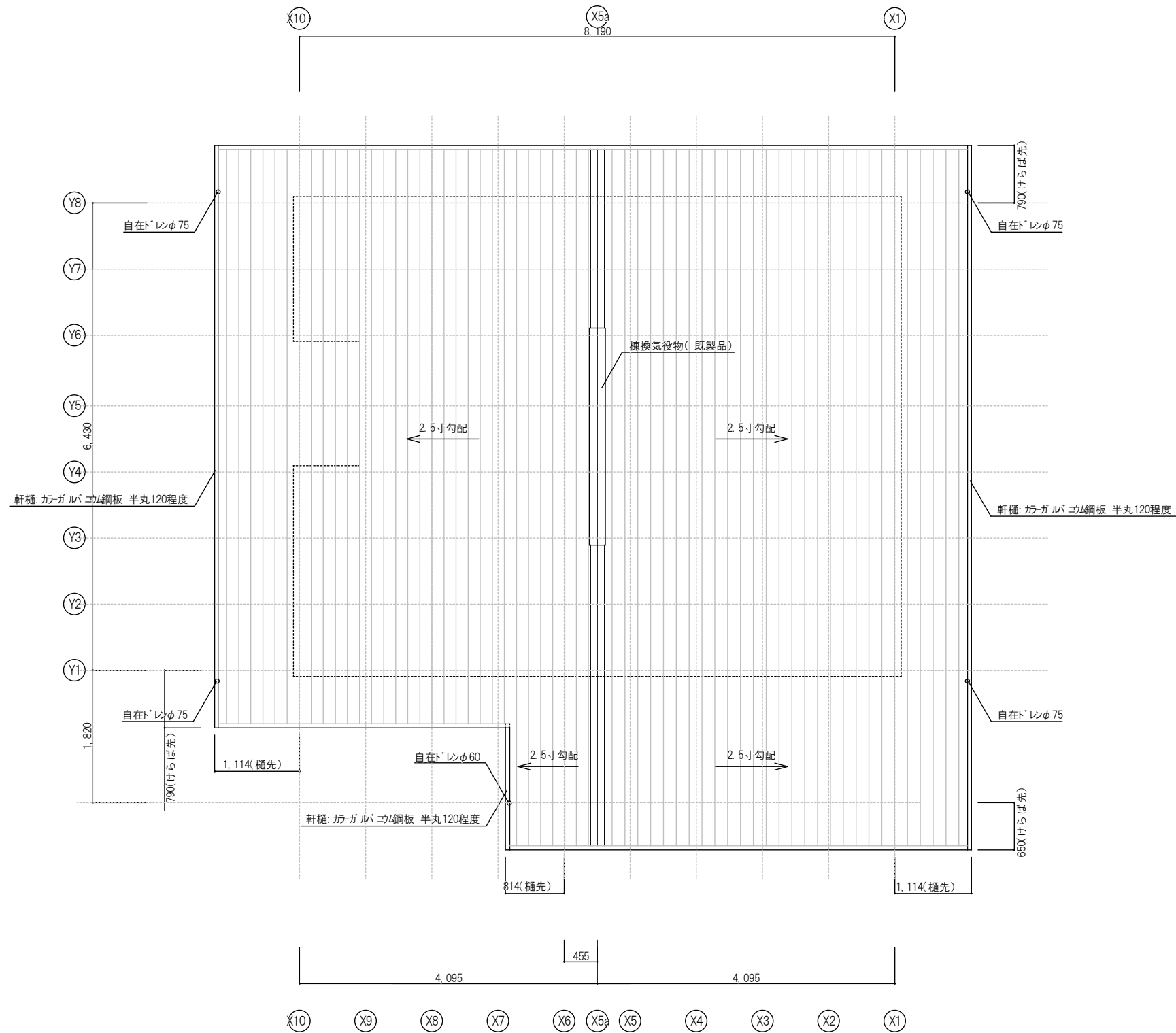
外 部 仕 上 表									
屋 根 (2.5寸勾配)	㊶	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様)	通 気	㊸	小屋裏換気役物(既製品) ※その他雨押え: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	㊹	床 モ-ル金鍍押え	
		ア-ファ-ル-フ-ィ-ン-グ 940、構造用合板 t15*2重張り(N75@150以下)		㊺	棟換気役物(既製品) ※その他棟包み: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.35(既製品)				
			桁 鼻	㊻	カ-Q.t0.35~0.4				
			破 風 板	㊼	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊽	化粧野地板 杉t15雁い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊾	杉t12縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊿	窯業系サイディング 張り t16.0(45分準耐火仕様)	堅 目 地	㊿	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-Q.t0.35~0.4	【 塗装色:参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) モ-ル値: 3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: ク-ア- モ-ル値:			
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	根 廻 り	㊿	基礎コン-リ-ト打ち放し(補修共)				
樋	㊿	カ-ガルバ-コ-ル鋼板 半丸120程度・ 縦樋φ75	水 切	㊿	土台水切 カ-Q.t0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊿	ガルバ-コ-ル鋼板t0.35~0.4平葺き	ポ ー チ	㊿	床 磁器質タ-イル50角 モ-ル下地				
		板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	外 部 階 段・スロ-プ	㊿	床 モ-ル金鍍押え *外構図参照				



X10-立面図 S: 1/50



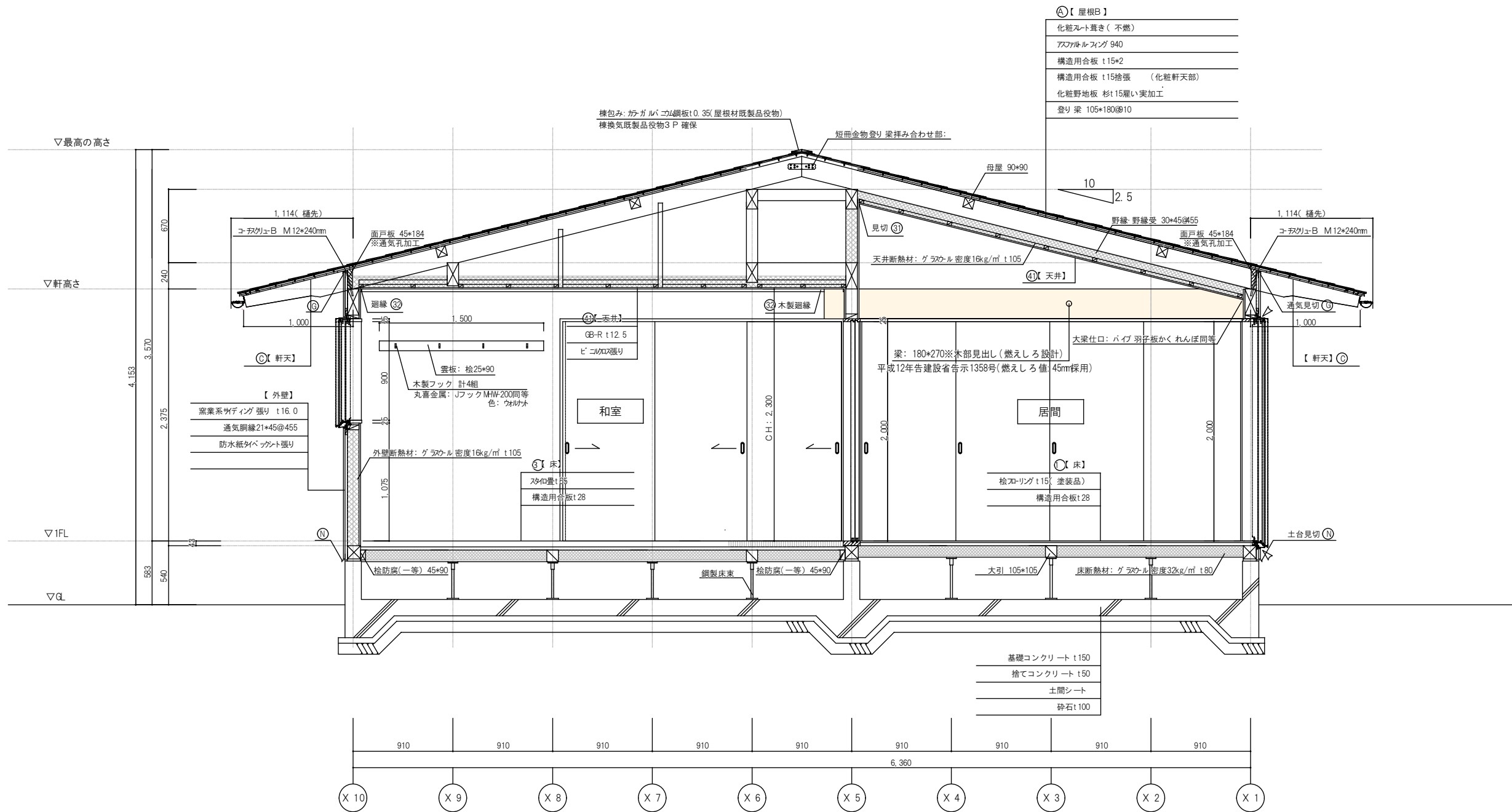
Y8-立面図 S: 1/50



屋根伏図 S: 1/50

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

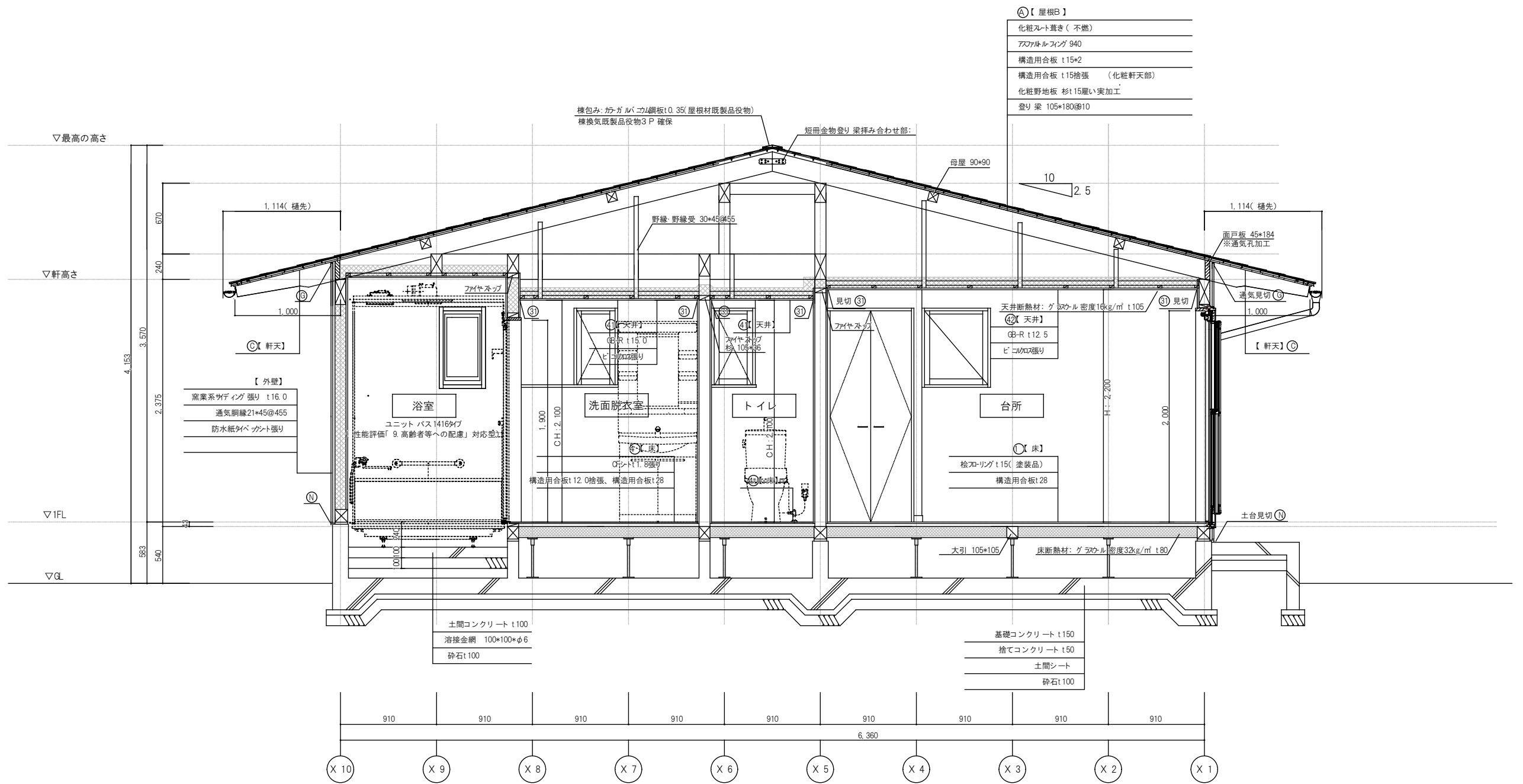
平屋建てタイプ	屋根伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03 24	A - 16
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



④【 屋根B 】	
化粧スレート葺き (不燃)	
アスファルトフイグ 940	
構造用合板 t15×2	
構造用合板 t15捨張 (化粧軒天部)	
化粧野地板 杉t15隠い実加工	
登り 梁 105×180φ10	

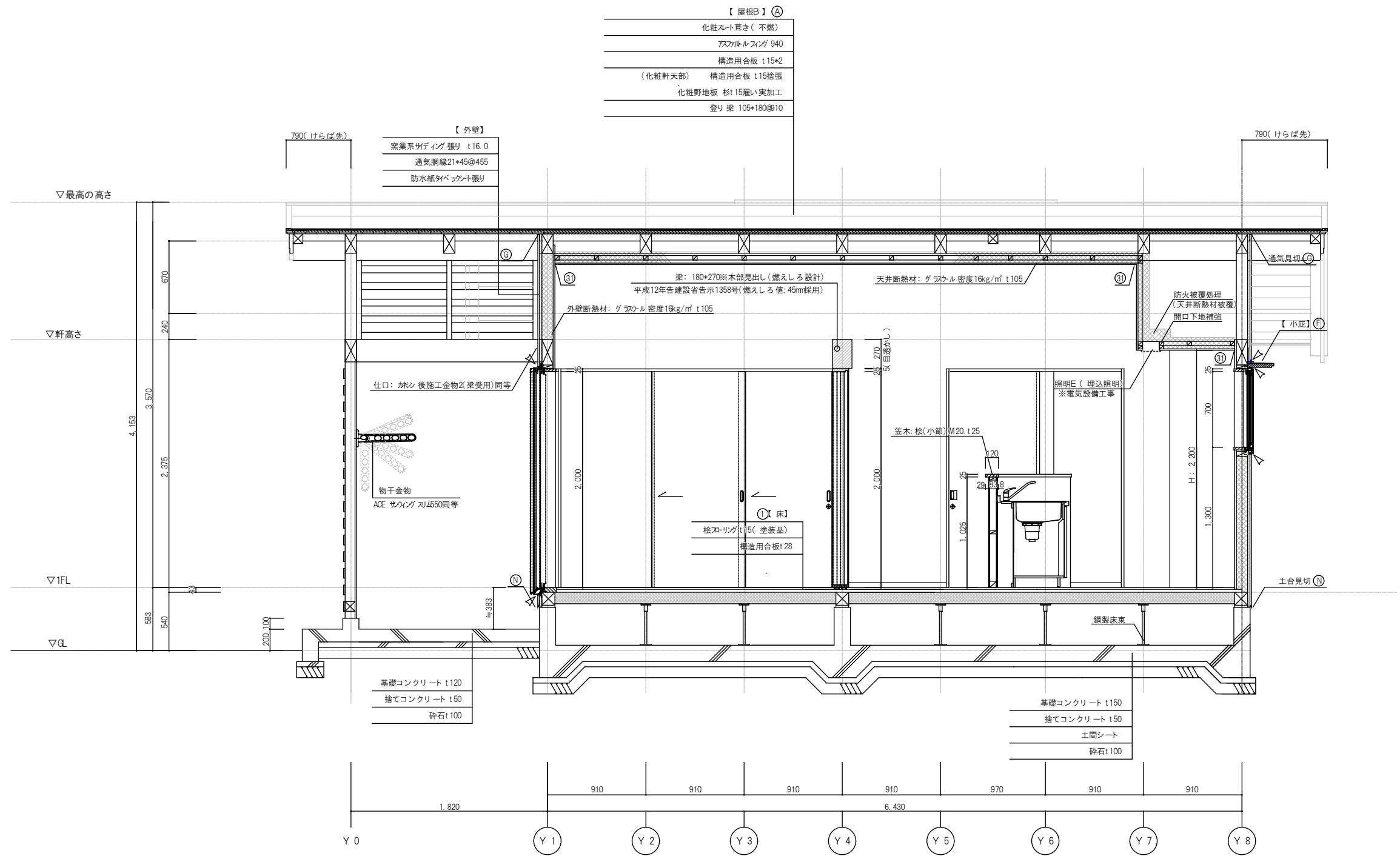
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

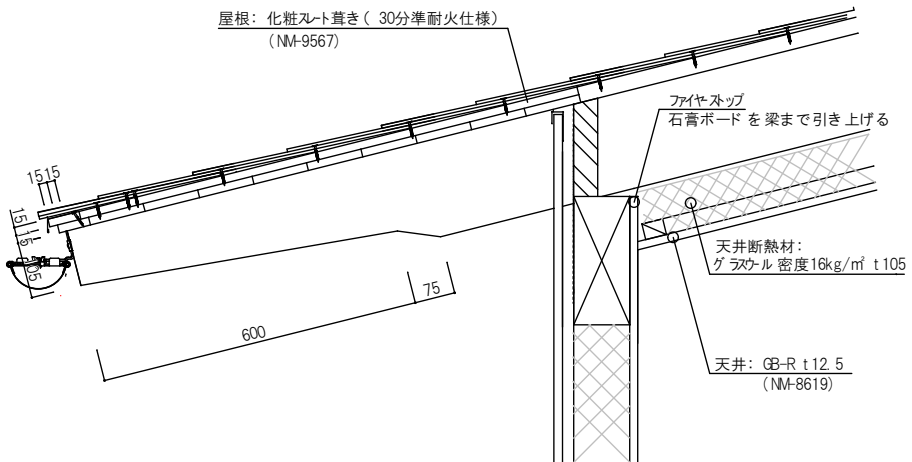
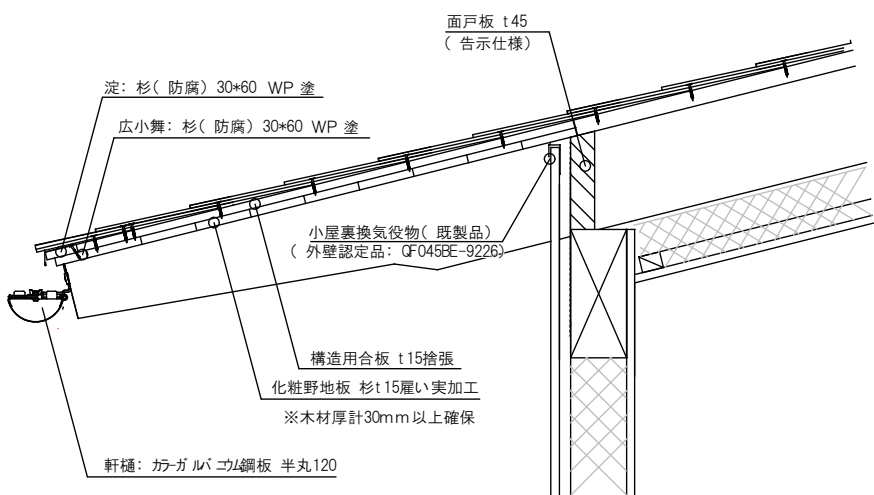
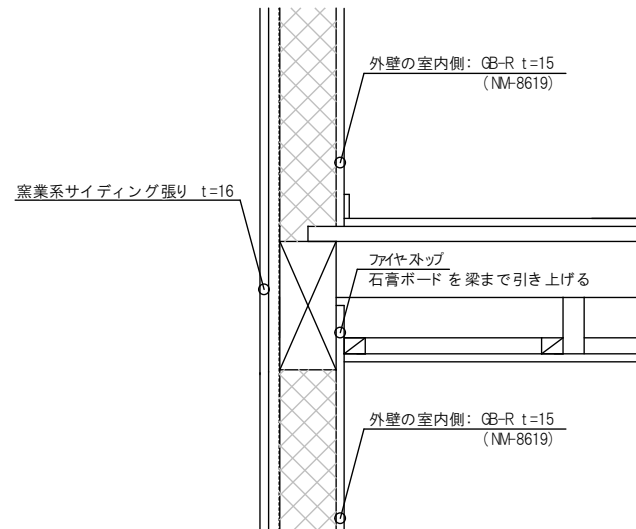
平屋建てタイプ	矩計図-1	SCALE A2 1: 30 A3 1: 42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03. 22	A - 17
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株式会社 上田 建築 事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

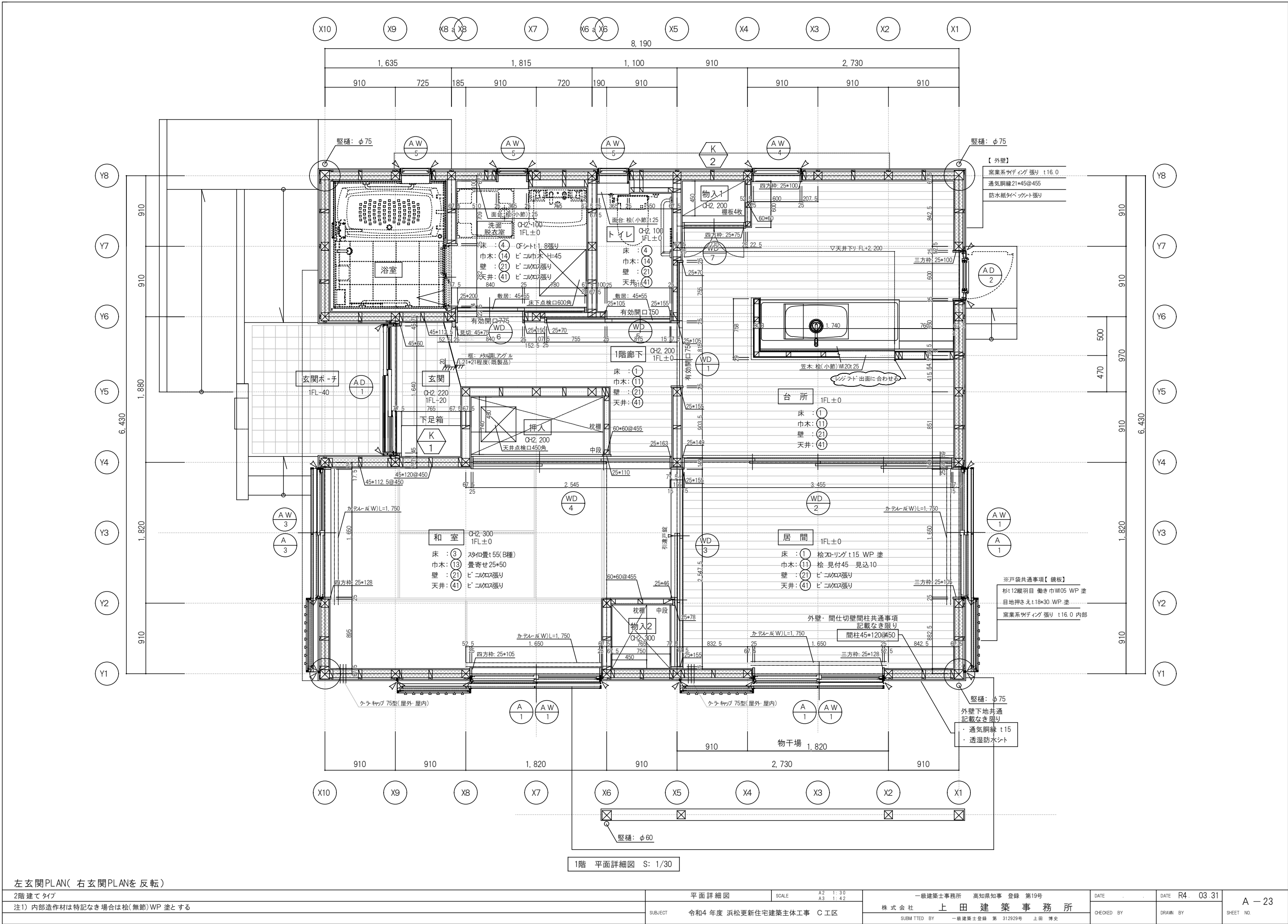


左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)





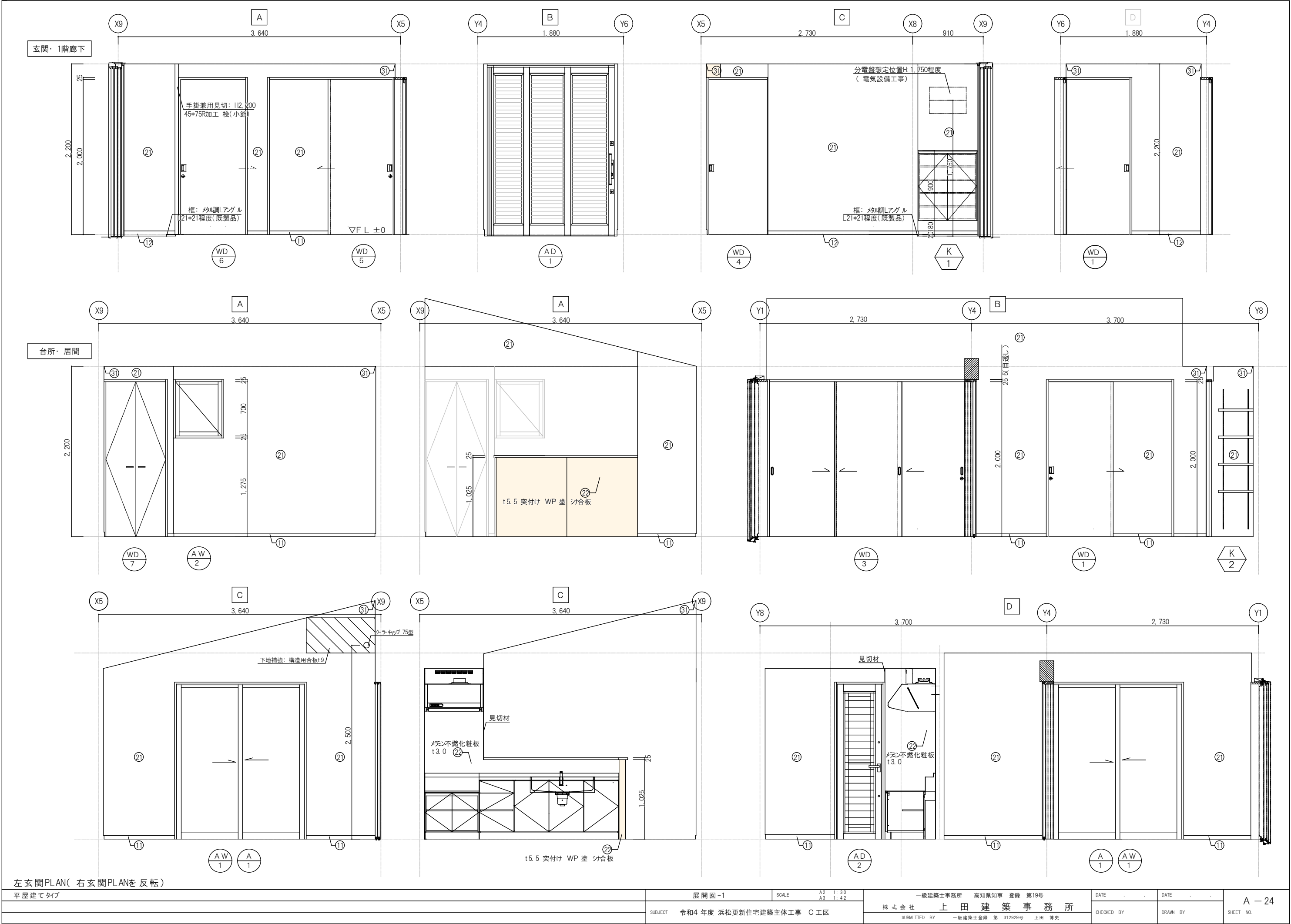
部 位		屋 根		軒 裏		外 壁	
認定番号又は告示		30分準耐火	告示第1358号 第5第1号-ロ (1)	45分準耐火	告示第1358号、 H16告示789号 準耐火構造45分 仕様(ホ)	45分準耐火	QF045BE-9226
形状・ 寸法							
部 位							
認定番号又は告示							
形状・ 寸法							
部 位							
認定番号又は告示							
形状・ 寸法							
平屋建てタイプ				準耐火リスト・詳細図		SCALE A2 1: 10 A3 1: 14	
				SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上 田 建 築 事 務 所	
						SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	
						DATE	DATE R4 03 22
						CHECKED BY	DRAWN BY
						SHEET NO. A - 22	

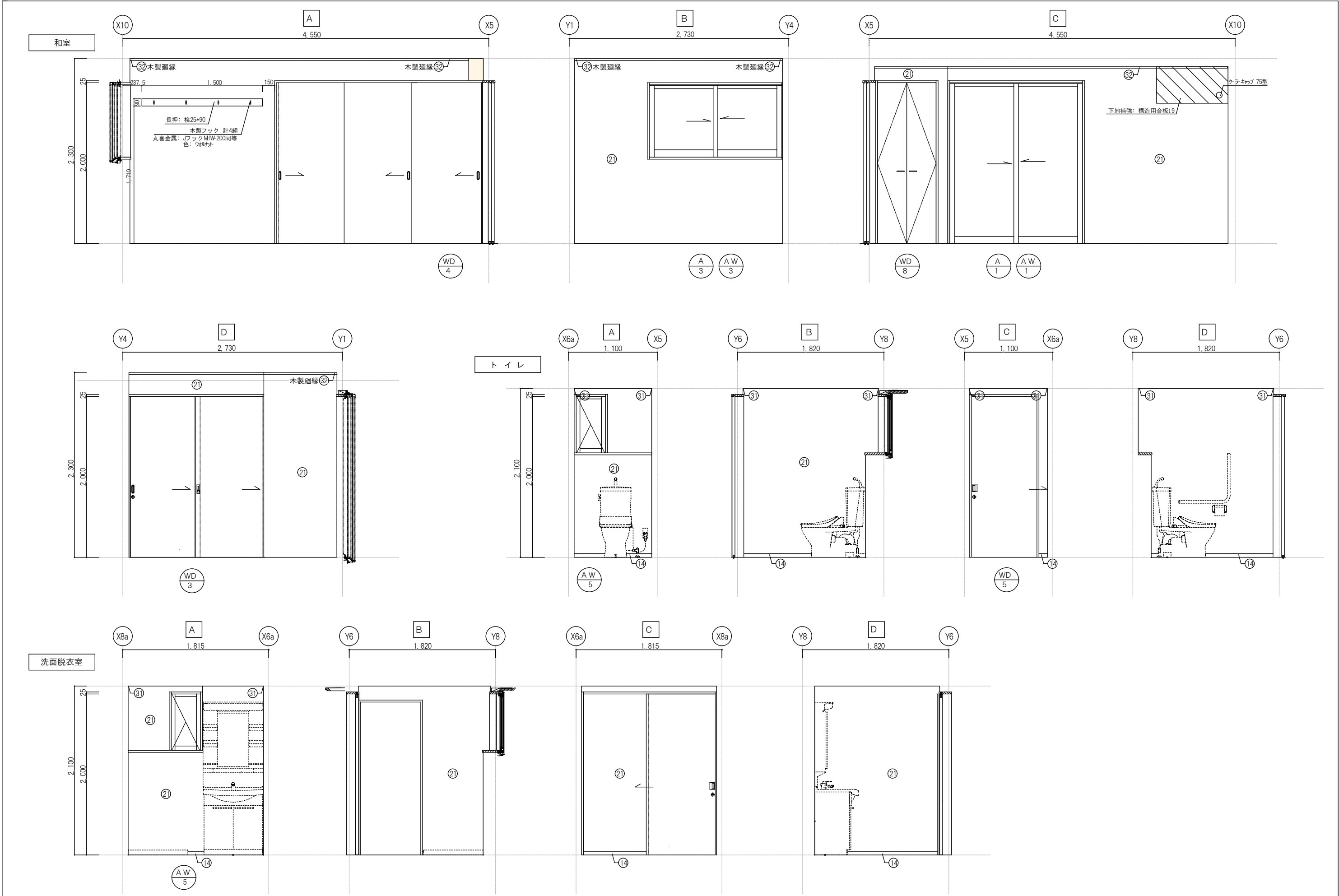


左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

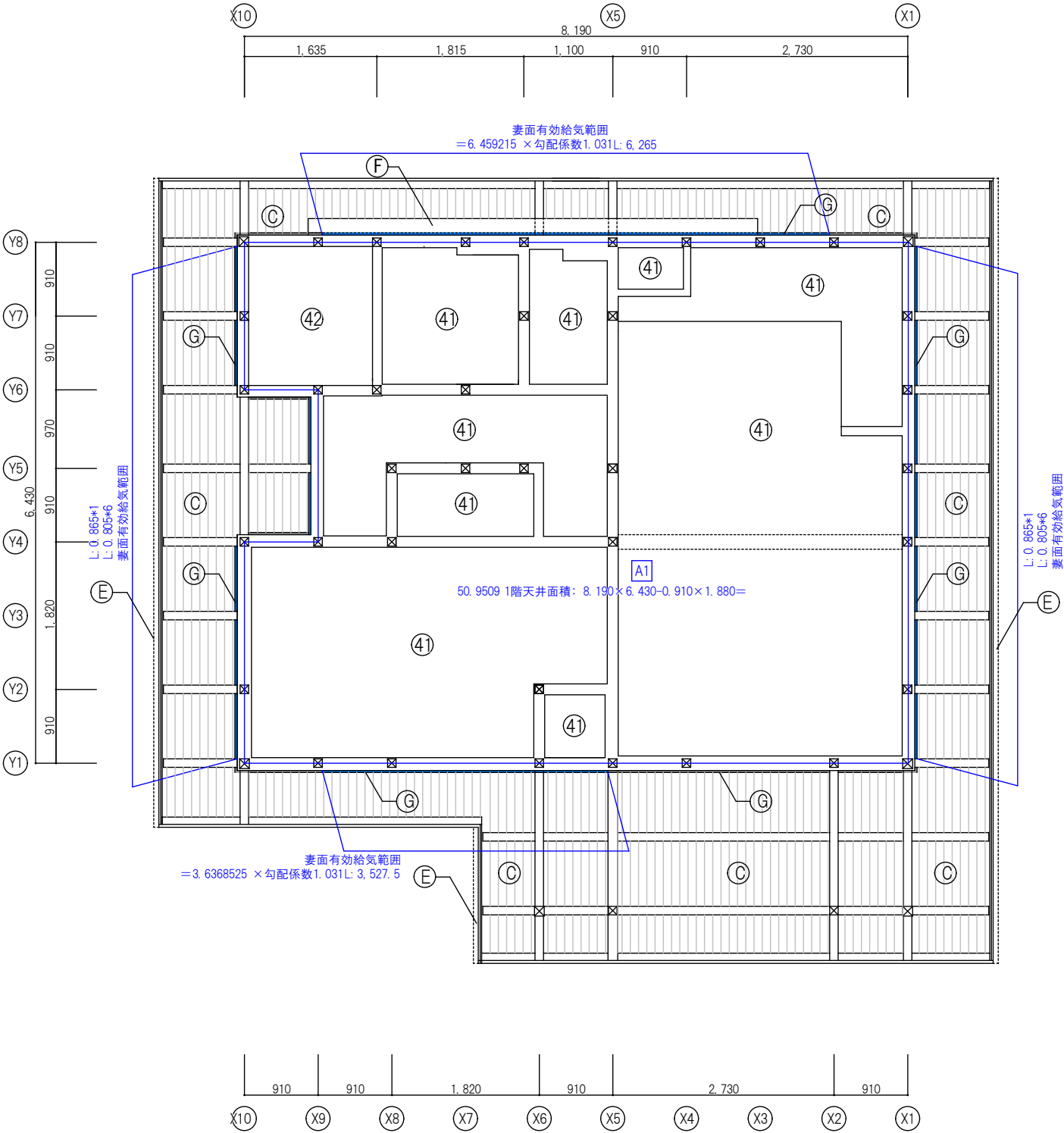
2階建てタイプ
注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP 塗とする

SUBJECT	令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区	SCALE	A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田 建築 事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE	DATE R4. 03.31	A - 23 SHEET NO.
					CHECKED BY	DRAWN BY	

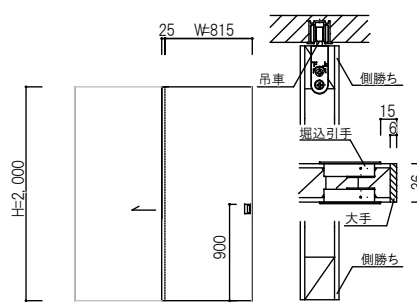
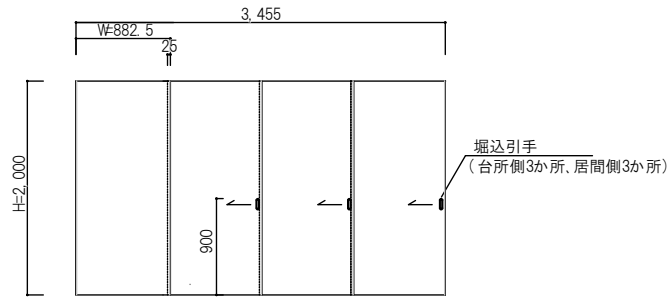
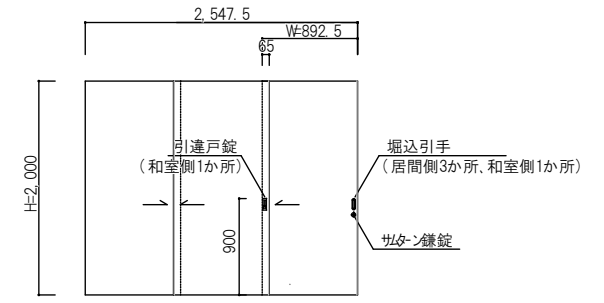
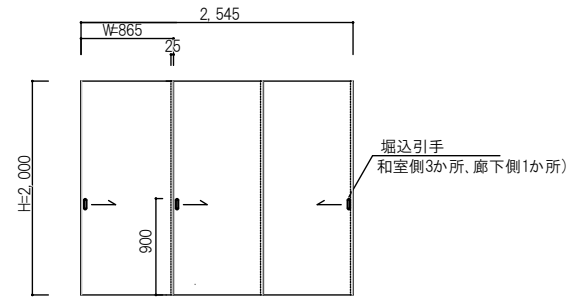
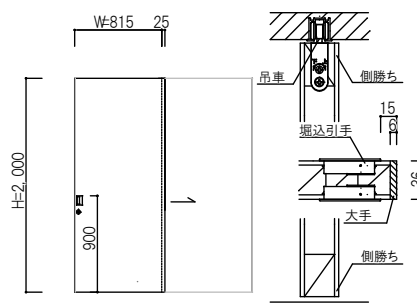
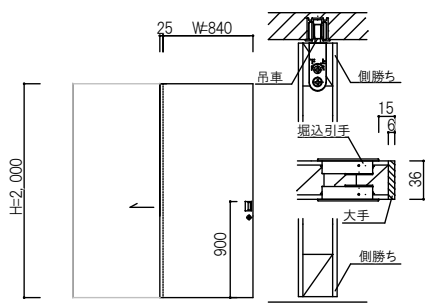
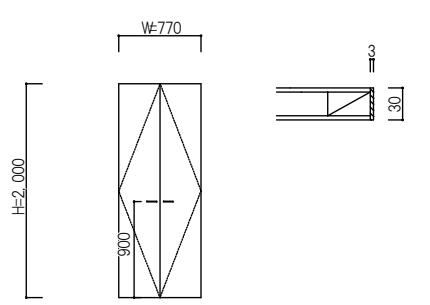




小 屋 裏 換 気 口 判 定 表								外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表			
換 気 種 類			面積 (cm2)	長さ (m)	単位開口面積 (cm2/m)	数量	有効面積 (cm2)	天井面積 (cm2)	有効面積合計 /天井面積	判 定	天 井	㊦	化粧野地板 杉t15覆い実加工、構造用合板 t15捨張	
A1	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	12	315.8820	509509	702.59440725/ 509509 =0.00137896368	≧0.001111=1/900			*OK	下地：GB-R t12.5
	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	2	56.5710							
	㊦	給気：壁通気見切り縁（妻面）	3.6368525		32.7	1	118.92507675							
	㊦	給気：壁通気見切り縁（妻面）	6.459215		32.7	1	211.2163305							
		排気：棟換気口	2.988		120.0	1	358.56		358.56/509509 =0.000703	≧0.000625=1/1600	*OK	㊦	ガルバリウム鋼板 t0.35 平葺き（色：銀黒つや消し） 野地板 桧t35 WP 塗	
												㊦	アミ製通気見切り縁 21mm厚用（色：黒）	



1階 天井伏図 S: 1/50

符号 場所 数量			WD 1 1 台所⇨1階廊下	1	WD 2 1 台所⇨居間	1	WD 3 1 居間⇨和室	1	WD 4 1 和室⇨1階廊下	1
										
見込			36		30		30		30	
塗装			OP		OP		OP		OP	
構造形式			木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 4枚引違い戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 2枚引込み戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0	
金物			掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハンガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストッパー(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)		掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部ストッパー(参考: 丸喜金属スパープリストッパー-S-204) 戸車		引違戸錠: 掘込角引手付捻締(参考: BEST#500N-105) 掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) サタン錠(参考: KAWAJUN KM-19) 埋込Vレール: 9mm 上部ストッパー(参考: 丸喜金属スパープリストッパー-S-204) 戸車		掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部ストッパー(参考: 丸喜金属スパープリストッパー-S-204) 戸車	
符号 場所 数量			WD 5 1 1階廊下⇨トイレ	1	WD 6 1 1階廊下⇨洗面脱衣室	1	WD 7 1 物入1	1		
										
見込			36		36		30			
塗装			OP		OP		OP			
構造形式			木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り			
金物			掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハンガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストッパー(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サタン錠(参考: KAWAJUN KM-19 表示錠) 明かり窓(参考: BI DOOR VP-15)		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハンガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストッパー(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サタン錠(参考: KAWAJUN KM-19)		木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハット JWW-327サイズ 100) 吊元: スライド 丁番			
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)										
注) 姿図は右玄関PLANにて作成										
建具表-2							SCALE A2 1:50 A3 1:71		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区							株式会社 上田建築事務所		DATE	
							SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	
									DRAWN BY	
									SHEET NO. A -	

符号 場所 数量			K1 下足箱	1		
			765 5(フィタ) 755 5(フィタ) 扉: 合板下地の上、ポリ 合板 ▽玄関土間 正面図 400 アヒダ ボール 900 200 300 壁面補強(木工事) 側面図 天板: 桧集成材t15 OP塗装 手掛り: テーバー加工 内部: ポリ 合板 扉: 合板下地の上、ポリ 合板 断面詳細図 S. 1/3 765 天板: 桧集成材t15 OP塗装 400 平面図			
金物			吊元: スライド`丁番 可動棚: アヒダ ボール			
符号 場所 数量			K2 可動棚	1		
			450 ▽1 FL 側面図 805 棚板: ポリ 合板t30 450 平面図			
金物			棚板材質: ポリフレッシュ合板t=4.0 棚柱: L1,820×4本 棚受共 ACE棚柱SP-1820W同等			
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転) 注) 姿図は右玄関PLANにて作成			家具図		SCALEA2 1:1.0 A3 1:1.4	
			SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田 建築 事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	
					DATE . . . DATE R4. 03. 24 CHECKED BY DRAWN BY	
					A - 29 SHEET NO.	

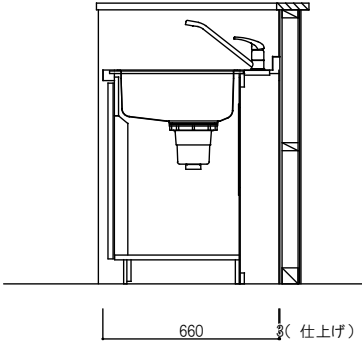
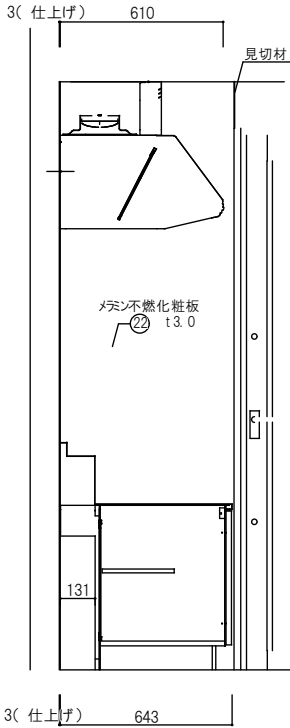
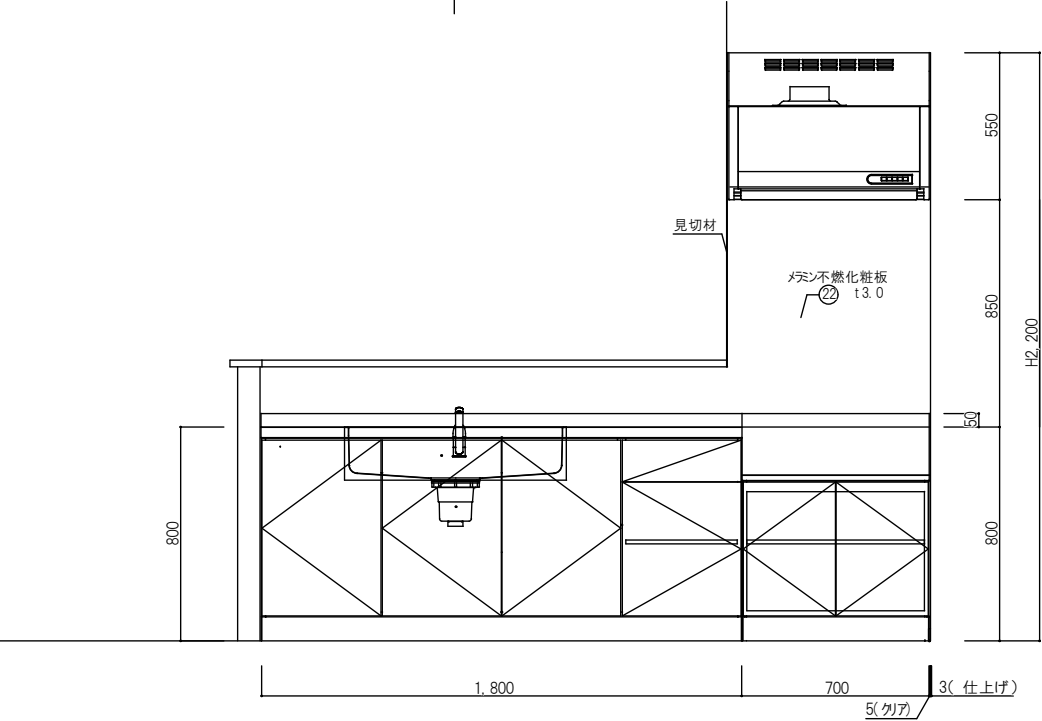
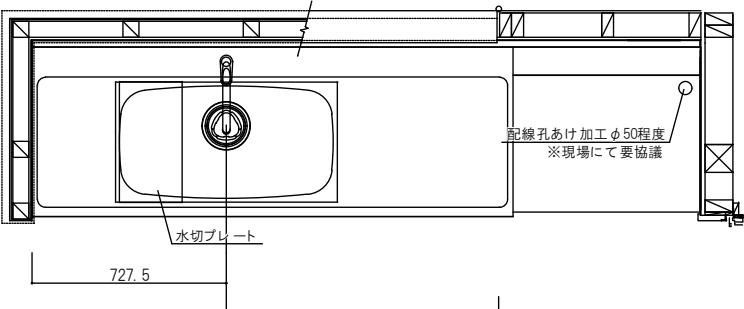
<M型-BL> 【 参考】

品名	仕様F ☆☆☆☆ 仕様	
天板	材質	SUS430
ワークトップ	シンク種類	Yシンク SUS443J1
下台	扉	特殊化粧シート 貼パーティクルボード 扉
	丁番	スライド 丁番(標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート 巻材
	底板	化粧板(本体同色)
	部品	1 段引出(木製)
レンジフード	包丁差し	D X N 包丁差し
	側面板	SUS430
	機種	VUS-BL
	風量	標準㉔U+FF80㉔U+FF72㉔U+FF80㉔U+FF9F
加熱機器	排気仕様	排気風圧
	プラグ形状	2極接地型
加熱機器	加熱機器	(別途)
水栓	水栓種類	K X S 8 7 1 J -1 -T (逆止弁は付属していません)
シーリング		(建築工事)
仕様確認項目	扉の色	未定
	扉種類	M型扉
	本体の色	ホワイト T W色
	本体の前木口色	※見え掛かり 部本体同色
	巾木の色	ダークブラウン(No. 5 3 色)
	引手	GN 引手
	フード 前面パネルの色	未定
シンク小物		水切り プレート SF

設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事(止水栓別途)
	排水配管及び排水ト ラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ 排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット 点検口蓋取付(復旧) 工事
	ガス配管及びガス管用コック取付工事(コックは付属していません)
	ダクト 工事及びレンジフード 接続工事(最終エルボはフード 施工後に取り 付けて下さい)
	最終まで固定されますとアタッチメント が取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	コンロ 台天板孔あけ加工工事
	レンジフード 取付用下地の造作取付工事
	建築との取り 合い工事
電気工事	レンジフード 用電源及びコンセント 取付工事

コンセント (電気工事)

レンジフード	㊤ 2 極接地型コンセント
--------	---------------



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

注) 姿図は右玄関PLANにて作成

キッチン 詳細図

SCALE A2 1:10 A3 1:14

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

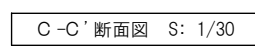
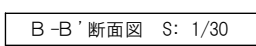
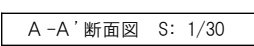
DATE

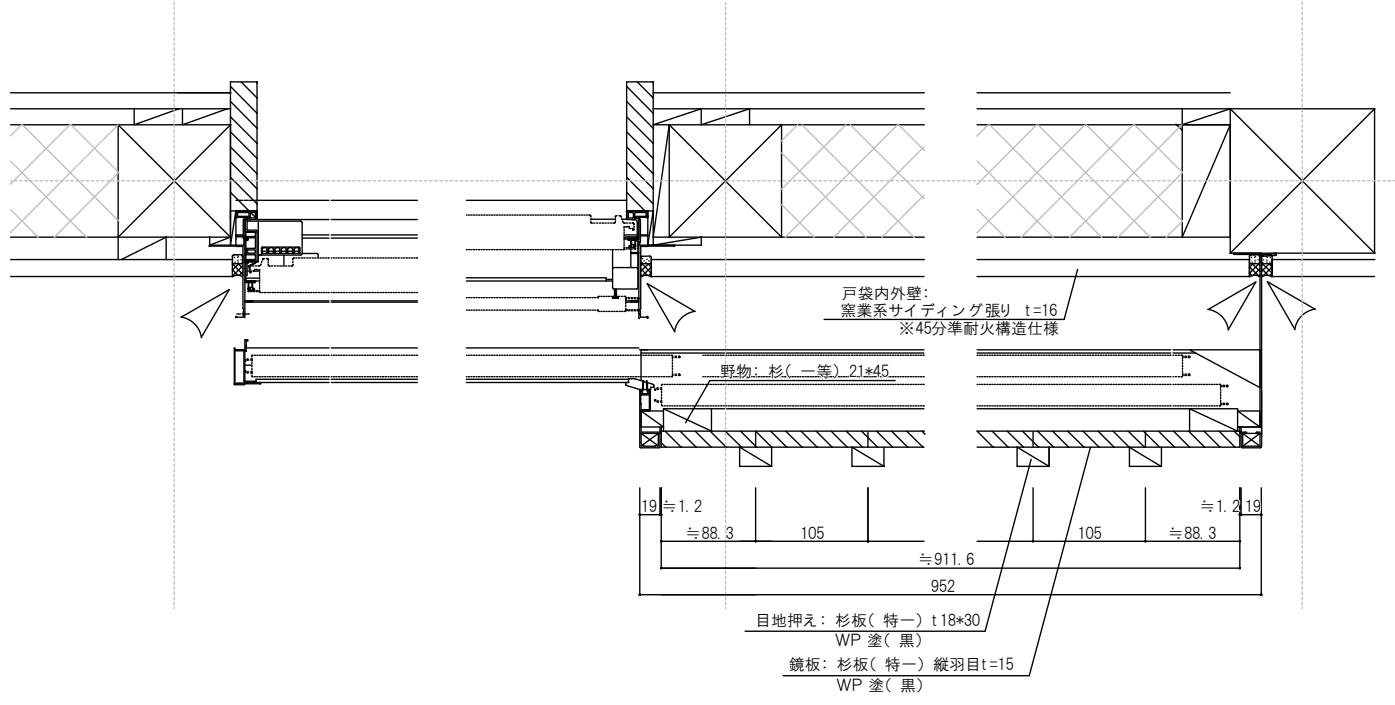
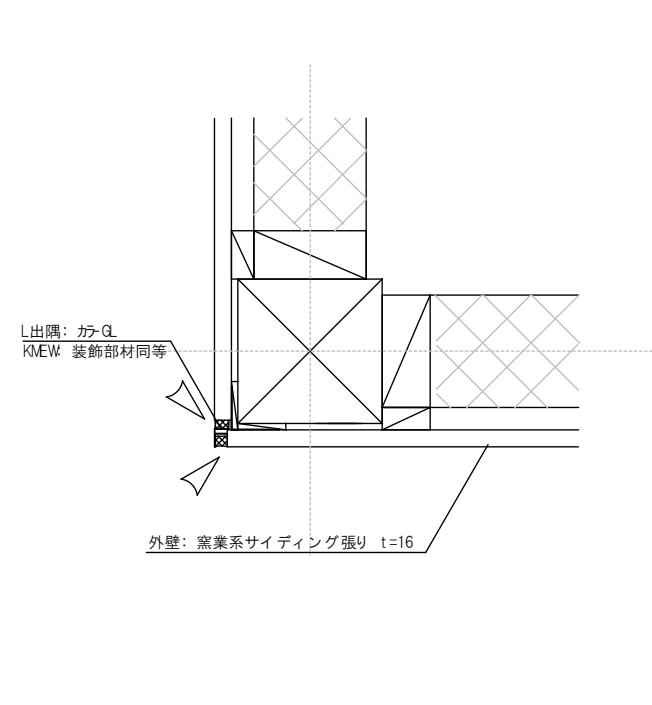
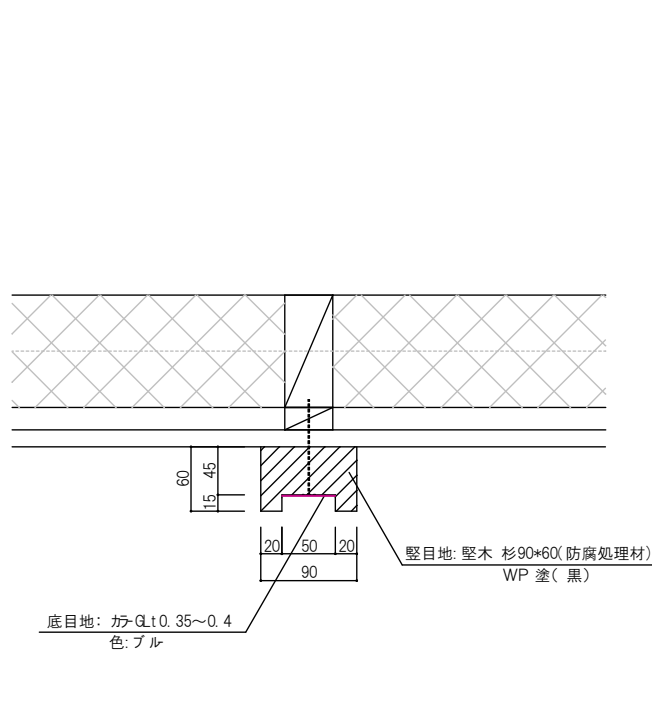
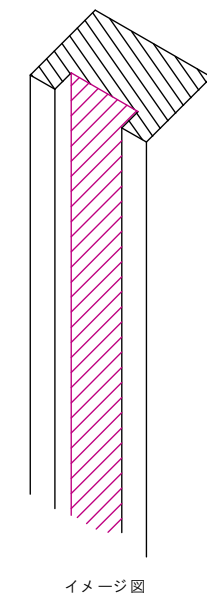
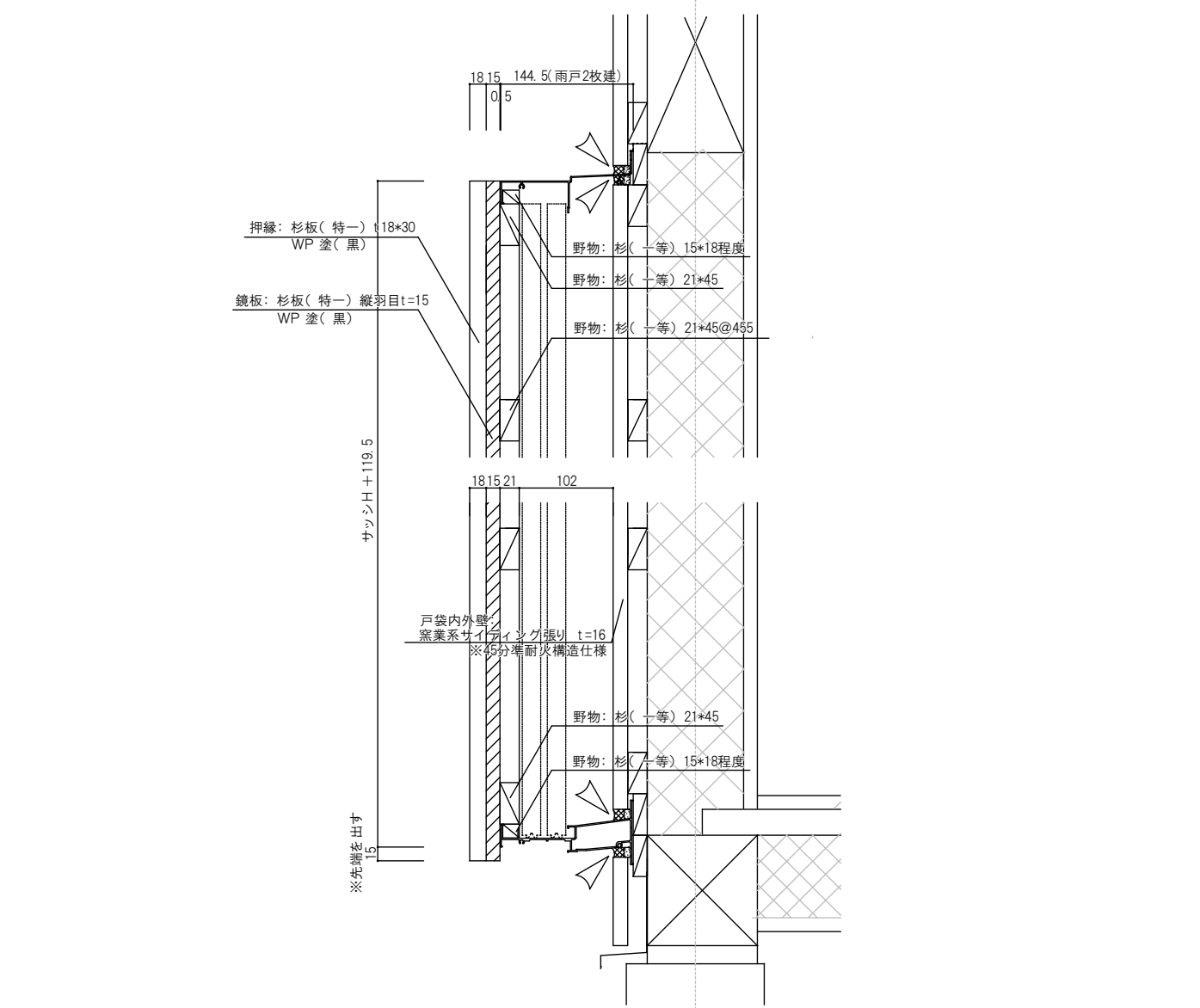
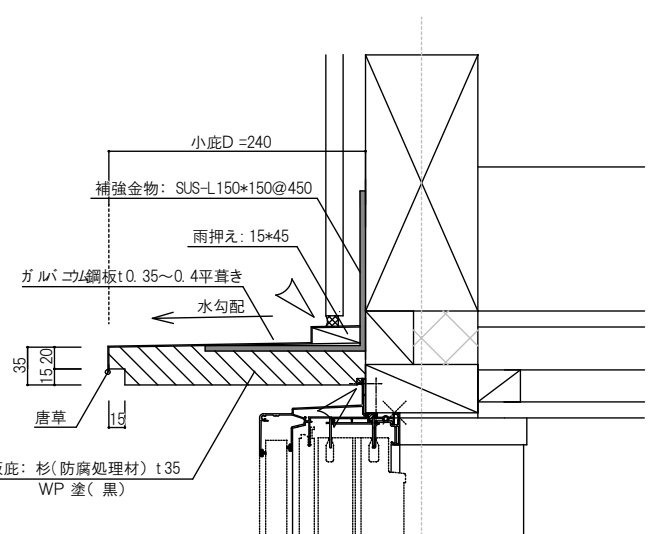
CHECKED BY

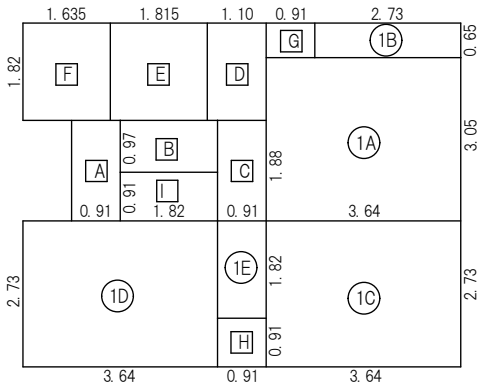
DRAWN BY

A - 30

SHEET NO.



アルミサッシ 雨戸戸袋詳細図		S=1/5	外壁出隅詳細図		S=1/5	縦目地詳細図		S=1/5			
											
アルミサッシ 雨戸戸袋断面詳細図			S=1/5	小庇断面詳細図			S=1/5	 イメージ図			
											
2階建てタイプ				部分詳細図		SCALE A2 1:5 A3 1:7	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所		DATE	DATE	A-32 SHEET NO.
				SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY		



1 階			
室 名	居 室	記 号	計 算 式
台所	○	①A ①B 計	3.05×3.64=11.102 0.65×2.73=1.7745 =12.8765…①
居間	○	①C	2.73×3.64=9.9372…②
和室 (特定寝室)	○	①D ①E 計	2.73×3.64=9.9372 1.82×0.91=1.6562 =11.5934…③
玄関・廊下		A B C 計	1.88×0.91=1.7108 0.97×1.82=1.7654 1.88×0.91=1.7108 =5.187
トイレ		D	1.82×1.10=2.002
洗面・脱衣室		E	1.82×1.815=3.3033
浴室		F	1.82×1.635=2.9757
物入1		G	0.65×0.91=0.5915
物入2		H	0.91×0.91=0.8281
押入		I	0.91×1.82=1.6562
延床面積			50.9509㎡ 50.95 ㎡
居室床面積 ①+②+③			34.4071㎡ 34.40 ㎡

1階

室名	床面積		必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	判定
台所・居間	22.81㎡	採光	22.81×1/7=3.25	(2.03×0.64)+(0.77×0.64) +(2.03×1.69)×2 =8.65	OK
		換気	22.81×1/20=1.14	(2.03×0.64)×1/1 +(0.77×0.64)×1/1 {(2.03×1.69)×2}×1/2 =5.22	OK
和室	11.59㎡	採光	11.59×1/7=1.65	(2.03×1.69)+(1.10×1.69) =5.28	OK
		換気	11.59×1/20=0.57	(2.03×1.69)×1/2 +(1.10×1.69)×1/2 =2.64	OK

採光計算一覧表

用途地域	α	β	D(m)
商業地域・用途無指定区域	10	1	

(仮称)浜松改良住宅R4-1

室名	床面積 (㎡) ①	割合 ②	建具					遮蔽物		垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅 (m)	採光補正係数 A=d/h×α-β				採光有効 面積 (㎡) ③×A	採光有効 面積 (㎡) 合計		必要面積 (㎡) ①×②	判定
			記号	W(m)	H(m)	開口面積 (㎡) ③	中心高 (m) ④ (GL+)	名称	高さ (m) ⑤ (GL+)				計算値	縁側	天窗	採用値 A					
台所・居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.686	—	5.299570	—	—	3.00	1.03	23.98	>	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	0.110	—	0.806845	—	—	0.80	2.37				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.686	—	5.299570	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	3.477	—	17.984482	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.565	1.967	5.434	—	24.863243	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW3	1.69	0.90	1.521	1.933	1階屋根	2.763	0.830	1.811	—	19.637349	—	—	3.00	4.56	14.85	>	1.65	OK

特 記 仕 様 書 (木 工 事) 軸 組 工 法

部 位

2階床梁

差
けた

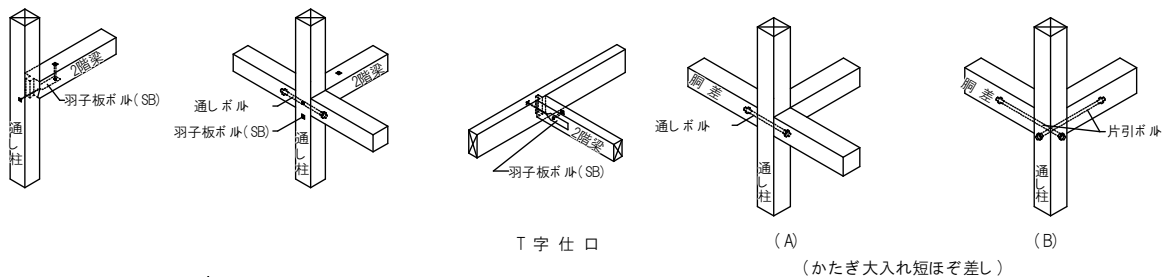
材種

☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ つが
☐ 対称異等級構成集成材 (E105F300.) 強度等級 ☒ ひのき ☐ すぎ

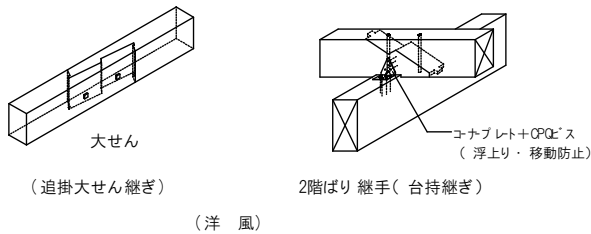
工 法

1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なものの特記する。
2. 継手は梁及び筋違いを受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。
3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。
4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。

仕 口



繼手



火打梁

材種

☐ ぺいまつ ☐ ぺいつが ☐ くろまつ ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ ひのき

☒ 火打金物

I

- 火打梁は次のいずれかによる。
1. 木材の火打梁とする場合は、次による。
 - イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。
 - ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト 閉めとする。
但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡り あご又はすべり あごとし、いずれも六角ボルト 締めとする。
 2. 鋼製火打とする場合は、特記による。
 3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。

筋かい
耐力壁

材 種

☒ ひのき ☐ すぎ 構造用合板9.0mm以上 ☐ 構造用パネル ☐ パーティクルボード 12mm以上 ☐ ハード ボード 5mm以上
☐ その他（石膏ボード）

筋かいによる耐力壁

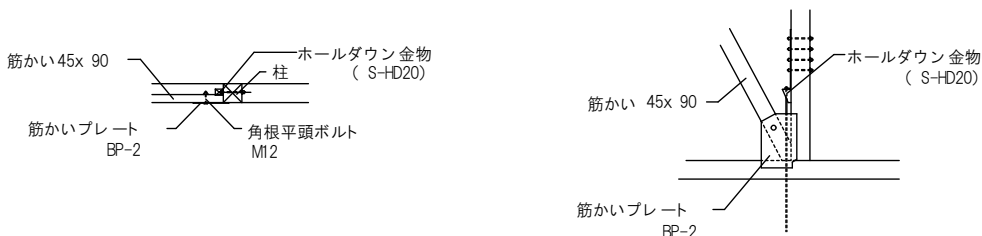
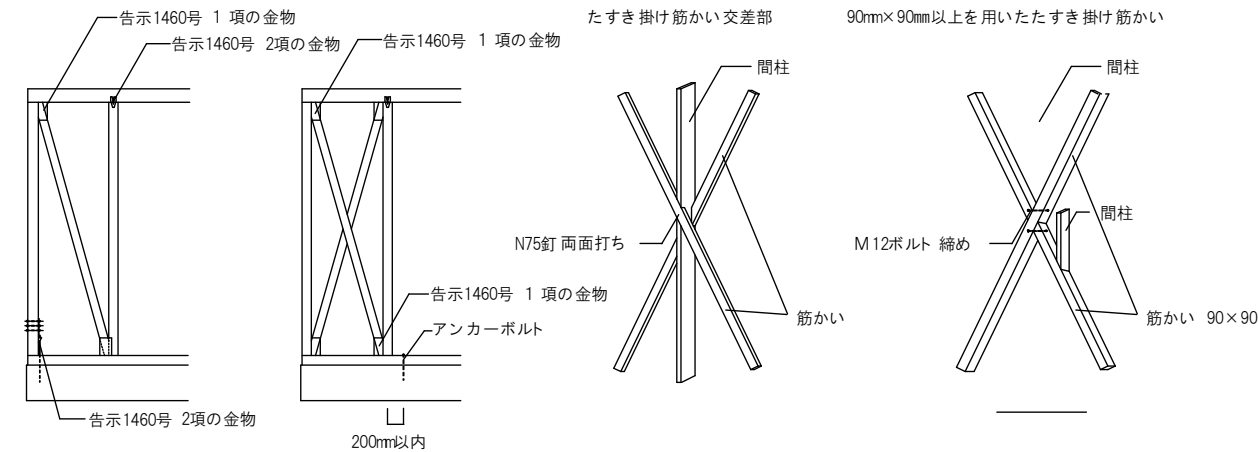
- 木造筋かい 1. 断面寸法は45mmx 90mm以上とする。
2. 見付け平扱いとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。
3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。

部 位

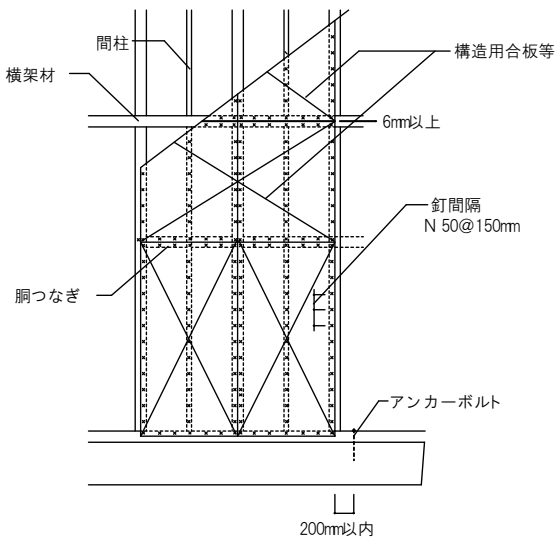
大壁造の面材耐力壁

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。
3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mm×100mm以上とする。
4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、 「1類」は室内に使用する。
5. 1階及び2階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、6mm以上のあきを設ける。

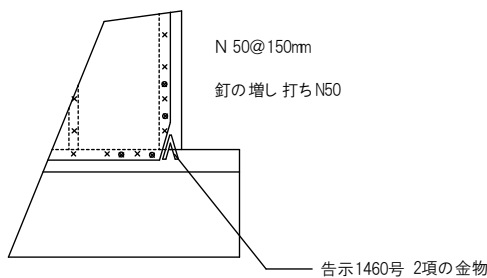
筋かいによる耐力壁



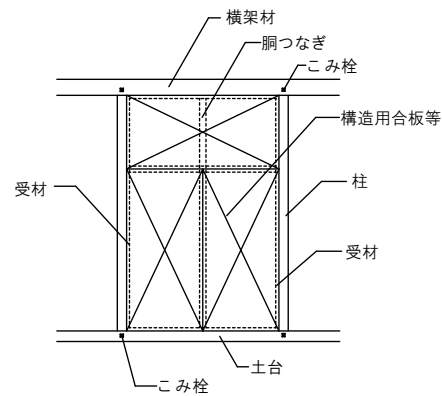
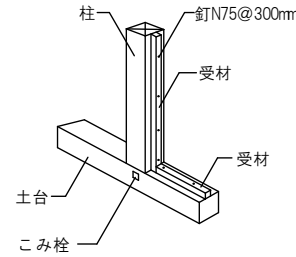
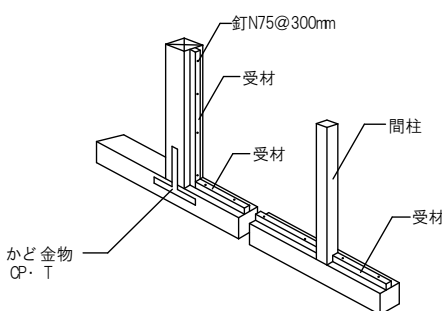
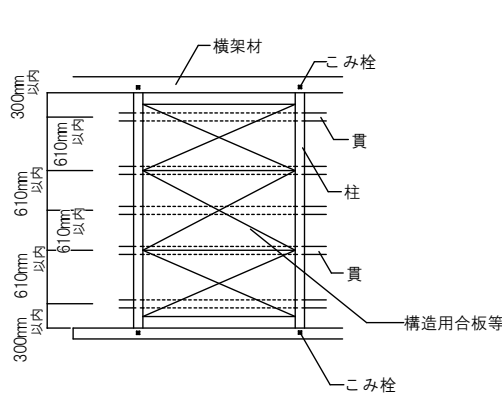
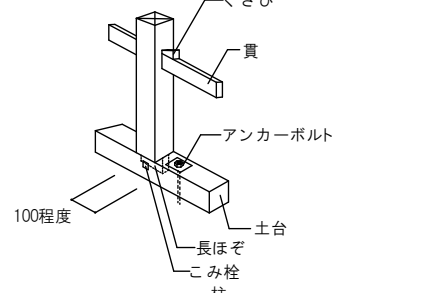
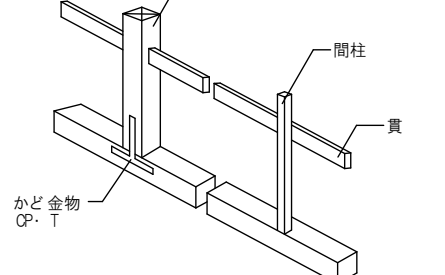
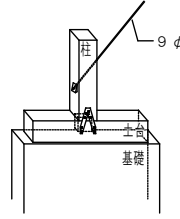
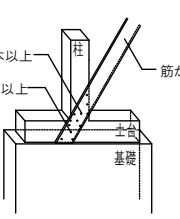
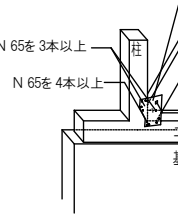
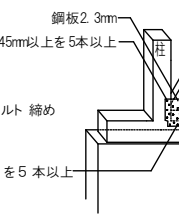
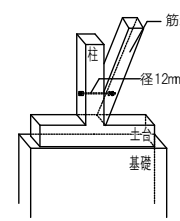
大壁造の面材耐力壁



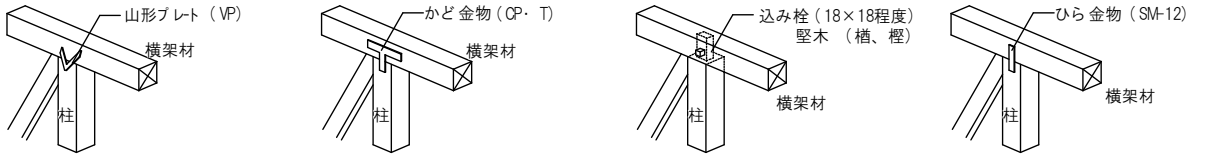
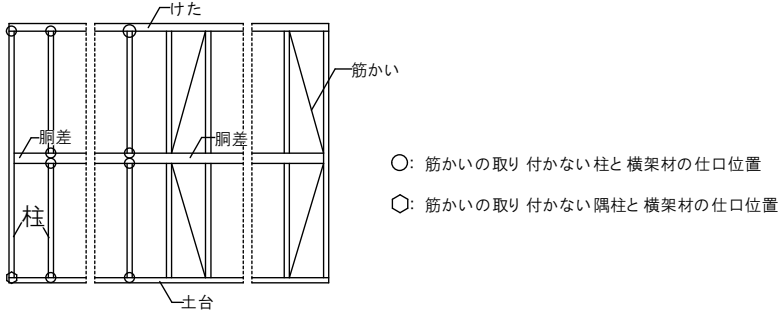
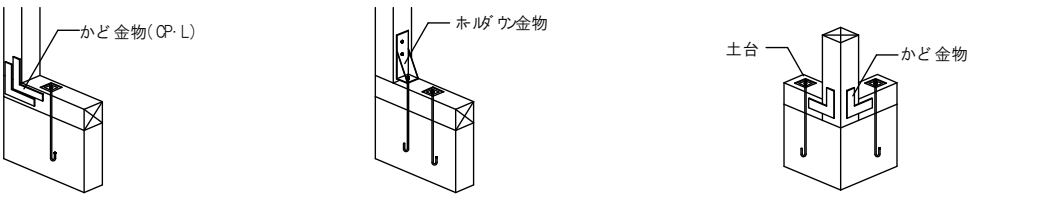
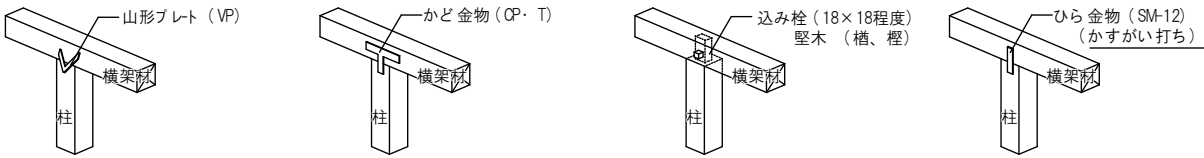
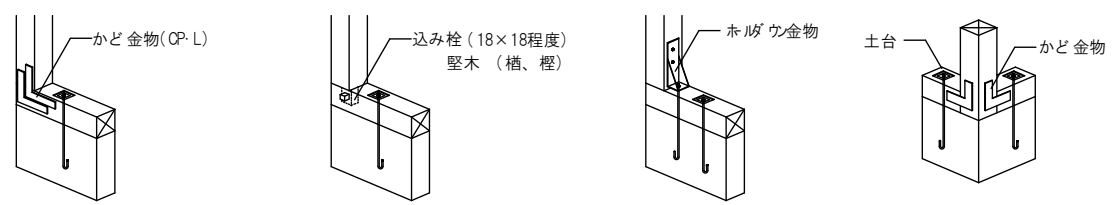
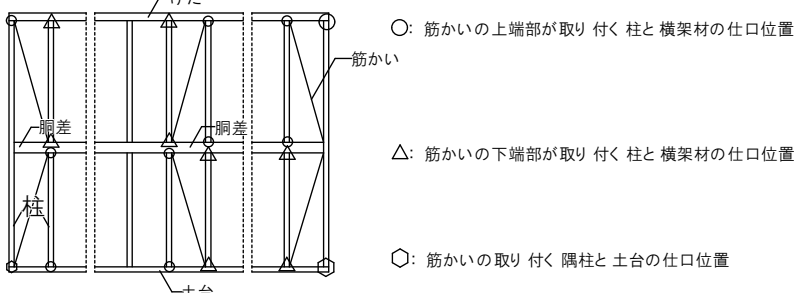
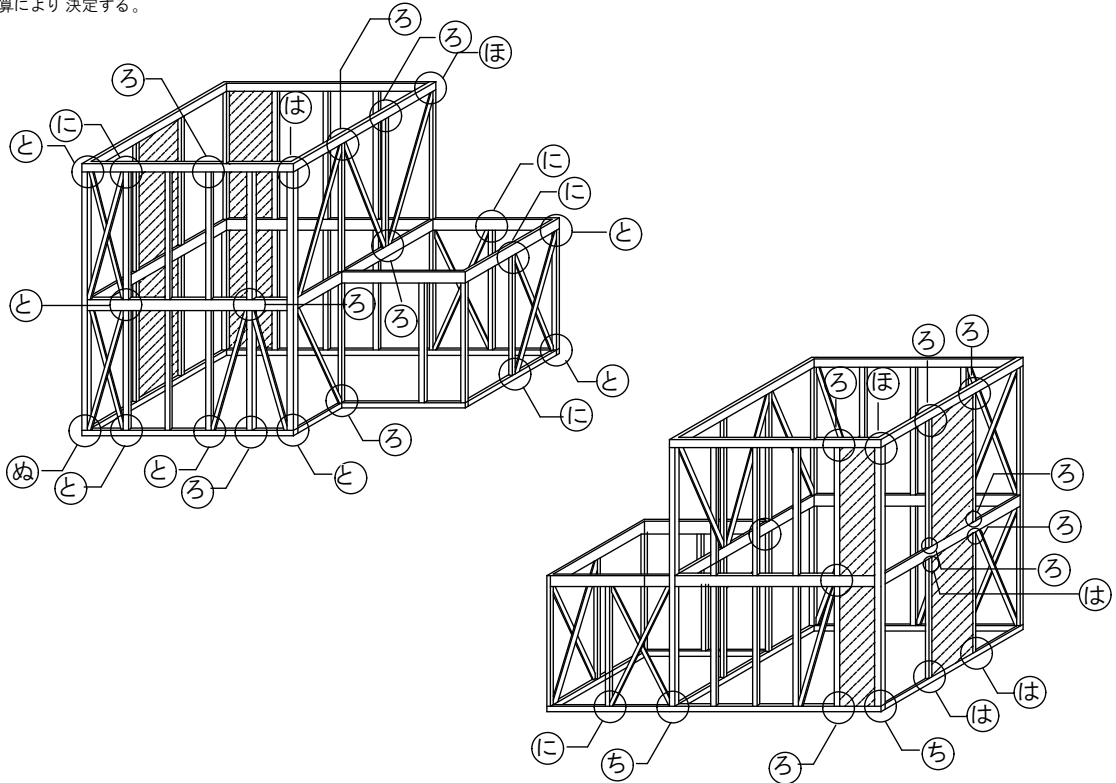
大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレート を柱と 横架材に直接釘打ちする場合は
下図のように近傍に釘の増し打ちをする。



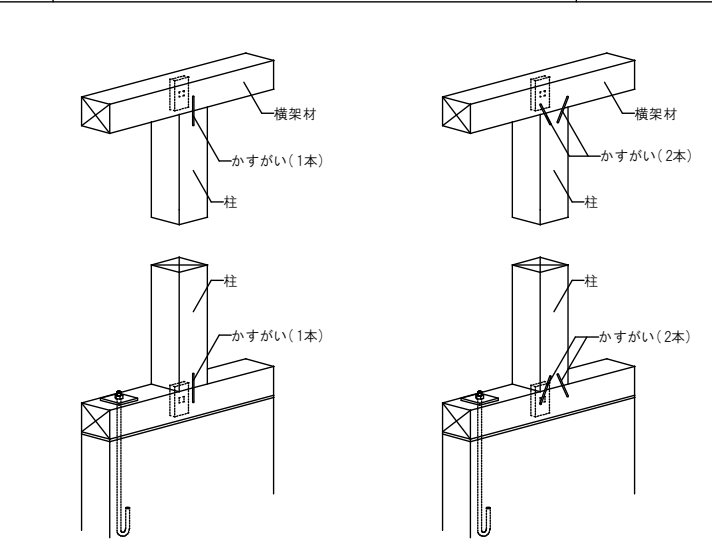
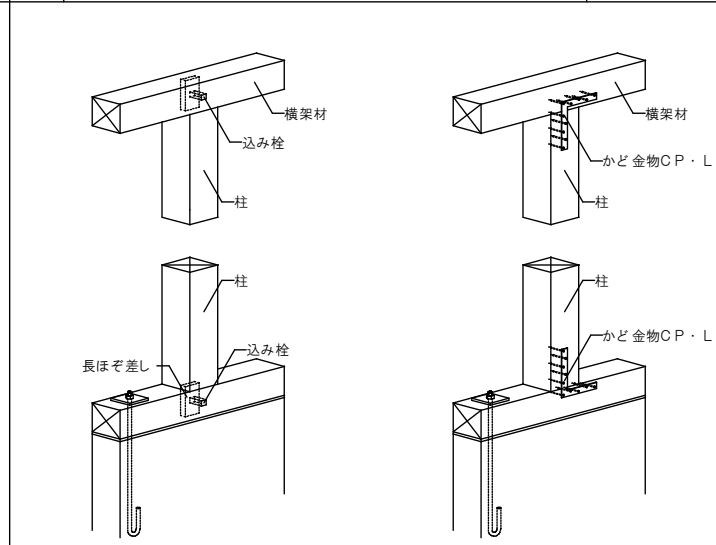
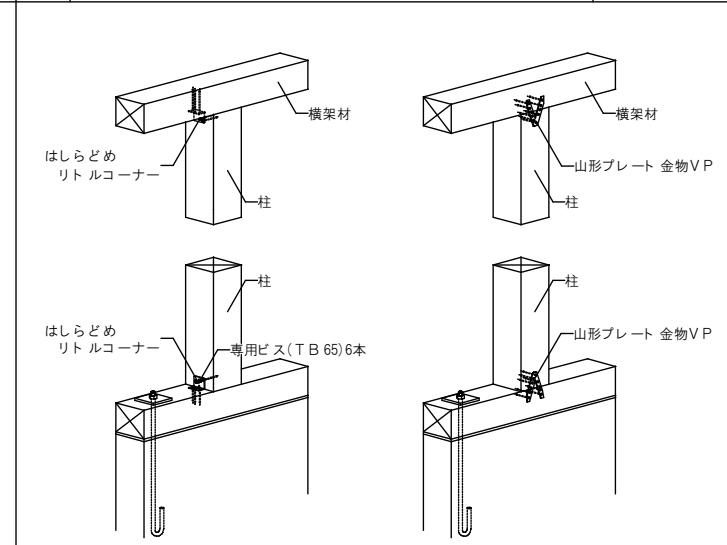
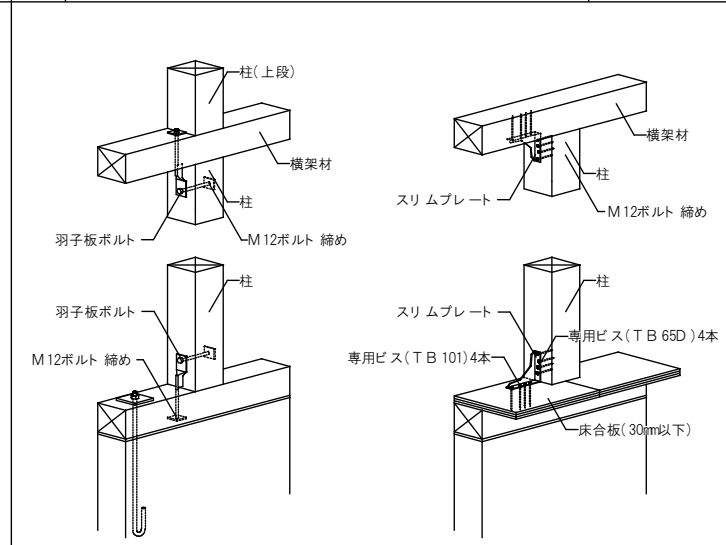
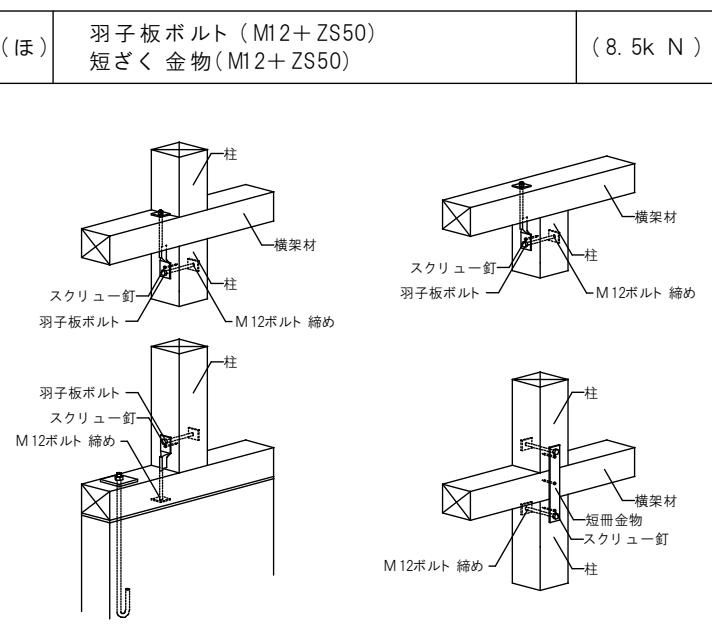
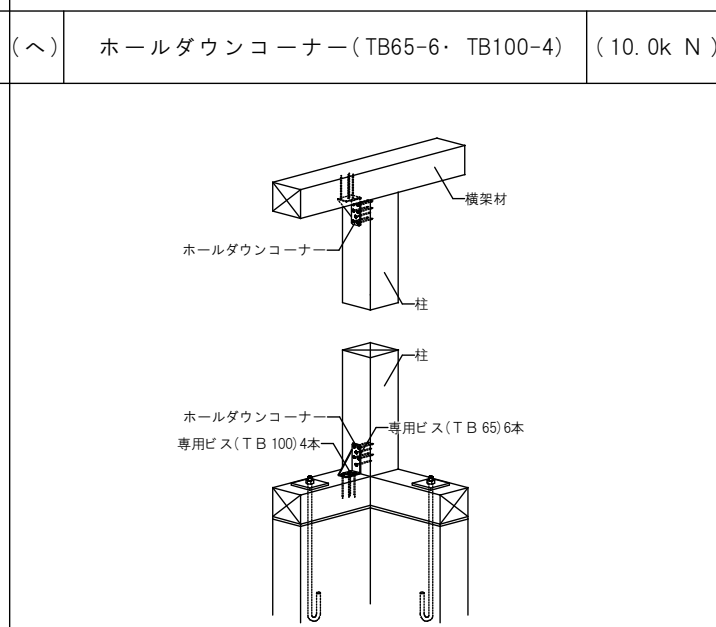
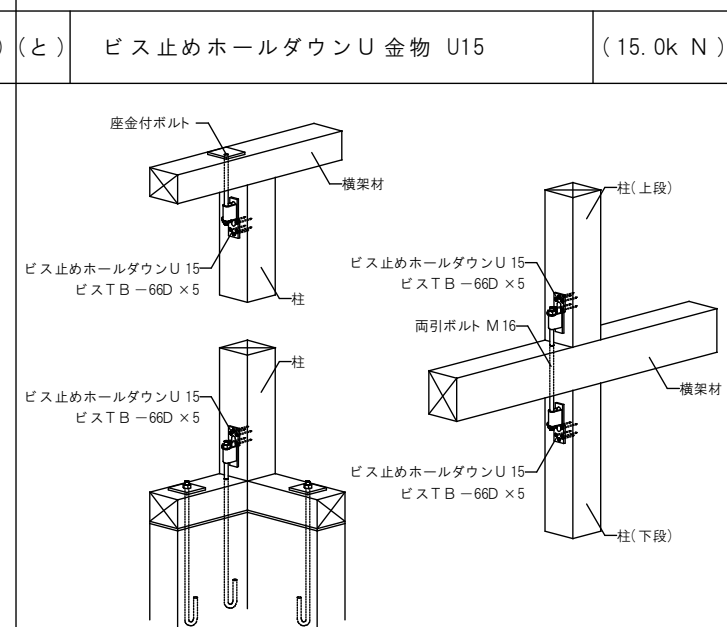
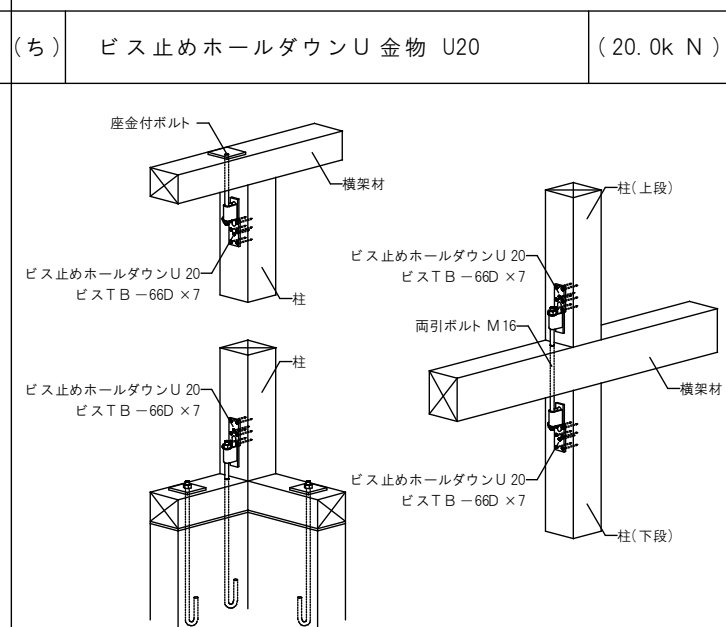
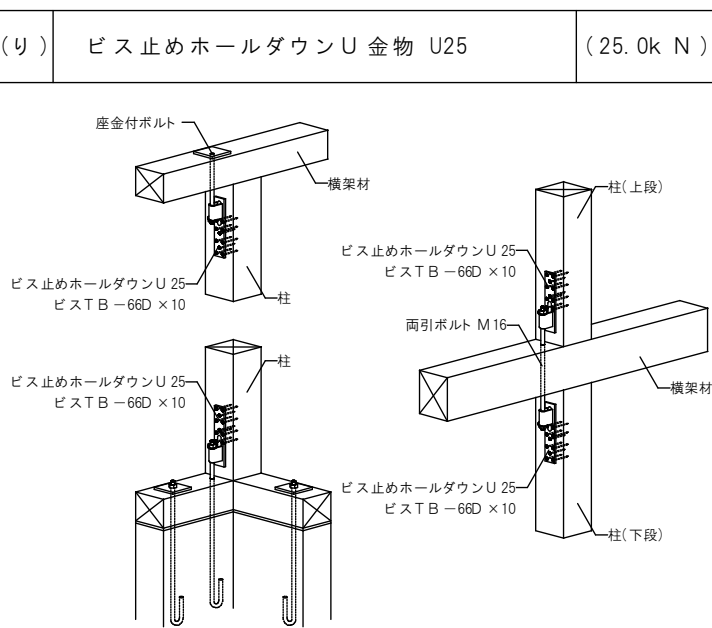
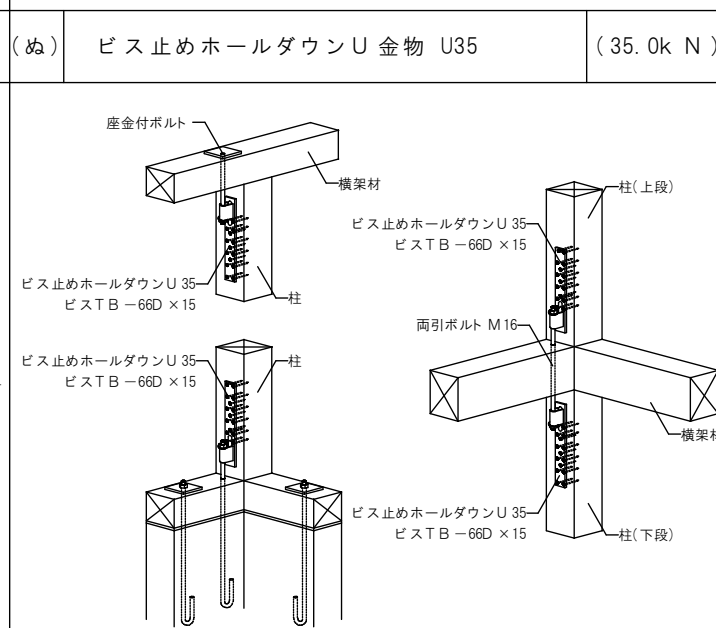
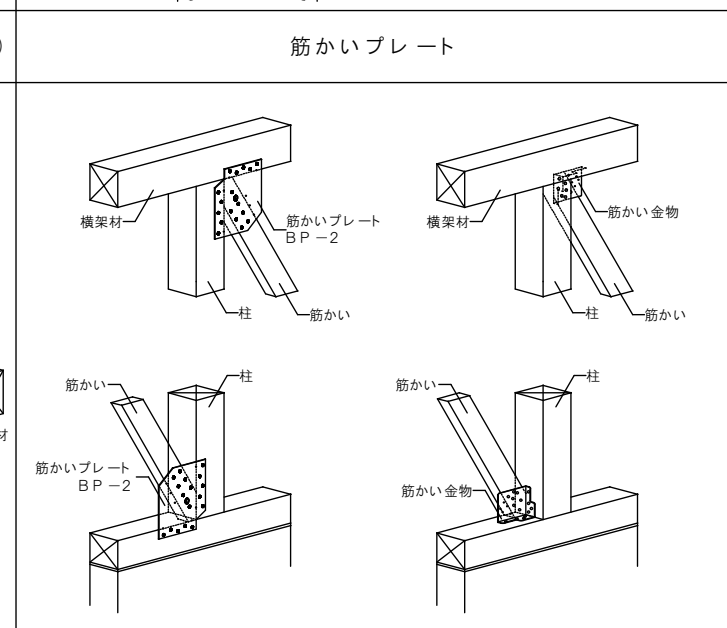
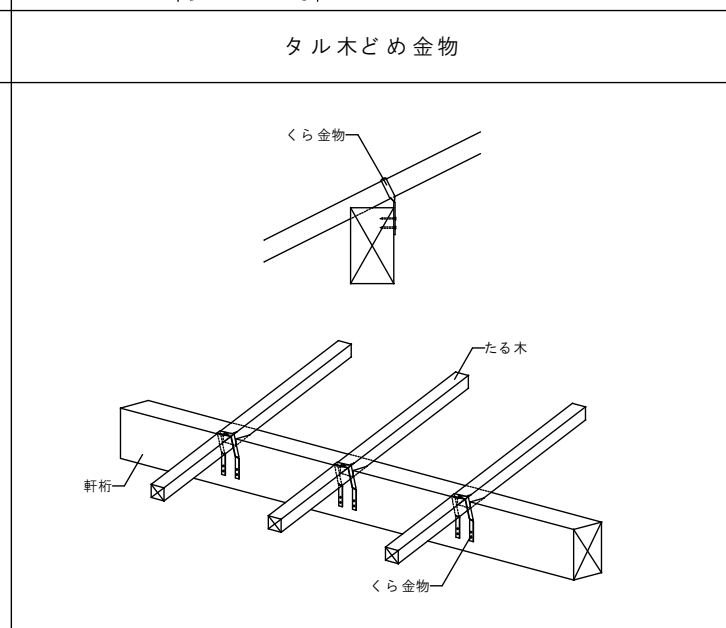
特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部 位		部 位	
耐力壁	真壁造の面材耐力壁 1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・間隔が異なるので、告示1897号に適合していることを確認する。 2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 3. 構造用面材のホルムアルデヒド`の発散量に関する品質については、特記による。 (受材タイプ) 1. 受材は30mmx 40mm以上とする。 2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30c m以下の間隔で平打ちとする。 3. 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。 4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mmx 65mm以上とする。 (貫タイプ) 1. 貫は15mmx 90mm以上とする。 2. 貫は5本以上設ける。 3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、 その他の貫の間隔は61cm以下とする。 4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。 5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。 6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。 7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。 8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。	(受材タイプ)    (貫タイプ)    ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦  ⑧ 	
接合金物	筋かい端部の接合 (告示 1460 号1 項) イ . 径9 mmの鉄筋 柱又は、横架材(柱や土台) 貫通し、三角座金を介してナット 締め、 鋼板添え板を用い 柱又は横架材にJ I S 規定鉄丸釘CN 9 0 を8 本以上打ち付けたもの。 ロ . 1 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい 柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にJ I S 規定鉄丸釘N 6 5 を5 本以上 平打ちしたもの。 ハ . 3 cm×9 cmの木材の筋かい 厚さ1 . 6 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 釘3 本平打ち、柱に対して釘3 本平打ち、横架材に対して釘4 本平打ちしたもの。 ニ 4 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい 厚さ2 . 3 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 長さ5 0 mm以上のスクリュー釘7 本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ5 0 mm径4 5 mm以上の スクリュー釘5 本平打ちしたもの。 ホ . 9 cm×9 cmの木材の筋かい 柱又は横架材に、J I S 強度区分4 . 6 の径1 2 mmのボルト を用いて一面せん断接合とすること。		

			木造特記仕様書-4	SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	B - 04
			SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区			株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.	
						SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史				

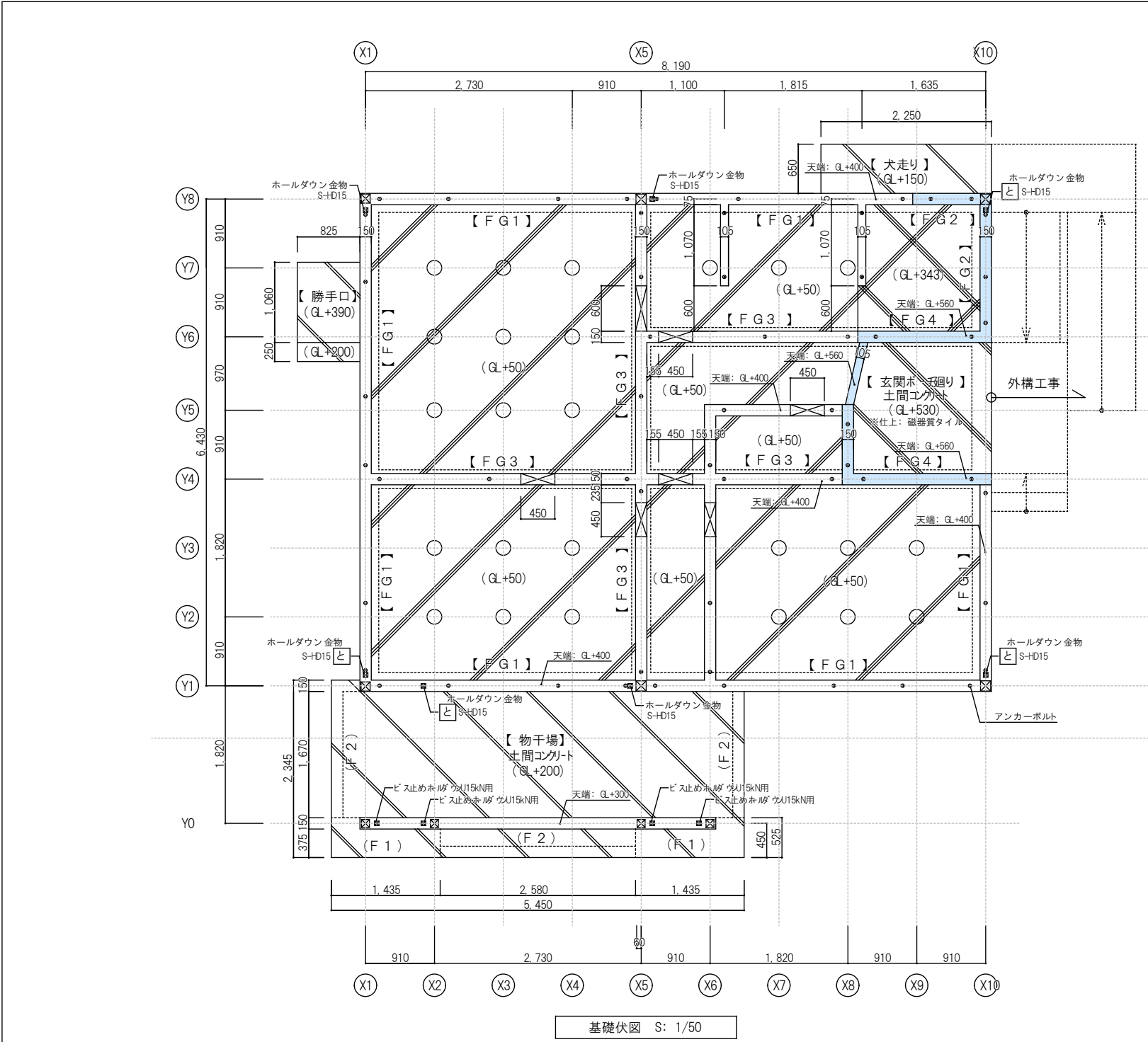
特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法					
部 位		部 位			
接合金物	接合金物使用条件		柱の両端部と 横架材の仕口の施工例（筋かいの取り 付く 柱）		
	接合金物の取付・施工は、平成1 2 年建設省告示代1 4 6 0 号を順守し 施工する。				
	接合金物は、Z マーク表示金物、又はZ マーク表示金物同等認定品とする。		イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差しかど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し 込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差しひら金物 当て釘打ち		
	筋かい接合金物は、建設省告示1 4 6 0 号対応金物の内より 筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し 最良のものを使用する。		イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差しかど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し 込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差しひら金物 当て釘打ち		
柱と 横架材	仕口の分類（筋かいが取り 付かない柱の場合）		隅柱と 土台の仕口の施工例（筋かいの取り 付く 柱）		
					
	柱の端部と 横架材の仕口の施工例（筋かいの取り 付く 柱は除く）		柱頭・ 柱脚の仕口の接合（告示 1 4 6 0 号2 項）		
			■ 構造計算により 決定する。		
隅柱と 土台の仕口の施工例（筋かいの取り 付く 柱は除く）					
仕口の分類（筋かいが取り 付く 柱の場合）					
1 階管柱と2 階の柱の緊結					
外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力が大きい2 階の柱は、1 階の管柱と 接合金物（ホールド ダウン 金物）で緊結する。					

木造特記仕様書-5		SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	B - 05	
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区				株式会社 上田建築事務所		CHECKED BY	DRAWN BY		SHEET NO.
				SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史					

(い)	短ほぞ差し かすがい打ち	(0.0k N)	(ろ)	長ほぞ差し 込み栓打ち かど金物C P・L (ZN65-5)	(3.4k N)	(は)	はしらどめリトルコーナー(TB65-6) 山形プレート 金物V P (ZN90-8)	(5.1k N)	(に)	羽子板ボルト(M12) スリムプレート(TB65D-4・TB100-4)	(7.5k N)
											
(ほ)	羽子板ボルト(M12+ZS50) 短ざく金物(M12+ZS50)	(8.5k N)	(へ)	ホールダウンコーナー(TB65-6・TB100-4)	(10.0k N)	(と)	ビス止めホールダウンU 金物 U15	(15.0k N)	(ち)	ビス止めホールダウンU 金物 U20	(20.0k N)
											
(り)	ビス止めホールダウンU 金物 U25	(25.0k N)	(ぬ)	ビス止めホールダウンU 金物 U35	(35.0k N)	筋かいプレート			タル木どめ金物		
											
※Zマーク表示金物以外にも、Zマーク表示金物と同等以上の必要耐力(k N)の同等認定金物を使用することができる。 ※接合金物の選択は引張耐力計算(N値計算)による。						木造特記仕様書-6		SCALE	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区						株式会社 上田建築事務所		CHECKED BY		DATE	B-06 SHEET NO.
						SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		DRAWN BY			

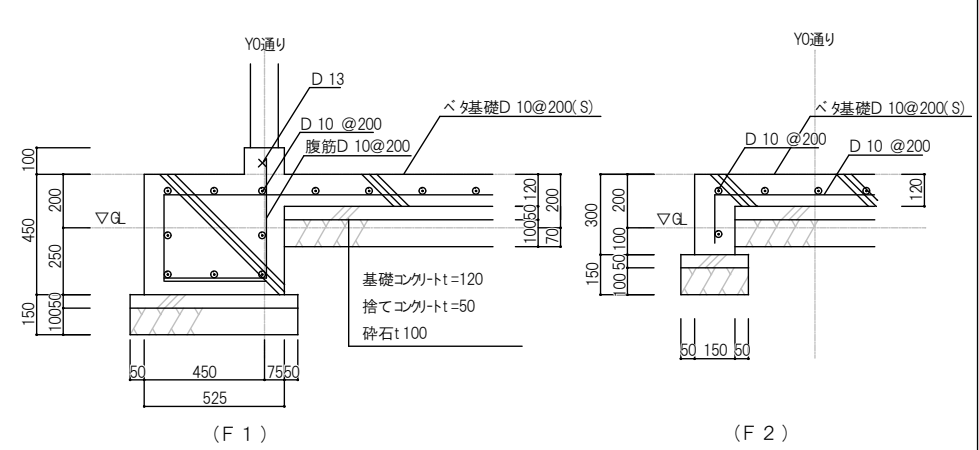
特記仕様書（木工事）軸組工法									
部 位		接 合 金 物			部 位		接 合 金 物		
金 物		種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方	金 物		種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方
		火打金物 HB	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金V2. 3×30 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金VA. 5×40	◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強 			ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 ST-9, ST-12 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】
		ひら金物 SM-12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 かすがいと同様の用途 			折曲げ金物 SF (右ひねり及び左ひねり)	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】
		ひら金物 SM-40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 管柱の連結等 			くら金物 SS	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】
		筋かいプレート BP	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルト M12 小型角座金V2. 3×30 六角ナット M12 太めくぎZN65	◎用途 筋かいを柱と横架材に 同時に接合角根平頭ボルト M12 			かど金物 CP・L CP・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN65	【用途】引張りをうける柱と土台・横架材の接合 【使い方】
		羽子板ボルト SB・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルト M12 L=280・310・340 六角ナット M12 370・400・430 角座金VA. 5×40 スクリークぎ ZS50	◎用途 小屋ばりと軒桁 軒桁と柱、胴差と通し柱の連結 					
		かね折り金物 SA	【寸法・形状】 ◎使用接合具 L=210・240・270 六角ボルト M12 300・345 六角ナット M12 角座金VA. 5×40 スクリークぎ ZS50	◎用途 通し柱と胴差の取合 					

特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法						
部 位						
小屋梁	材 種	はり（丸太） ☐ べいまつ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ その他（ ☐ ） はり（その他） ☐ 構造用集成材 ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☒ その他（すぎ ☐ ）				
	工 法	1， 末口150mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を 植え込み、 2， 六角ボルト（M12）2本締めとする。受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 3， 末口150mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト（M12）2本締めとする。 4， 受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 5， 軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと 蟻掛け又は渡りあごとし、羽子板ボルト 締めとする。				
小屋束	材 種	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ひのき ☐ ）				
	工 法	上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。				
棟木・母屋	材 種	☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☒ すぎ ☐ その他（ひのき ☐ ）				
	工 法	垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し 腰掛け鎌継ぎとする。				
桁行すじかい ・ 振れ止め	材 種	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ☐ ）				
	工 法	束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は貫程度とする。				
登り 梁	材 種	☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☒ すぎ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ その他（ ☐ ）				
	工 法	1， 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、ボルト 打ちとする。				
部 位						
小屋組	継手及び仕口の参考例	小屋ばりの継手 （ 台持継ぎ） （ かぶとあり） 小屋ばりと 軒げたとの仕口 （ 渡りあご）				
		（大入れあり 掛け） （ 注）羽子板ボルト については、施工性を 考えて、軒げたとはり、軒げたと柱 を一定間隔ごとに交互に緊結する。				
登り 梁	登り 梁とコ-スクリューボルト の施工例					
		【 登り 梁：105*180】コーチスクリューボルト M12*240mm留め 【 登り 梁：105*150】コーチスクリューボルト M12*210mm留めとする				
棟木・母屋						
		振れ止めの断面寸法は30×90程度とする。				

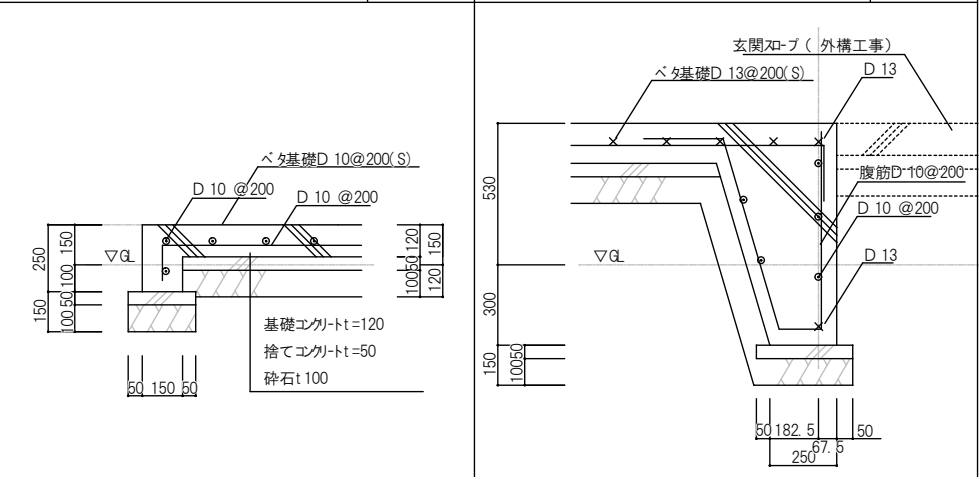


基礎伏図 凡例		特記事項	
	本体 ベタ基礎 厚さ 150 ベタスラ 配筋 D13@200 シングルス	1. 捨コンクリート	Fc=18N/mm ² SL=15cm以下
	付帯 ベタ基礎 厚さ 120 ベタスラ 配筋 D10@200 シングルス	2. 基礎コンクリート	Fc=21N/mm ² SL=18cm以下
	浴室部分 ベタ基礎 厚さ150の上 ベタ基礎嵩上げ 厚さ100 溶接金網 150*150*φ6	3. 土間コンクリート	Fc=21N/mm ² SL=15cm以下
	フーチング	4. 鉄筋	SD295A D10~D13
	鋼製床束 記載なき床束@900以内	5. アカボル	M12 L=450(垂軸材製品),スリットジョイント使用 図示なき場合 筋違下部,土台継手より120寄り, ボルト間@900以下
	高基礎範囲を示す FG2 参照		
	アンカーボルト M12 L=400	6. 基礎パッキン	キパッキン W=120 一部気密パッキン (玄関 浴室廻り)
	ホールダウン金物	7. 防湿	内部ベタ基礎全域 ポリエチレンフィルム t0.15 敷き込み
		8. 防蟻処理	土壌/木部床組薬剤処理 QL+1.0m迄

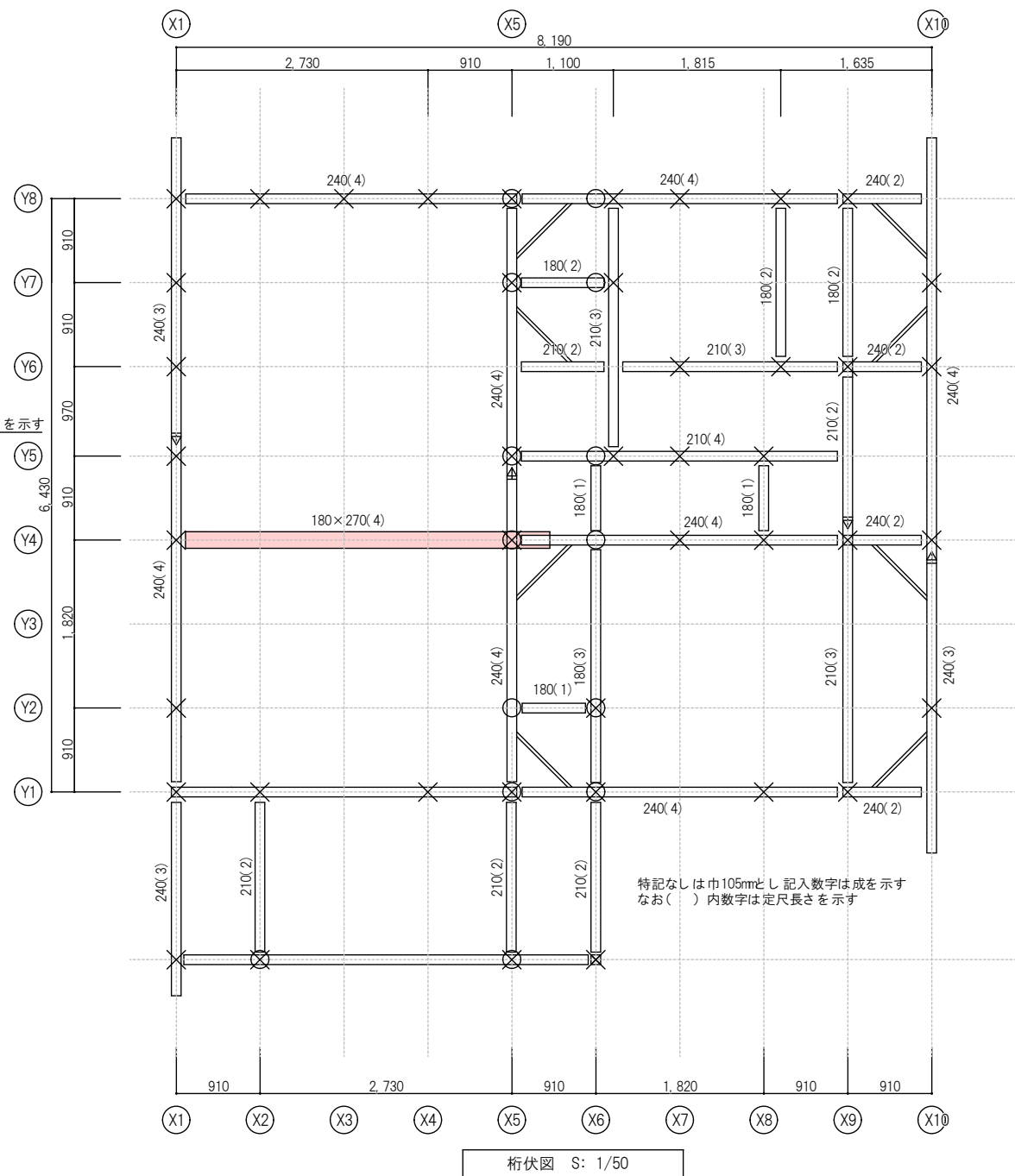
【物干場】断面詳細 S=1/20



【犬走り】【勝手口】 S=1/20 【玄関ポーチ廻り】断面詳細 S=1/20

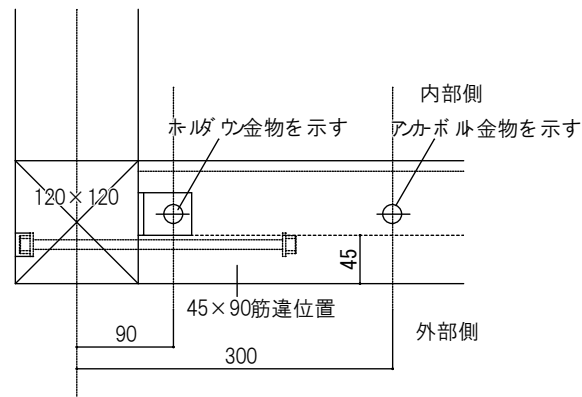


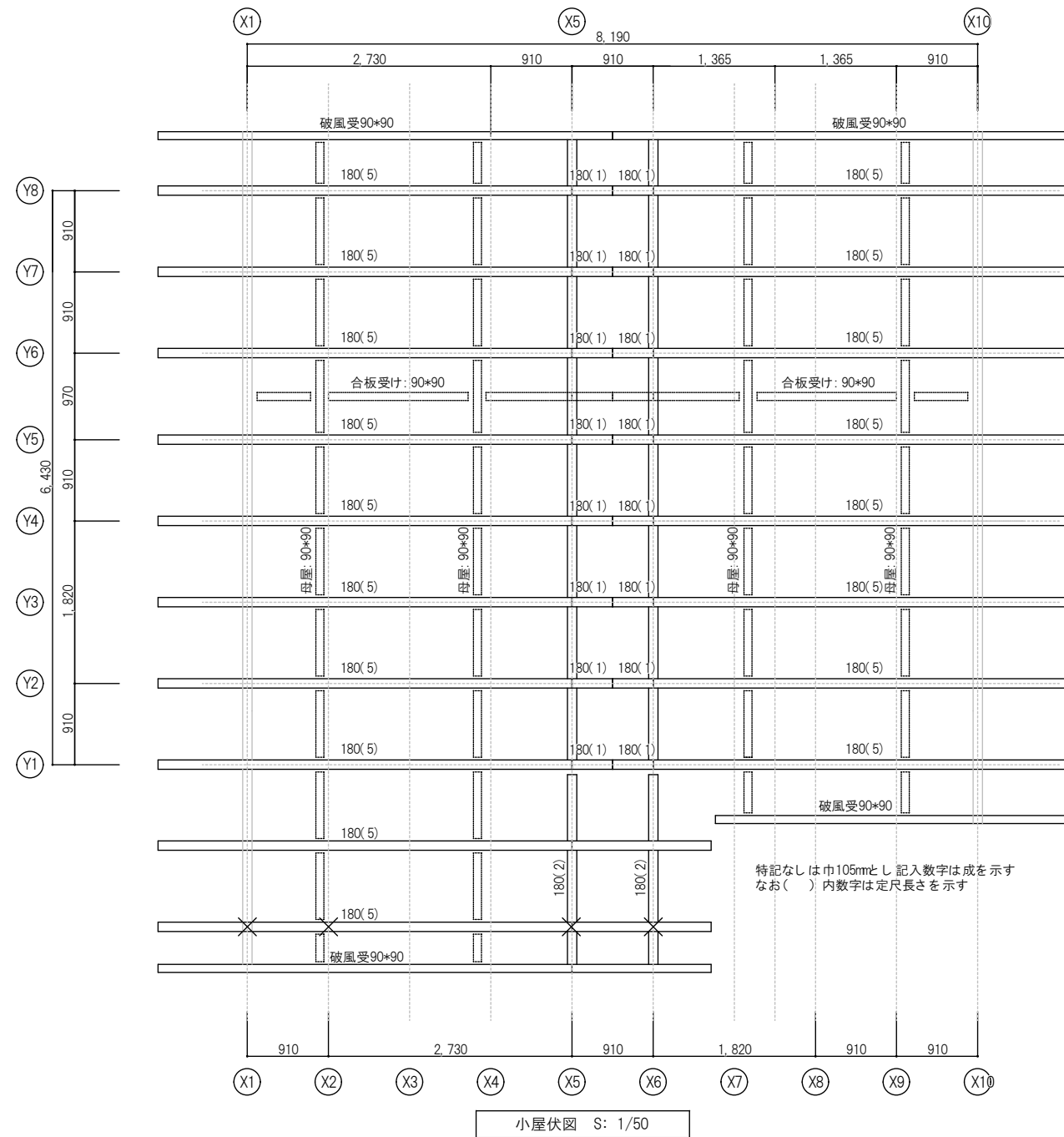
【FG1】	S=1/20	【FG2】	S=1/20	【FG3】	S=1/20	【FG4】	S=1/20	人通口 断面詳細	S=1/20



凡例

	柱	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*105 120*120
			
	半柱	桧 特一等 (黒潮町産材)	120*60 120*70
	通し 柱を示す		
	下階柱位置を示す		
	土台	桧 特一等 防腐防蟻K3 (黒潮町産材)	105*120 120*120(特記以外)
		桧 特一等 (黒潮町産材)	105*105
	筋交い(シングル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	筋交い(ダブル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	高基礎範囲を示す 土台天端: FL+120		
	梁・桁	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*180~240 105*105(特記以外)
		桧 特一等 (黒潮町産材)	180*270 (燃えしろ値: 45mm)
平成12年告建設省告示1358号(準耐火構造45分)			
	合板受け	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*105
	火打	火打金物(Zマクボ ルタイプ)	
「黒潮町産材」使用について			
構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料(産地証明等)を提示すること。 ただし、5m以上の長尺構造材(通し柱、登り梁)及び内部造作材は例外とする。			
柱脚・柱頭の仕口の仕様			
※  ~  は、建築基準法 告示第1460号による			
柱梁接合部は原則、短ぼぞ差し、かすがい打ちとする			





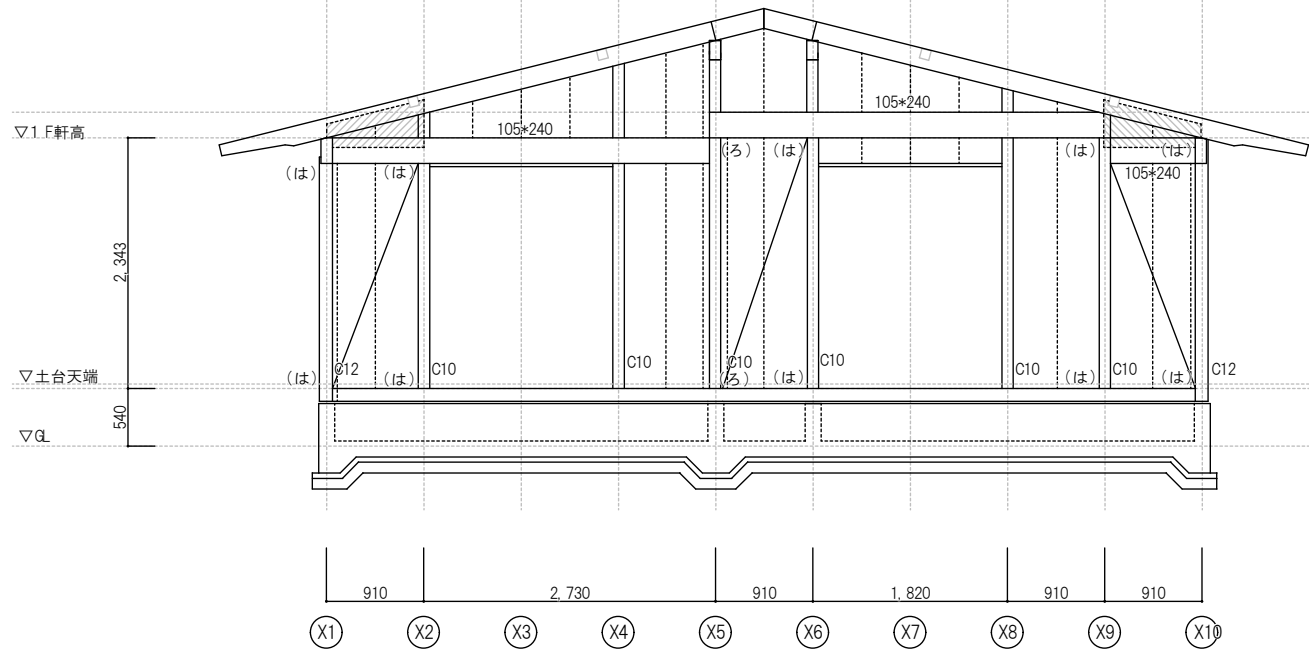
1階柱・梁伏図 凡例			
○	小屋束		
×	下階柱位置を示す		
	筋交い(シングル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	筋交い(ダブル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	梁・桁	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*180~240 105*105(特記以外)
	登り 梁	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*180
	母屋	杉 特一等 (黒潮町産材)	90*90
	合板受け	杉 特一等 (黒潮町産材)	90*90
	2 階小屋筋かい (ダブル)	杉 特一等 (黒潮町産材)	30*90 桁行小屋束通り
	2 階小屋梁	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*105 梁間小屋束通り
	火打	火打金物(Zマク)ボルトタイプ	
「黒潮町産材」使用について			
構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料(産地証明等)を提示すること。 ただし、5m以上の長尺構造材(通し柱、登り梁)及び内部造作材は例外とする。			
柱脚・柱頭の仕口の仕様			
※ ☐ い ~ ☐ ん は、建築基準法 告示第1460号による 柱梁接合部は原則、短ぼぞ差し、かすがい打ちとする			
登り梁の接合方法は、特記なき場合 【登り梁：105*180】コーチスクリューボルト M12*240mm留めとする			



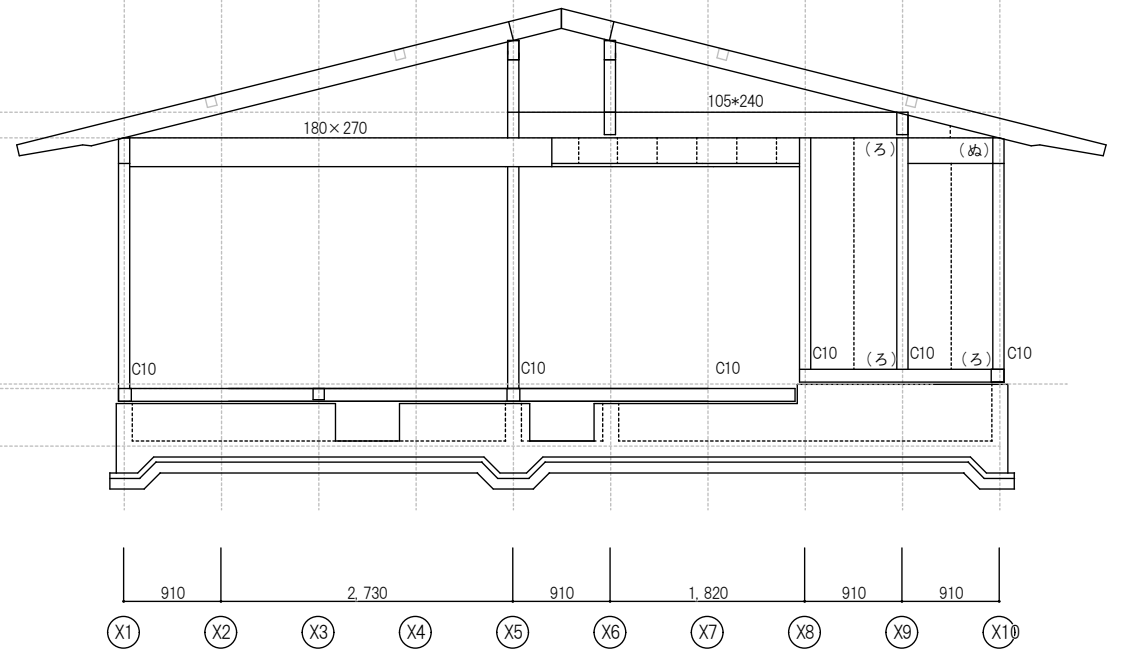
(い)～(ぬ)はX軸・Y軸それぞれの柱接合部判定表(N値計算表)に基づく

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)		軸組図-1		SCALE A2 1: 50 A3 1: 71		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	B - 12
注) 姿図は右玄関PLANにて作成		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株式会社 上田 建築 事務所		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	

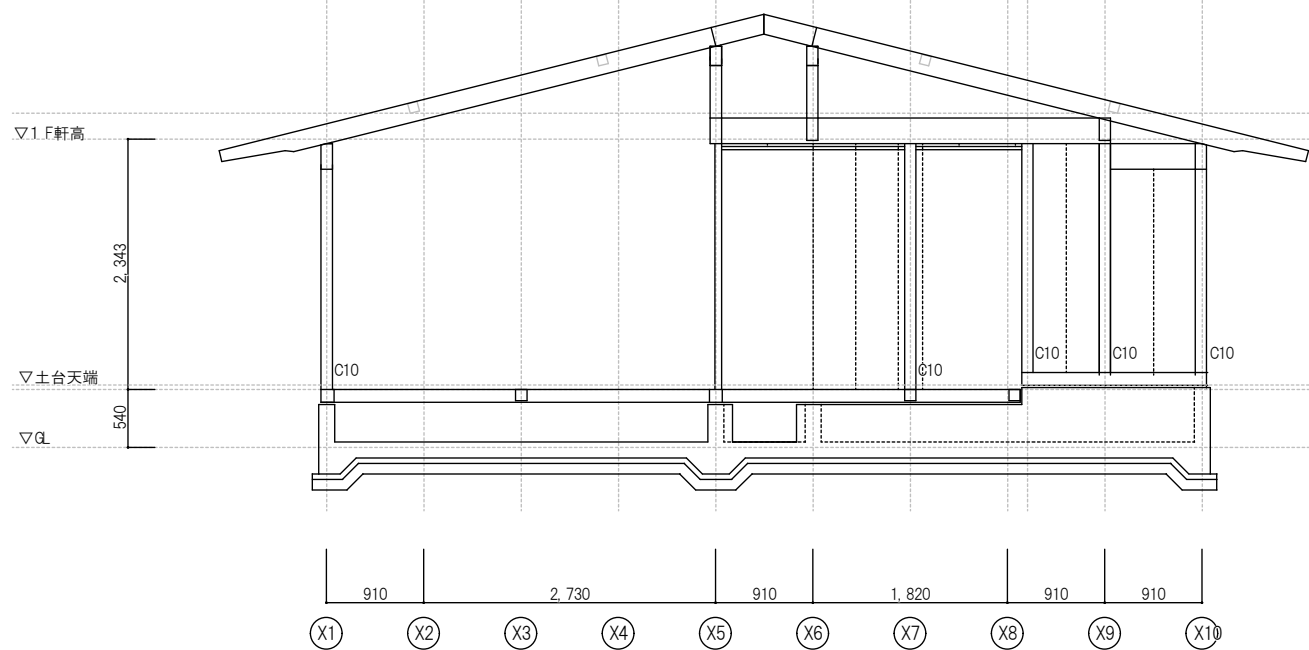
小屋裏補強材
構造用合板t9 N50釘@150



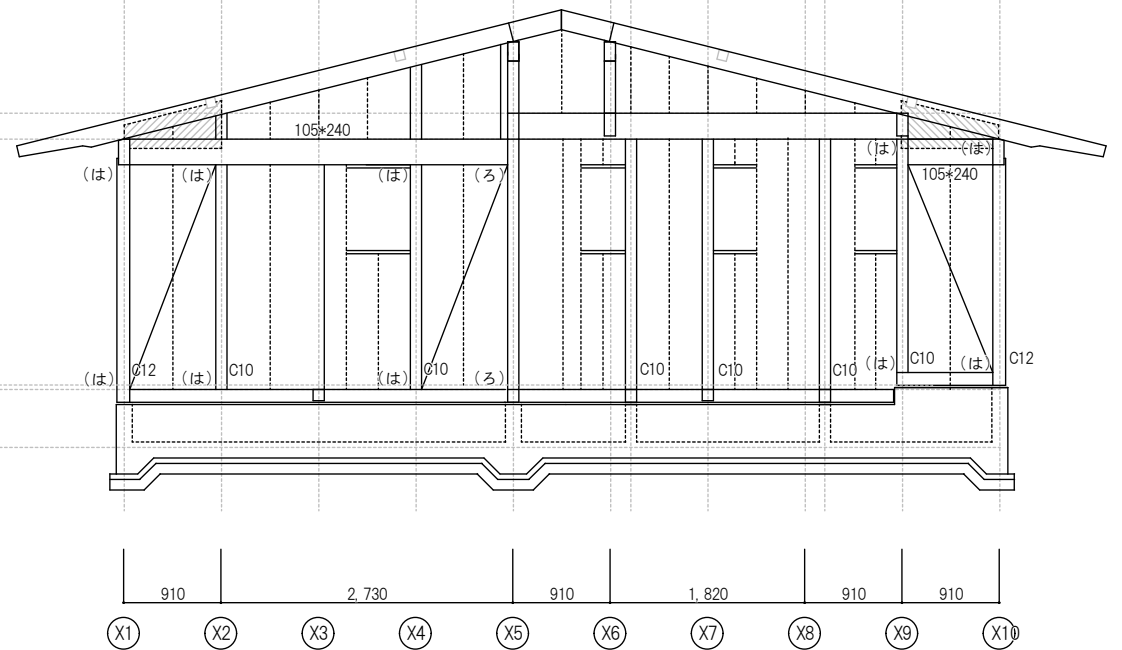
Y 1 通り 軸組図



Y 4 通り 軸組図



Y 6 通り 軸組図



Y 8 通り 軸組図

(い)～(ぬ)はX軸・Y軸それぞれの柱接合部判定表(N値計算表)に基づく

左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

注) 変図は右玄関PLANにて作成

軸組図-2

SCALE A2 1:50 A3 1:71

SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

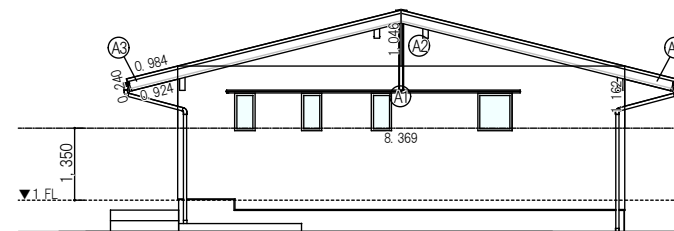
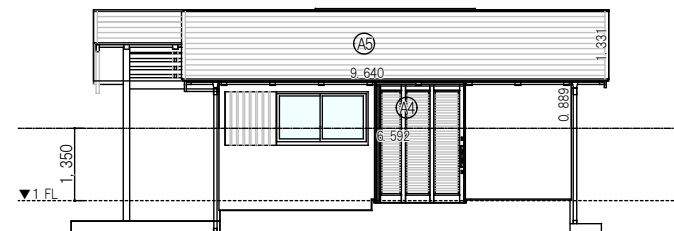
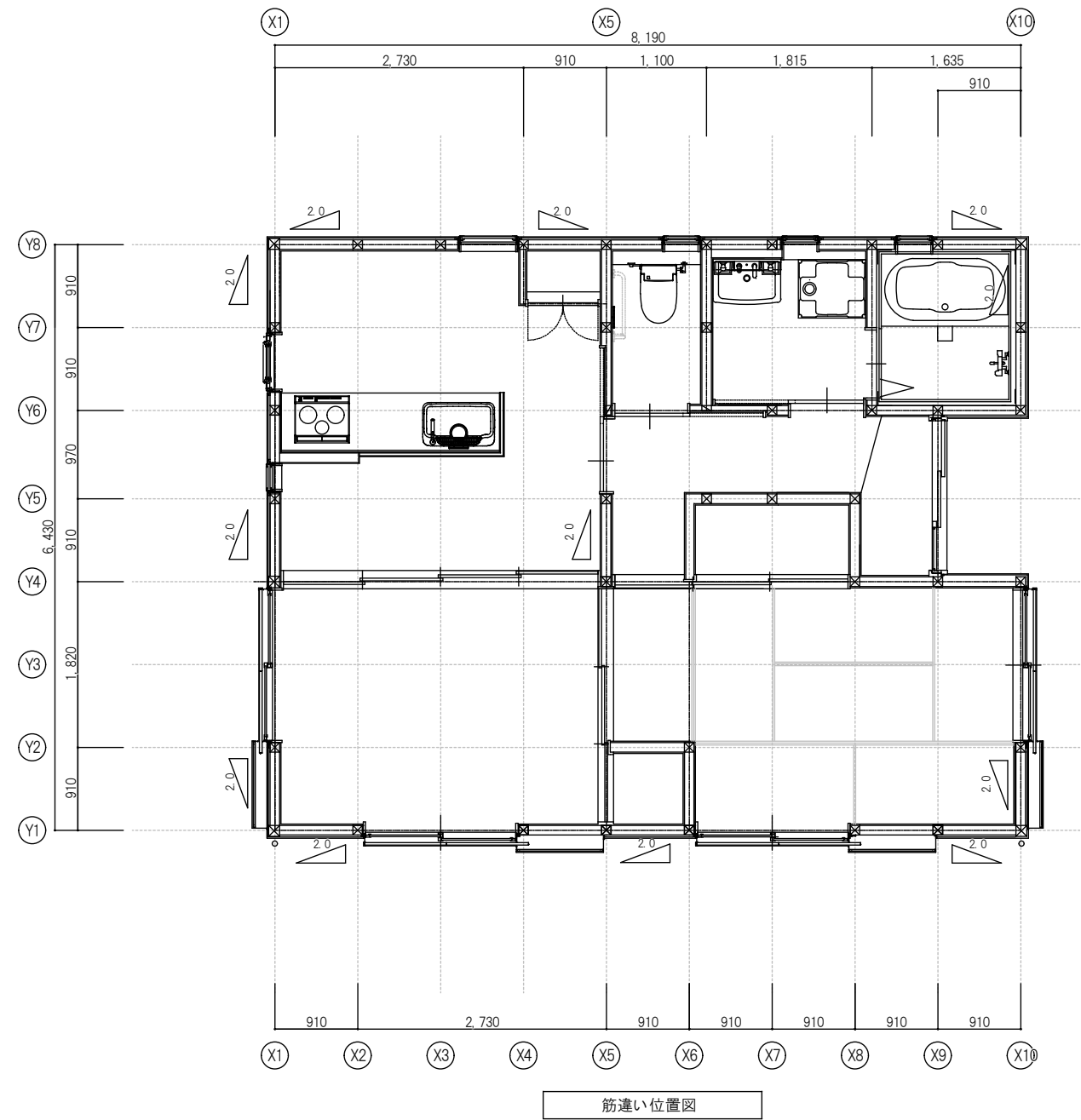
DATE

CHECKED BY

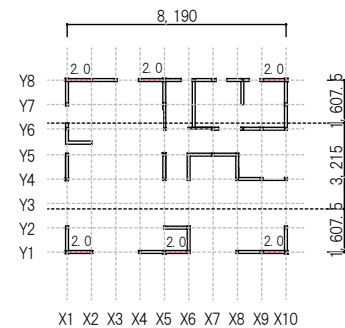
DRAWN BY

B - 13

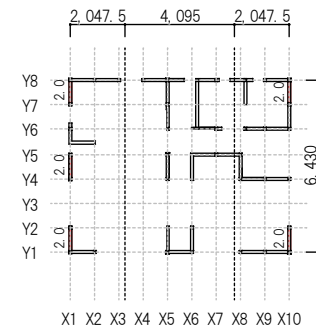
SHEET NO.



方向		階	面積			計	累計
Y	1	①	8.369	×	1.162	9.724778 4.376987 0.45792	14.56 14.56
		②	8.369	×	1.046 × 1/2		
		③	0.984+0.924	×	0.240 × 1/2 × 2		
方向		階	面積			計	累計
X	1	①	5.592	×	0.889	5.860288 12.83084	18.70 18.70
		②	9.640	×	1.331		

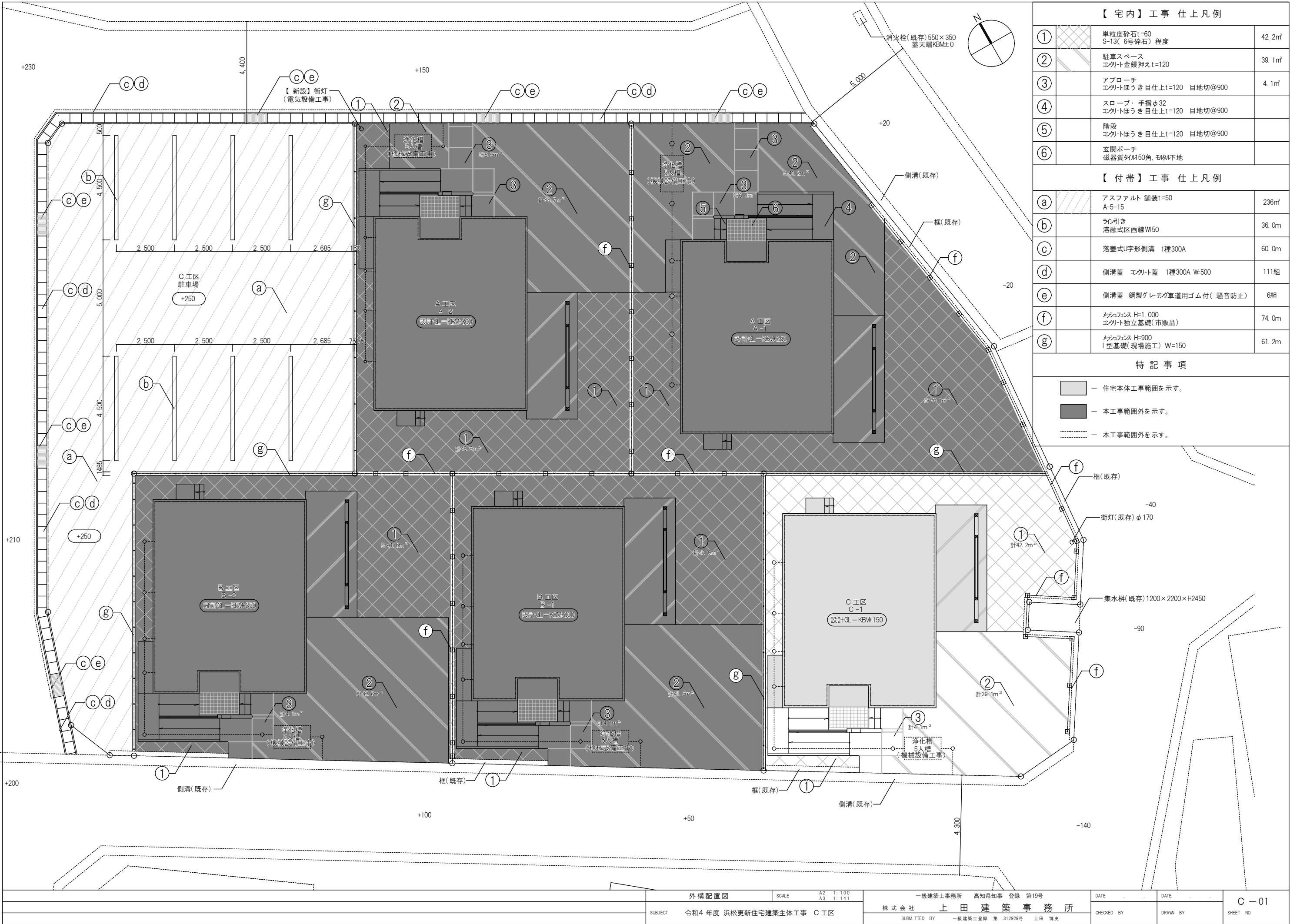


【 1階 X方 向 】

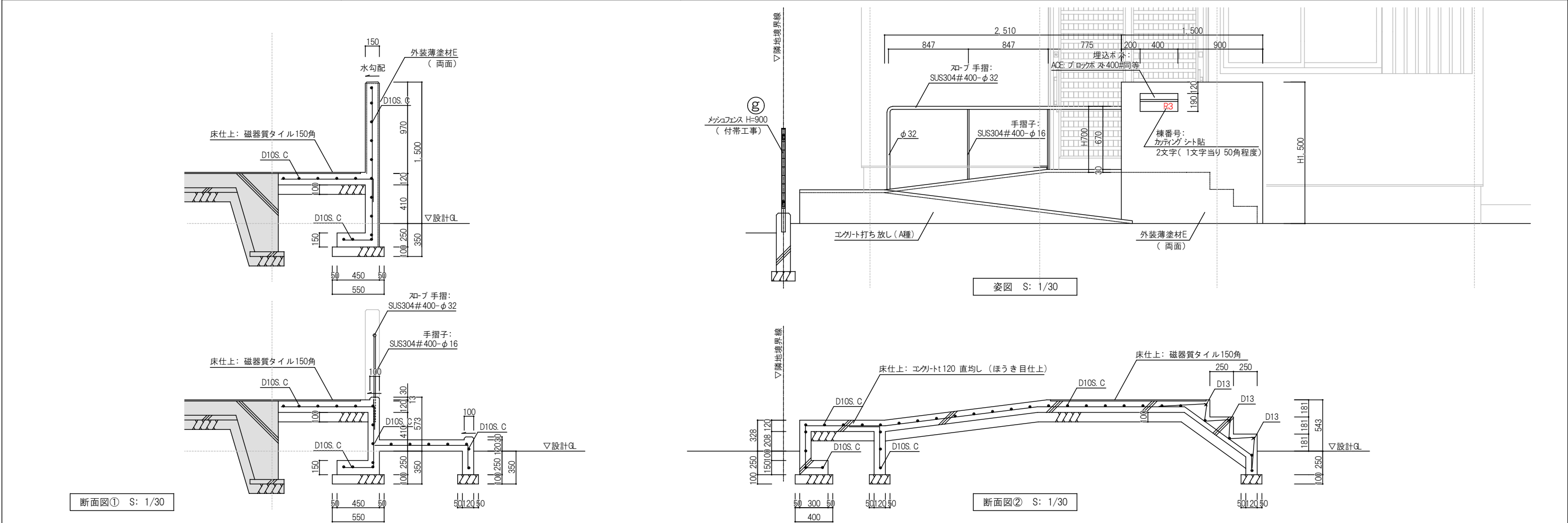
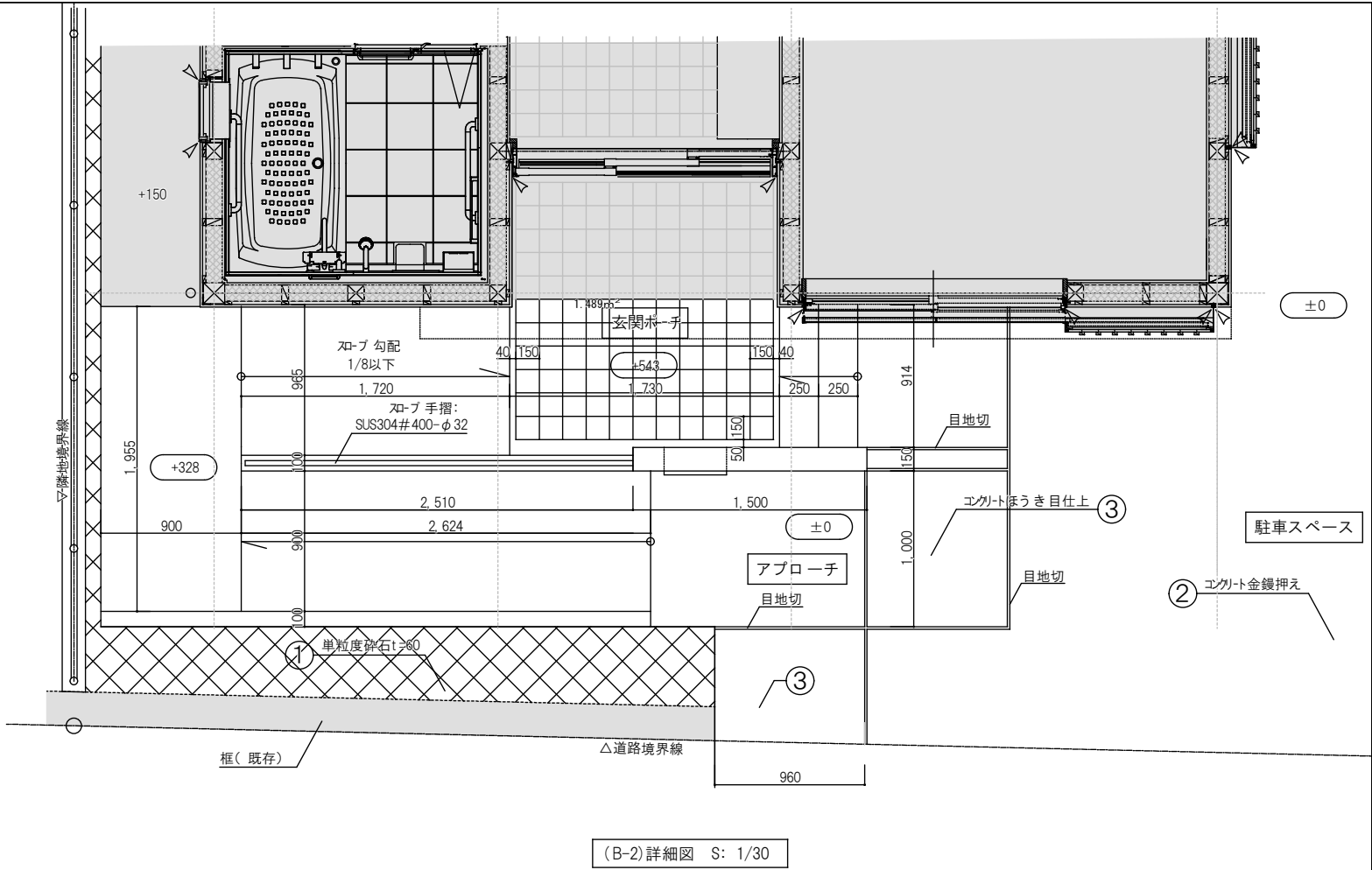
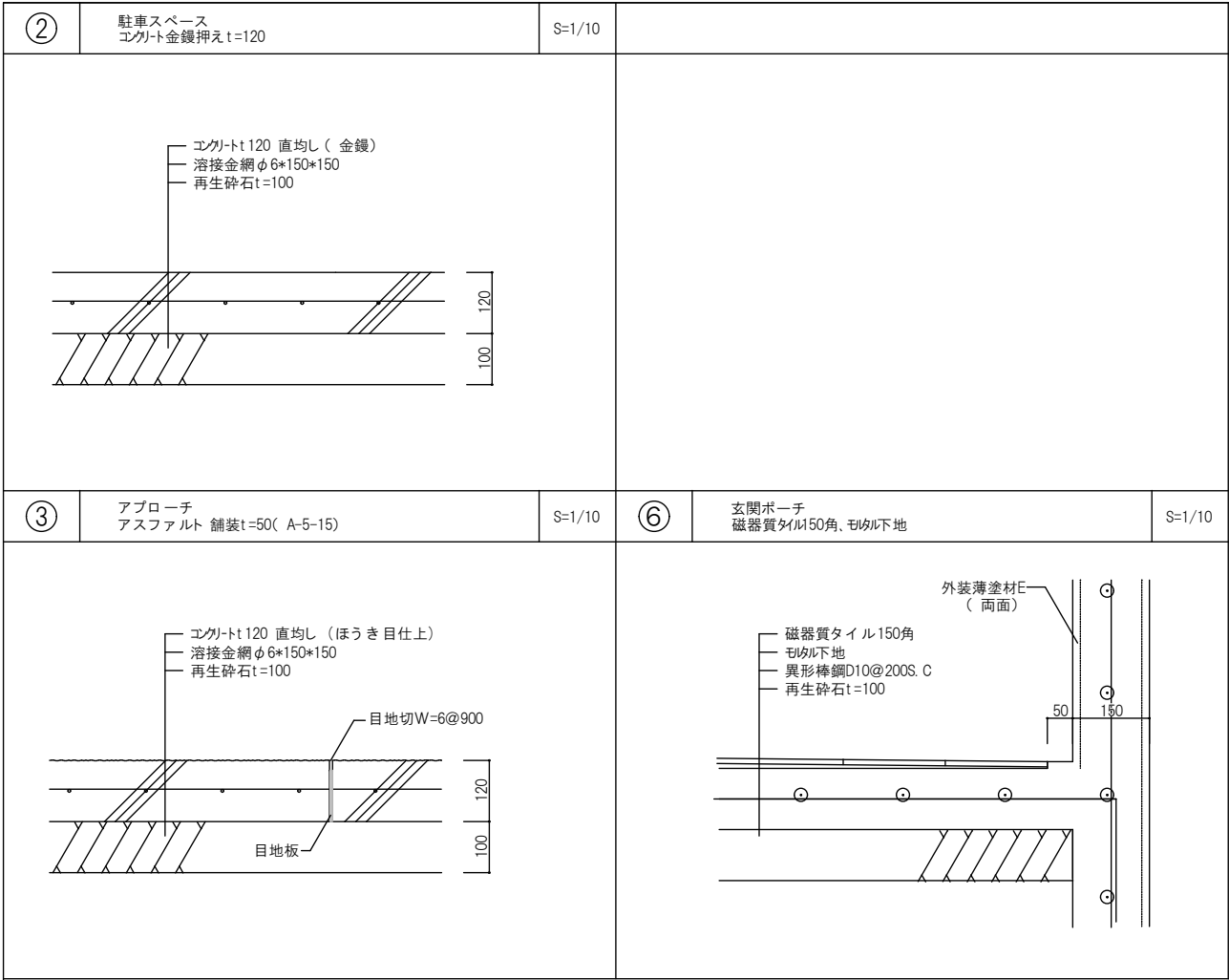


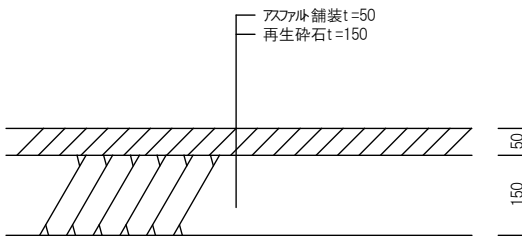
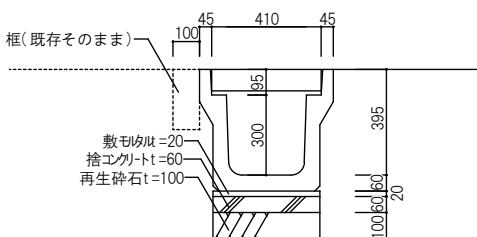
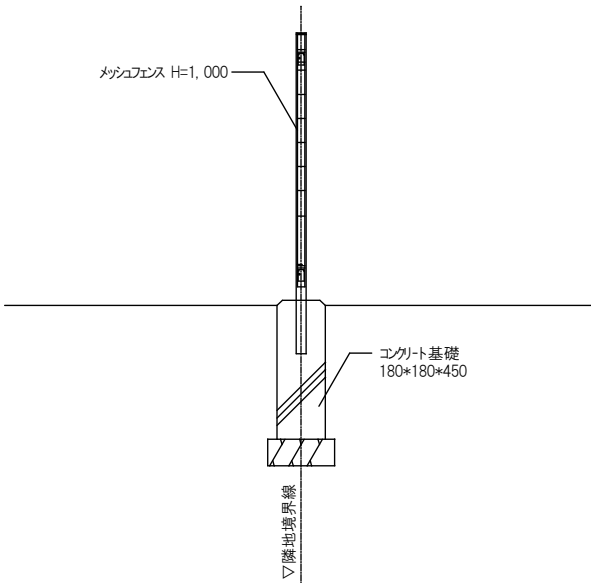
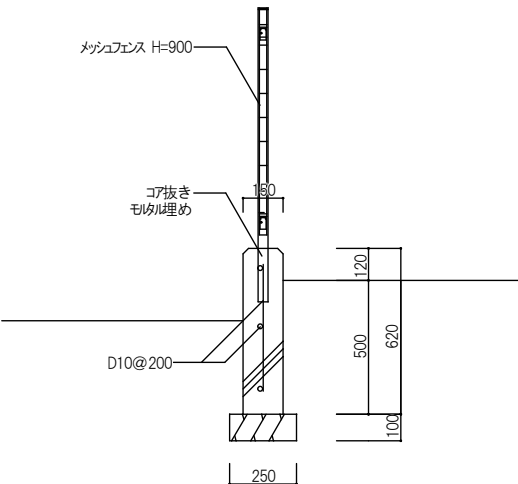
【 1階 Y方 向 】

必要壁量の 計算	階 数	地震力に対する必要壁量（ c m ）		風圧力に対する必要壁量（ c m ）		必要 壁 量 （ c m ）			X 方 向		Y 方 向					
		X方向（ はり 間 ）、Y方向（ けた 行 ）		X方向（ けた 行 方向 ）		Y方向（ はり 間 方向 ）			X 方 向	Y 方 向	側端部分（ 上 ）	側端部分（ 下 ）	側端部分（ 左 ）	側端部分（ 右 ）		
	1 階部分	床面積 50.95×11×1.25=700.5625・ ①		見付面積 18.70×50=935.00・ . . ②		見付面積 14.56×50=728.00・ . . ③		①、②より 大きい値採用 935.00c m	①、③より 大きい値採用 728.00c m	存在壁量 （ c m ）	1F	91×2.0×3=546	91×2.0×3=546	91×2.0×3=546	91×2.0×2=364	
		2F														
設計壁量の 計算	階 数	耐 力 壁 の 種 類	倍 率	有 効 壁 量 （ c m ）		判 定			床面積 （ m ² ）	2F						
				X方 向（ はり 間 ）		Y方 向（ けた 行 ）							X 方 向	Y 方 向		
	1 階部分	筋交い 45×90(たすき掛け)	4.0					1092c m >	1092c m >	必要壁量 （ c m ）	1F	13.17(床面積)×11=144.87	13.17(床面積)×11=144.87	13.17(床面積)×11=144.87	13.17(床面積)×11=144.87	
		筋交い 45×90(片方)	2.0	91*6*2.0=1092	91*6*2.0=1092			935.00c m ∴安全	728.00c m ∴安全		2F					
		合 計			1092	1092					壁量 充足率	1F	546/144.87=3.768	546/144.87=3.768	546/144.87=3.768	364/144.87=2.512
								>	>	壁率比	2F					
		合 計						∴安全	∴安全		両方共に1を超えているのでOK		両方共に1を超えているのでOK			
耐震等級2（ 1.25倍 ）適用						壁量計算表		SCALE	A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号				DATE	DATE	B - 14
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)						SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所				CHECKED BY		DRAWN BY	SHEET NO.	
注) 図は右玄関PLANにて作成								SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史								



【 宅内 】 工 事 仕 上 凡 例		
①	単粒度砕石t=60 S-13(6号砕石) 程度	42.2㎡
②	駐車スペース コンクリート金銀押えt=120	39.1㎡
③	アプローチ コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	4.1㎡
④	スロープ・手摺φ32 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑤	階段 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑥	玄関ポーチ 磁器質タイル50角、モザイク下地	
【 付 帯 】 工 事 仕 上 凡 例		
a	アスファルト 舗装t=50 A-5-15	236㎡
b	ライン引き 溶融式区画線W150	36.0m
c	落蓋式U字形側溝 1種300A	60.0m
d	側溝蓋 コンクリート蓋 1種300A W=500	111組
e	側溝蓋 鋼製グレーチング車道用ゴム付(騒音防止)	6組
f	メジロフェンス H=1,000 コンクリート独立基礎(市販品)	74.0m
g	メジロフェンス H=900 I 型基礎(現場施工) W=150	61.2m
特 記 事 項		
■ — 住宅本体工事範囲を示す。		
■ — 本工事範囲外を示す。		
--- — 本工事範囲外を示す。		



Ⓐ	アスファルト 舗装t=50(A-5-15)	ⓒ	落蓋式U字形側溝 1種300A	Ⓕ	メッシュフェンス H=1,000+コンクリート基礎(市販品)	Ⓖ	メッシュフェンス H=900H 型基礎(現場施工)			
										
○		○		○		○				
○		○		○		○				
○		○		○		○				
				外構【付帯】詳細図 SCALE A2 1:20 A3 1:28.2 SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		DATE . . . CHECKED BY	DATE . . . DRAWN BY	C - 03 SHEET NO.

